

1700迄 (2651件)

1681年-08:00|インド|ネパ| ||マラーマ王国アマンクラット2世は荒れ果てた旧都プレットを見限り、その北方のカルスー(今のソロ)に新しい首都を建設

1681年-08:00|マレーシア| ||マレーシアでブギス族の民族移動が活発化

1681年-05:30|インド| ||<建国>ナリシガル国(ジャバール)

1681年-05:30|インド| ||<就任>アッサム国ラジャ「ガタパニ・スバトファ・ガタール・シン」(~1696年2月)

1681年-05:30|インド| ||<就任>アッサム国ラジャ「カラン・ナラヤナ・パワルタ・ハトナイク」(~1709年)

1681年-05:30|インド/オランダ| ||<就任>オランダ領インド総督「ジェイコフ・ジョリスゾーン・ベッット」(~1686年)

1681年-05:30|インド| ||<就任>カシュミール国ラジャ「キラット・シン」(~1728年没)

1681年-05:30|インド| ||<就任>ティルヴァタムコトウ国ラジャ「ラウ・イ・ヴァルマ」(2回目~1704年)、摂政「ラニ・ウマヤンマ/タンランのクラ・ヴァルマ王子」(2回目~1684年)

1681年-05:30|インド| ||<就任>ワドワン国統治者(タクル・サーヒブ)「ハガツィムジ・ウタ・イムジ」(~1707年)

1681年-04:00|ロシア| ||<死去>カシモフ・ハン国ハン「ファティマ・スルターナ」

1681年-04:00|ジョージア| ||<即位>イメレティ王「ジョージ4世」(~1683年)

1681年-04:00|モリシャス| ||モリシャス諸島のドートーが絶滅

1681年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダット・ワリス「イブラヒム・ハシヤ」(~1684年)

1681年-03:00|イエメン| ||<即位>下ヤファ・サルタン「Afif」(~1700年)

1681年-03:00|スーダン| ||<即位>フンジ王国サルタン「Unsa2世」(~1692年)

1681年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレク・ワリス(総督)「Deli Ebubekir Pasha」(~1682年)

1681年-02:00|ラトヴィア| ||<就任>クールラント・セムガレン公国政府議長「クリストフ・ハイリッヒ・フォン・フットカーマー」(⇒1683年、首相・会長代行~17010624)

1681年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モノモタパ 総司令官「デ・イゴ・デ・アブラウ」(~1682年)

1681年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ総督「Francisco Baltasar de Velasco y Tovar」(~1689年)

1681年-01:00|フランス| ||<就任>トゥールーズ伯(ブルボン家)ルイ=アレクサンドル[フランス王ルイ14世とモンテスパン侯爵夫人との三男](~1737年)

1681年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「アルナウト・アフドゥラフマン・アフデイ・ハシヤ」(~1682年)

1681年-01:00|ドイツ| ||<即位>アレンベルク公「フィリップ・カール・フランツ」(~16910819死去)

1681年-01:00|スペイン| ||スペイン領西インドでインディア法集成を編纂し公布

1681年-01:00|オランダ/インドネシア| ||チレボーン王国(西部ジャワのイスラム教国)VOCの保護領に/王国はカスパン、カマン、カチレボンの三つに分裂

1681年 00:00|イギリス| ||<死去>ウィグ・タウン伯「ウィリアム・フレミング」

1681年 00:00|イギリス| ||<就任>アボイン伯「チャールズ・ゴートン」(~1702.4死去)

1681年 00:00|イギリス| ||<就任>ウィグ・タウン伯「ジョン・フレミング」(~1744年死去)

1681年 04:00|アルバ/オランダ| ||<就任>アルバ島司令官「Josephus Flaccius」(2期目~1715.10)

1681年 04:00|アンティグア・ババーダ/イギリス| ||アンティグアにサンカルロス神学大学が設立される

1681年 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ大審問院総督・長官「パナマ司教ルカス・フェルナンデス・デ・ベニエトラヒタ」(~1682年)

1681年 06:00|ニカラガ/スペイン| ||<就任>ニカラガ総督「アントニオ・コエリ・イ・アギレラ」(~1682年)

1681年1月-05:30|インド| ||ムガル皇帝アウラングゼーブの第4王子のアクバルが、父帝に対して反乱を起こす/しかし反乱は失敗し、アクバルはデカン高原へ逃れる

1681年1月-04:00|ロシア/トルコ| ||オスマン朝とロシアがハフセサライの講和

1681年1月28日-09:00|日本|東京都千代田区|延宝8年12月9日|<解任>大老「酒井忠清」

1681年1月30日-01:00|ドイツ| ||<死去>ホーエンツォレルン=ジゲマリンゲン侯「Meinrad1世」

1681年1月30日-01:00|ドイツ| ||<就任>ホーエンツォレルン=ジゲマリンゲン侯「Maximilian1世」(~16890813死去)

1681年2月-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>ブハラ・ハン国ハン「Subhan Quli Khan」(~1702.9死去)

1681年2月2日 00:00|カナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールト=コースト総督「マグヌス・フランツァー」(~4.21)

1681年2月6日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|延宝8年12月18日|<死去>石見津和野藩43468石「亀井茲政」⇒三男「亀井茲親」が継ぐ(⇒享保16(1731)年5月29日死去)

1681年2月15日 00:00|イギリス| ||<就任>3代キャロウェイ伯「アレクザンダー・ステュアート」(~1690年死去)

1681年3月 00:00|イギリス| ||<死去>アボイン伯「チャールズ・ゴートン」

1681年3月 04:00|刊| ||刊総督ジョセ・デ・ガロは、ファン・エルナンデス島を襲撃

1681年3月 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督「リチャード・ウォルトロン」(~16821004)

1681年3月2日-09:00|日本|東京都|延宝9年1月12日|徳川将軍家分家の徳川御三家と一緒に、各家がそれぞれ各自で私設の自衛消防隊を結成することを許可された(各自火消の誕生)/加賀鳶として当初雇われた火消人足は、町火消人足の場合と同じく、お得意先の加賀藩邸に出入りし藩邸などの建築や修理に携わっていた鳶職の人たちが中心で、そこから加賀藩邸お抱えの鳶人足、“加賀鳶”と呼ばれるようになった

1681年3月2日-09:00|日本|東京都|延宝9年1月12日|幕府が評定所制定

1681年3月4日 06:00|アメリカ| ||クエーカー教徒のウィリアム・ペンがペンシルヴァニアを開拓

1681年3月12日-01:00|オランダ| ||<死去>フランス・ファン・ミリス、オランダの画家(生年1635年)

1681年3月17日-08:00|台湾| ||南明・永暦35年1月28日|<死去>鄭氏政権国王「鄭經」

1681年3月17日-08:00|台湾| ||南明・永暦35年1月28日|<就任>鄭氏政権摂政「鄭克塽」(~19日)

1681年3月19日-09:00|日本|東京都|延宝9年1月29日|幕府が市中の間屋・商人に米・麦・大豆の買い置き、買い占め

1700迄 (2651件)

を禁じる

- 1681年3月19日-08:00|台湾| ||南明・永暦35年1月30日|<就任>鄭氏政權摂政「チェンツ」「風新豊」(事実上) (~16830922)
- 1681年3月19日-08:00|台湾| ||南明・永暦35年1月30日|<即位>鄭氏政權国王「鄭黄々」 (~16830922)
- 1681年3月26日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド 弁務官「ピエール・デルトル」 (~16860520)
- 1681年3月26日-09:00|日本|東京都文京区|延宝9年2月7日|5代将軍綱吉の生母桂昌院の発願により上野国碓氷八幡宮別当寺の僧亮賢に高田薬園の地を与えて護国寺を建てさせる
- 1681年3月28日-09:00|日本|静岡県磐田市|延宝9年2月9日|<改易>遠江掛塚藩13000石「加々爪直清」不正裁判/土佐高知に幽閉廃絶
- 1681年4月-02:00|エストニア/スウェーデン| ||<就任>エストニア総督「ロバート・ヨハンソン・リットン」 (~1687年)
- 1681年4月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Felix Nieto de Silva」 (~16840917)
- 1681年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・ベッルツィ」「ジヨウ・アンニ・セラフィニ」
- 1681年4月7日-09:00|日本|福島県会津若松市|延宝9年2月19日|<交替>陸奥会津藩23万石「保科正経」隠居⇒弟「保科正容」が継ぐ(⇒元禄9(1696)年12月9日、松平姓を賜り「松平正容」に改名)
- 1681年4月9日-09:00|日本|東京都千代田区|延宝9年2月21日|<解任>老中「土井利房」
- 1681年4月11日-01:00|ドイツ| ||<死去>ツグ・アイフ・リュッケン公「フリート・リヒルトヴィヒ」
- 1681年4月11日-01:00|ドイツ| ||<即位>ツグ・アイフ・リュッケン公「カール1世」スウェーデン王カール11世 (~16970405死去)
- 1681年4月13日-09:00|日本|茨城県古河市|延宝9年2月25日|<加増移封>上野安中藩4万石「堀田正俊」⇒下総古河藩9万石(⇒翌年1月21日、4万石加増され13万石)
- 1681年4月13日-09:00|日本|京都府宮津市|延宝9年2月25日|<移封>武蔵岩槻藩99000石「阿部正邦」⇒丹後宮津藩99000石(⇒元禄10(1697)年2月11日、下野宇都宮藩10万石へ移封)
- 1681年4月13日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|延宝9年2月25日|<加増移封>下野烏山藩5万石「板倉重種」⇒武蔵岩槻藩6万石(⇒天和2(1682)年2月10日、信濃坂本藩5万石に減移封)
- 1681年4月13日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|延宝9年2月25日|<加増移封>下野那須藩12000石「那須資弥」⇒下野烏山藩2万石(⇒貞享4(1687)年6月25日、死去)
- 1681年4月13日-09:00|日本|三重県鳥羽市|延宝9年2月25日|<移封>下総国古河藩7万石「土井利益」⇒志摩鳥羽藩7万石(⇒元禄4(1691)年2月9日、肥前唐津藩7万石へ移封)
- 1681年4月15日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|延宝9年2月27日|<立藩>上野伊勢崎藩2万石「酒井忠寛」前橋藩より分知(⇒元禄16(1703)年11月8日、死去)
- 1681年4月15日-09:00|日本|群馬県前橋市|延宝9年2月27日|<交替>上野厩橋藩15万石「酒井忠清」隠居⇒長男「酒井忠挙」が継ぐ(2万石を弟の酒井忠寛に分与し13万石⇒宝永4(1707)年、2万石加増を受け15万石)
- 1681年4月15日-09:00|日本|千葉県|延宝9年2月27日|<廃藩>下総国内2万石「酒井忠挙」宗家・上野厩橋藩を相続/宗家に吸収
- 1681年4月19日-09:00|日本|岩手県一関市|延宝9年3月|<移封>陸奥岩沼藩3万石「田村建顕」⇒陸奥一関藩3万石(⇒宝永5(1708)年1月27日、死去)
- 1681年4月22日 00:00|ガーナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト長官代行「コンラッド・フッシュ」 (~5. 2)
- 1681年4月26日 00:00|イギリス| ||<死去>第3代ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」
- 1681年4月30日 00:00|モロッコ| ||マラーはモロッコによって奪還され、後にマデヤと命名
- 1681年5月 00:00|イギリス| ||<就任>初代ノッティンガム伯「ヘンリッ・フィンチ」 (~16821218死去)
- 1681年5月 00:00|ガボン/フランス| ||フランスがバ・ラ王からアルブ・レタを購入
- 1681年5月2日 00:00|ガーナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト長官「ハンス・ライク」 (~16870919)
- 1681年5月14日-09:00|日本|東京都千代田区|延宝9年3月26日|<就任>老中「阿部正武」 (~宝永1年9月17日)]
- 1681年5月25日-01:00|スペイン| ||<死去>ペドロ・カゲロン・デ・ラ・バルカ、スペインの劇作家(生年1600年)
- 1681年5月28日-09:00|日本|福島県会津若松市|延宝9年4月11日|<会津若松延宝9年の連続大火>大町二ノ町に住む石工、権右衛門の家から出火、権右衛門は石材を採掘するため郊外の慶山に出向き作業をしており、その留守中の失火/被害は、出火元の大町二ノ町で41軒を焼失したのをはじめ、同一ノ町で17軒、同堅町で41軒、馬場二ノ町4軒、北小路町117軒、七日町122軒、紺屋町41軒、原町54軒、大和町50軒、桂林寺町46軒と以上町家533軒が焼失/そのほか寺では七日町の常光寺、北小路町の安養院が焼失
- 1681年5月30日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス領バミューダ 総督「フロレンティウス・シーモア大佐」(2期目~11. 3)
- 1681年5月30日-09:00|日本|愛知県西尾市|延宝9年4月13日|<交替>三河西尾藩23000石「土井利長」隠居⇒養子「土井利意」が継ぐ(⇒享保9(1724)年閏4月27日、死去)
- 1681年5月30日 03:00|日本|福島県会津若松市|延宝9年4月13日|<会津若松延宝9年の連続大火>午の上刻(午前12時ごろ)今度は本三ノ丁に住む、組付の藩士、有泉新左衛門宅から出火、近隣の川手佐左衛門と上田覚太夫の長屋(配下の住む長屋)、板惣五郎の屋敷に延焼したうえ、城内の御厩門まで焼失させた/強風下の飛び火などにより城下に延焼、赤井丁から半兵衛町まで灰となった/被害は郭内の三ノ丁、二ノ丁の侍屋敷37軒、御厩桂林寺町口御門ならびに番所が焼失/そのほか城下の半兵衛町の侍屋敷7軒、同同心屋敷190軒、手明町の御厩之者の家28軒が焼失/町家は融通寺町79軒、赤井丁47軒、当麻丁62軒、中町30軒、四つ屋24軒、年明町21軒、手明町の常倉寺門前5軒、赤井丁西光寺門前10軒、名子屋町82軒、長命寺門前3軒など672軒が焼失/そのほか寺社では諏訪社ならびに半兵衛町の極楽寺と長源寺、手明町の常年寺、名子屋町の長命寺、赤井丁の西光寺、当麻丁の覚西院、中町の長泉寺が灰となる
- 1681年6月13日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パライン「ハル・ヘルツェグ・エステルハージ・ガラントイ」 (~17130326)

1700迄 (2651件)

1681年6月15日-10:00|グアム/北マリア諸島/スペイン| |||<就任>マリア諸島知事「Antonio de Saravia」(~16831103死去)

1681年6月26日-09:00|韓国| ||朝鮮・康熙20年5月11日|韓国東海岸地震(M7.5)死者数万人

1681年6月29日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルマフデ・イ・アフマド・ビン・アルハサン」

1681年6月29日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルマフデ・ムハンマド2世」アルムタキル・イスマイルの息子(~16860427死去)

1681年7月 00:00|イギリス| |||王位継承排除法案を推進してきたジャック・バーリ伯が反逆罪の容疑で投獄される

1681年7月4日-09:00|日本|群馬県前橋市|延宝9年5月19日|<死去>酒井忠清(生年1624年)前上野厩橋藩藩主、元大老

1681年7月5日-09:00|日本|茨城県かすみがうら市|延宝9年5月20日|常陸の志筑藩の農民が年貢の増加と労役負担の過重に反対して一揆

1681年7月5日-09:00|日本|大阪府松原市|延宝9年5月20日|<死去>河内丹南藩1万石「高木正豊」20歳⇒弟「高木正陳」が継ぐ(⇒元文6(1741)年2月5日、死去)

1681年7月6日-09:00|日本|群馬県安中市|延宝9年5月21日|<加増移封>摂津嶋下郡内1万石「板倉重形」⇒上野国安中藩15000石(⇒貞享元(1684)年7月26日、死去)

1681年7月24日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ミゲル・ゴメス・デ・ラ・イ・ブ・カル」(~16930428)

1681年7月27日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ロイズ公「ジョン・レスリー」

1681年7月27日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ロイズ女伯「マーガレット・レスリー」先代の娘(~17000820死去)

1681年8月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント島総督代行「フランソワ・ド・パルメュー・ド・フランセ」(~1682年4月)

1681年8月3日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「ウィリアム・マカム」(~1682.10)

1681年8月5日-09:00|日本|新潟県上越市|延宝9年6月22日|幕府、越後騒動の松平光長の妹婿小栗美作・大六父子を自殺させ、永見大蔵・荻田主馬らを八丈島に配流

1681年8月9日-09:00|日本|新潟県上越市|延宝9年6月26日|<改易>越後高田藩25万石「松平光長」家中相続騒動、以後幕府領/伊予松山藩に幽閉

1681年8月10日-09:00|日本|東京都八丈町|延宝9年6月27日|幕府、越後騒動の裁断不正を理由に大目付渡辺綱貞を八丈島に配流

1681年8月13日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ルカ・マリア・インヴァリ」(~16830813)

1681年8月14日-09:00|日本|大阪府|延宝9年7月|<加増>畿内3万石「戸田忠昌」+河内1万石⇒4万石(⇒同年11月15日、武蔵岩槻藩4万石に移封)

1681年9月4日-09:00|日本|茨城県つくばみらい市|延宝9年7月22日|<加増>常陸小張藩1万石「松平(石川)乗政」+5000石⇒15000石(⇒天和2(1682)年3月22日、信濃小諸2万石へ加増移封)

1681年9月9日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|延宝9年7月27日|<加増移封>陸奥白河藩10万石「本多忠平」⇒下野宇都宮藩11万石(⇒貞享2(1685)年6月22日、大和国郡山藩12万石へ移封)

1681年9月9日-09:00|日本|福島県白河市|延宝9年7月27日|<移封>下野宇都宮藩15万石「松平忠弘」⇒陸奥白河藩15万石(⇒元禄元年10月21日、養子「松平忠尚」に陸奥白河新田藩2万石分与⇒元禄5(1692)年7月21日、山形藩10万石に減移封)

1681年9月12日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「アルヴァロ・バプティスタ・コステラ」(~16861213)

1681年9月16日-05:30|インド| |||<死去>ジャハナバード・ガム、ムガル帝国皇女(生年1614年)

1681年9月24日-09:00|日本|岐阜県海津市|延宝9年8月13日|<立藩>信濃国高井藩30537石「松平義行」(徳川(尾張)光友の次男⇒元禄13(1700)年3月25日、美濃高須藩3万石へ移封)

1681年9月27日-09:00|日本|香川県高松市|延宝9年8月16日|高松藩領内で大雨洪水、溺死者数百人

1681年9月30日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランスがスラズブル(アルザス)を占領し併合

1681年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「パオロ・アントニオ・オノフリ」(「フランチェスコ・アンジェリ」)

1681年10月3日-09:00|日本|東京都千代田区|延宝9年8月22日|幕府が初めて奥右筆を設置

1681年10月7日-01:00|オランダ| |||<死去>ニコラス・ハインツス1世、オランダの古典学者、詩人(生年1620年)

1681年10月7日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ファン・デ・イアス・デ・アンデ・イノ」(2回目~1684年8月)

1681年10月22日-01:00|イタリア| |||<死去>ベネット・フェーリ、イタリアの作曲家(生年1603年)

1681年10月26日-09:00|日本|愛知県豊田市|延宝9年9月15日|<移封>陸奥石川藩1万石「本多忠利」⇒三河拳母藩1万石(⇒元禄13(1700)年5月8日、死去)

1681年10月26日-09:00|日本|愛知県豊田市|延宝9年9月15日|<移封>陸奥浅川藩1万石「本多忠晴」⇒三河伊保藩1万石(⇒宝永2(1705)年、5000石を加増され15000石)

1681年11月1日 00:00|イギリス| |||<死去>9代モント伯「ウィリアム・ダークラス」

1681年11月1日 00:00|イギリス| |||<就任>10代モント伯「ジェームズ・ダークラス」(~1686年死去)

1681年11月2日-09:00|日本|東京都墨田区|延宝9年9月22日|両国橋用材の伐り出し中に、山中の人夫小屋23軒が焼失

1681年11月9日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督代理「ヘンリー・ダラム」(~16830129)

1681年11月9日-09:00|日本| ||天和1年9月29日|「天和」に改元

1681年11月20日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「パタ公ルカス・ナバラとカマル」(~16890815)

1681年11月25日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Cornelis Speelman」(~16840111死去)

1681年12月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセンツァイツ公「Maurice」

1681年12月4日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセンツァイツ公「Moritz Wilhelm」(~17181115死去)

1681年12月7日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天和1年10月28日|幕府、皇子寛清親王事件に関係がある権大納言小倉

1700迄 (2651件)

実起・公連父子を佐渡国に配流

- 1681年12月7日-08:00|中国| ||清・康熙20年10月28日|周・呉世ハが清軍の雲南城攻めで追い詰められて自殺、清軍が三藩の乱を完全に制圧
- 1681年12月8日-01:00|オランダ| |||<死去>ヘルト・テル・ボルフ、オランダの画家(生年1617年)
- 1681年12月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンプトン伯「ジェームズ・コンプトン」
- 1681年12月15日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンプトン伯「ジョージ・コンプトン」(~17270415死去)
- 1681年12月16日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天和1年11月7日|<死去>出羽庄内藩10万8千石「酒井忠義」⇒長男「酒井忠真」が継ぐ(⇒享保16年8月28日(17310928)死去)
- 1681年12月23日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「フアン・ミゲル・デ・アグルト・イ・サルトル」(~16831214)
- 1681年12月24日-09:00|日本|大阪府|天和1年11月15日|<拝領>摂津国内3万石「稲葉正往」(⇒天和3(1683)年閏5月27日、3万石返上し相模小田原藩102000石を相続)
- 1681年12月24日-09:00|日本|京都府京都市|天和1年11月15日|<就任>京都所司代「稲葉正往」(⇒1685(貞享2年09月21日))
- 1681年12月24日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天和1年11月15日|<移封>畿内4万石「戸田忠昌」⇒武蔵岩槻藩4万石(⇒天和3(1683)年正月、下総佐倉藩5万石へ加増移封)
- 1681年12月24日-09:00|日本|東京都千代田区|天和1年11月15日|<就任>老中「戸田忠昌」(~元禄12年9月10日)
- 1681年12月28日 00:00|モロッコ/イギリス| |||<就任>タンジール長官「ハーシー・カーク卿」(~1683年8月)
- 1681年12月31日-09:00|日本|群馬県沼田市|天和1年11月22日|<改易>上野沼田藩27000石「真田信利」私曲工事・勤務懈怠/出羽山形に幽閉
- 1682年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督代理「Jeremias van Vliet」(~1683年)
- 1682年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Jacob Lobs」(~1686年)
- 1682年-08:00|インドネシア| |||マタラム王国:トルノジョヨが捕まり、王都で処刑されて、大反乱終結
- 1682年-05:30|インド| |||<就任>ティグリア国ラジャ「サンカスワル・マンガータ」(~1742年)
- 1682年-05:30|インド| |||<即位>ダティア国統治者(マハラジャ・ラオ・ラジャ)「ダールハット・シン」(~1706年)
- 1682年-03:00|エチオピア| |||<就任>シェワ支配君主「ネグシ・ケリストス・レブサカル」(~1703年没)
- 1682年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Mahmud Pasha」(~同年)⇒「Kara Bekir Pasha」(~1683年)
- 1682年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モモタハ 総司令官「カスパー・ル・デ・ス・サ・ラセリ」(~1683年)
- 1682年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリリア・ベイルベイレ「アハメド・フェイン」(~16820621)
- 1682年-01:00|オランダ/スペイン/ベルギー| |||<就任>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「オットー・ニコ・デル・カレット・ミッレモ」(~16850619没)
- 1682年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ヒジル・ハシヤ」(~16831011)
- 1682年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「ムハンマド2世アナスル」(1回目~1689年)
- 1682年 00:00|イギリス| |||<死去>3代ダールハウジー伯「ウィリアム・ラムゼイ」
- 1682年 00:00|イギリス| |||<就任>4代ダールハウジー伯「ジョージ・ラムゼイ」(~1696年死去)
- 1682年 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>アフリカ会社局長「タンケル」⇒「トニ・ハセット」(~16840912)
- 1682年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュ司令官「カスパー・タ・フォンセ・ハシコ」(~1685年)
- 1682年 00:00|カナダ/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルグ・ゴールド=コスト司令官「オットー・フリートリヒ・フォン・デア・グレーベン」(~同年)
- 1682年 00:00|トゴ| |||<就任>ヘー統治者(アグエト)「アクワ・ラ・イ・フ・グエ」
- 1682年 00:00|イギリス| |||<昇格>初代ハリファックス伯「ジョージ・サイル」⇒初代ハリファックス侯(~16950405死去)
- 1682年 00:00|イギリス/インドネシア| |||イギリスがスマトラ南部のベンクーレンに商館を建設
- 1682年 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>アンティグア副総督「ホル・リー」(~1683年)
- 1682年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「トマス・ヒル」(~1697年)
- 1682年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ島副司令官「Jan Zeegers」(~1687年)
- 1682年 04:30|ベネズエラ| |||ト・グアモン、ベネズエラのラ・グアイラ攻略に成功
- 1682年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ホセ・アルサモラ」⇒「ハルマル伯爵ペドロ・デ・ホンテ・ジョレーナ・オ・カルロン」(~1690年)
- 1682年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「アントニオ・デ・パセ・ア・ボラニョ」(~1687年)
- 1682年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「ペドロ・アルバレス・カストリヨ」(~1692年)
- 1682年 07:00|メキシコ| |||ト・グアモンとオランダ人ラウレンス・デ・グラーフ、カンペチェを占拠し焼き払う
- 1682年 07:00|メキシコ| |||ト・グアモンとオランダ人ラウレンス・デ・グラーフ、ベラクルスの攻略に成功
- 1682年1月-04:00|ロシア| |||ロシアが門地制度を廃止
- 1682年1月1日-02:00|ラトビア| |||<死去>ケルラント・ゼムガレン公「ヤコフ・ケトラ」(生年1610年)
- 1682年1月1日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルラント・ゼムガレン公「フリートリヒ・ガズミル・ケトラ」(~16980122、死去)
- 1682年1月3日-09:00|日本|東京都千代田区|天和1年11月25日|<解任>老中「板倉重種」
- 1682年1月16日-09:00|日本|東京都千代田区|天和1年12月8日|<解任>老中「稲葉正則」
- 1682年1月18日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天和1年12月10日|<改易>駿河田中藩4万石「酒井忠能」酒井忠清事件に連座/近江彦根に幽閉、子孫は旗本
- 1682年1月19日-09:00|日本|東京都千代田区|天和1年12月11日|<就任>老中「堀田正俊」→大老(~貞享1年8月28日)

1700迄 (2651件)

)

1682年1月21日-09:00|日本|三重県伊勢市|天和1年12月13日|伊勢内宮が炎上
1682年2月7日-08:00|中国| ||清・康熙21年|<死去>チベット「ダライラマ5世」(1617~)
1682年2月7日-08:00|中国| ||清・康熙21年|<即位>ヤルカント・ハン「ムハンマト・アミン」アブドゥッラソド2世の兄弟(1692年)
1682年2月7日-08:00|台湾| ||清・康熙21年1月|耽精忠が処刑される
1682年2月8日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天和2年|<創業>鯛屋旅館
1682年2月11日 00:00|イギリス| ||<昇格>3代クイーンズベリー伯「ウィリアム・ダグラス」⇒初代クイーンズベリー侯(⇒16841103初代クイーンズベリー公~16950328死去)
1682年2月12日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天和2年1月5日|<死去>伊予新谷藩1万石「加藤直泰」68歳⇒孫「加藤泰觚」が継ぐ(⇒享保元(1716)年10月12日、隠居)
1682年2月15日-08:00|台湾| ||清・康熙21年1月9日|<死去>顧炎武が陝西省華陰で/69歳(誕生1613年)清朝考証学の祖
1682年2月16日-01:00|アントラ| ||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル司教ヨアン・デ・スバッハ・マルトリ」(~16880816)
1682年2月18日-01:00|イタリヤ| ||<死去>バルッサーレ・ロンゲ・ナ、イタリヤの建築家(生年1598年)
1682年2月19日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ暫定総督「ル・デ・エレラ・イ・ソトマヨール」(~16910406)
1682年2月20日-09:00|日本|群馬県沼田市|天和2年1月13日|沼田城の破却作業が終了
1682年2月25日-01:00|イタリヤ| ||<死去>アレサント・ロストラッテッラ、イタリヤの作曲家(生年1644年)
1682年2月28日-09:00|日本|茨城県|天和2年1月21日|<加増>常陸国内13000石「牧野成貞」⇒33000石(⇒天和3(1683)年9月2日、下総関宿藩53000石に加増移封)
1682年2月28日-09:00|日本|茨城県古河市|天和2年1月21日|<加増>下総国古河藩9万石(大老)「堀田正俊」⇒13万石(⇒貞享元(1684)年8月28日、従叔父で若年寄の美濃青野藩主「稲葉正休」に江戸城内で刺殺された)
1682年3月14日-01:00|オランダ| ||<死去>ヤコフ・ファン・ロイスタール、オランダの画家(生年1628年頃)
1682年3月15日-09:00|日本|大分県日田市|天和2年2月7日|<減移封>播磨姫路藩15万石「松平直矩」松平光長事件に連座⇒豊後国日田藩7万石(⇒貞享3(1686)年7月、出羽山形藩10万石へ加増移封)
1682年3月18日-09:00|日本|茨城県笠間市|天和2年2月10日|<拝領>常陸穴戸藩1万石「松平頼雄」水戸藩から分与(⇒元禄10(1697)年5月14日、68歳で死去)
1682年3月18日-09:00|日本|島根県安来市|天和2年2月10日|<減封>出雲広瀬藩3万石「松平近栄」松平光長事件に連座⇒15000石(⇒貞享3(1686)年、召上げ半知の内5千石を還付され2万石)
1682年3月18日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|天和2年2月10日|<減移封>武蔵岩槻藩6万石「板倉重種」失策の責任⇒信濃坂木藩5万石(⇒天和3(1683)年5月、隠居)
1682年3月20日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天和2年2月12日|<移封>常陸土浦藩45000石「土屋政直」⇒駿河田中藩45000石(⇒貞享元(1684)年7月10日、大坂城代に異動し2万石加増され65000石)
1682年3月20日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天和2年2月12日|<移封>陸奥福島藩15万石「本多忠国」⇒播磨姫路15万石(⇒宝永元年3月21日(17040424)、死去)
1682年3月27日-09:00|日本|茨城県土浦市|天和2年2月19日|<移封>武蔵・下総の内12000石「松平(大河内)信興」⇒常陸土浦藩22000石(⇒貞享4(1687)年10月13日、大坂城代へ就任、摂津・河内国内32000石へ加増移封)
1682年3月30日-09:00|日本|福島県須賀川市|天和2年2月22日|<減移封>播磨明石藩6万石「本多政利」⇒陸奥大久保藩1万石(⇒元禄6(1693)年6月13日、除封)
1682年3月30日-09:00|日本|山形県村山市|天和2年2月22日|<減移封>遠江横須賀藩5万石「本多利長」不行跡や過酷な藩政を布き領内混乱⇒出羽村山藩1万石(⇒元禄5(1692)年12月16日、58歳で死去)
1682年4月-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「サイード・ビン・バラク」(~1683年)
1682年4月 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>セント・ユースタティウス島司令官「Louis Houtcooper」(~16861006死去)
1682年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「カホ・ロ」「カスパ・レ・カビニ」
1682年4月1日-09:00|日本|京都府京都市|天和2年2月24日|<就任>関白「一条冬経」
1682年4月3日-01:00|スペイン| ||<死去>バルトロメ・エステバン・ムリーヨ、スペインの画家(生年1618年)
1682年4月4日-09:00|日本|福岡県大牟田市|天和2年2月27日|<交替>筑後三池藩1万石「立花種長」隠居⇒長男「立花種明」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年1月8日、死去)
1682年4月4日-09:00|日本|山口県萩市|天和2年2月27日|<交替>長州藩369000石「毛利綱広」隠居⇒長男「毛利吉就」が継ぐ(⇒元禄7(1694)年2月7日、急死)
1682年4月6日-09:00|日本|茨城県つくば市|天和2年2月29日|<拝領>常陸北条藩13000石「堀田正英」(⇒元禄元(1688)年7月3日、死去改易/次男に3千石、三男に2千石が与えられたが、8千石は収公、長男は蟄居)
1682年4月9日-01:00|フランス/アメリカ| ||フランスの探検家ラ・サルが、五大湖からミシシッピ川流域一帯をルイジアナと名付けてフランス領有を宣言
1682年4月16日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|天和2年3月9日|<移封>信濃小諸藩25000石「西尾忠成」⇒遠江横須賀藩25000石(⇒正徳3(1713)年7月23日、隠居)
1682年4月18日-01:00|フランス| ||<初演>ジャン・バティスト・リュリ《歌劇「ペルセ」》
1682年4月23日-09:00|日本|兵庫県明石市|天和2年3月16日|<加増移封>越前大野藩5万石「松平直明」⇒播磨明石藩6万石(⇒元禄14(1701)年10月、隠居)
1682年4月23日-09:00|日本|福井県大野市|天和2年3月16日|<移封>下野足利藩4万石「土井利房」⇒越前大野藩4万石(⇒翌年5月25日、死去)
1682年4月29日 04:00|リノ/スペイン| ||<就任>リノ総督「マルコス・ル・デ・ガロ・セネイ・デ・アルトラ」(~1692年1月)
1682年4月29日-09:00|日本|長野県小諸市|天和2年3月22日|<加増移封>常陸小張藩15000石「松平(石川)乗政」⇒

1700迄 (2651件)

信濃小諸藩2万石(⇒貞享元(1684)年10月16日、死去)
1682年5月 00:00|ガナ/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルグ-コールト=コスト司令官「フィリップ・ヒーターセン・ブロンク」(~1683年)
1682年5月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督「フアンセリャック・ネーポ・フアンセ」(3回目~16830930)
1682年5月1日 06:00|カナダ/アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「ジョセフ・アントワヌ・ド・ラ・バレ」(~1685年8月)
1682年5月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「アラン伯爵リチャード・ハートレー」(~1684年8月)
1682年5月3日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アントニオ・デ・ソウザ・デ・メネセス」(~16840604没)
1682年5月5日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|天和2年3月28日|<死去>西山宗因(78、生年1605年)俳人・連歌師
1682年5月6日-01:00|フランス| |||フランス宮廷(王宮)が「ルーヴル宮」(1区)から、パリの南西に位置する、ほぼ完成した「ハロック様式」の「ヴェルサイユ宮殿」に遷都/「ルーヴル宮」は「王宮」としての役割を終える
1682年5月6日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ロクスバラ伯「ロバート・カー」
1682年5月6日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ロクスバラ伯「ロバート・カー」(~1696年死去)
1682年5月6日-09:00|日本|群馬県高崎市|天和2年3月29日|<拝領>上野吉井藩1万石「堀田正休」(⇒元禄11(1698)年3月7日、近江宮川藩に移封)
1682年5月7日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月27日|<死去>ロシア皇帝「フョードル3世」21歳(誕生1661年)
1682年5月7日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月27日|<就任>全ロシア摂政「ツァリツァ・イ・ヴ・エリカ・クニャギニャ・タタリヤ・キリロフナ・ナリシキナ」(~16820529)
1682年5月7日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月27日|<即位>ロシア皇帝「ピョートル・アレクセイェヴィチ1世」ウエリキ」(~17211022)
1682年5月8日-09:00|日本|埼玉県深谷市|天和2年4月|<加増>武蔵岡部藩20250石「安部信友」+丹波国天田郡2000石⇒22250石(⇒元禄14(1701)年3月18日、死去)
1682年5月14日-09:00|日本|大分県佐伯市|天和2年4月7日|<死去>豊後佐伯藩2万石「毛利高重」21歳⇒6月22日、養子「毛利高久」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年5月13日、隠居)
1682年5月24日-09:00|日本|東京都文京区|天和2年4月17日|<死去>朱舜水(83)儒学者
1682年5月28日-09:00|日本|千葉県勝浦市|天和2年4月21日|<加増立藩>上総勝浦藩11000石「植村忠朝」(⇒元禄9(1696)年11月16日、死去)
1682年6月5日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1682/5/26|<即位>ロシア皇帝「イワン・アレクセイェヴィチ5世」共同統治(~16960129没)
1682年6月6日-09:00|日本|東京都中央区|天和2年5月|中村善五郎座、葦屋町に開場
1682年6月8日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1682/5/29|<就任>全ロシア摂政「ツァレヴナ・イ・ヴ・エリカ・クニャギニャ・ソフィヤ・アレクセイェヴナ・ロマノヴァ」(~16890907)
1682年6月21日-01:00|リベア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リタニア・ベイルベ・イリ「チザイ・イ・アブドゥラ」(~1683年)
1682年6月27日-09:00|日本|岡山県岡山市|天和2年5月22日|<死去>池田光政、前岡山藩藩主(生年1609年)
1682年7月-01:00|フランス| |||フランス「王令」により、「魔女裁判」、またあらゆる「迷信」を禁止/「魔女裁判」に終止符が打たれる
1682年7月 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「リチャード・リルバーン」(~1684年11月)
1682年7月1日-09:00|日本|奈良県葛城市|天和2年5月26日|<改易>大和新庄藩11000石「桑山一尹」勅使に不敬
1682年7月5日-09:00|日本|東京都千代田区|天和2年6月|勘定吟味役設置
1682年7月12日-01:00|フランス| |||<死去>ジャン・ピカル、フランスの司祭、天文学者(生年1620年)1669年に最初の本格的な三角測量を行った人物
1682年7月18日-09:00|日本|東京都千代田区|天和2年6月14日|勘定吟味役を設置
1682年7月19日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ヨモン朝)皇帝「ヨハネス1世」
1682年7月19日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ヨモン朝)皇帝「ヤス1世ヨハネス」(~17061013死去)
1682年7月23日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|天和2年6月19日|<加増移封>石見吉永藩1万石「加藤明友」廃藩⇒近江水口藩2万石(⇒翌年12月7日、死去)
1682年8月-08:00|フィリピン/イギリス/オランダ| |||イギリスはバンタムをオランダに譲る
1682年8月 00:00|イギリス| |||天文学者エドモンド・ハレーが彗星を発見/ハレーは1705年にこの彗星の軌道計算に成功し、この彗星は「ハレー彗星」と名付けられることになる
1682年8月12日-09:00|日本|福井県小浜市|天和2年7月10日|<死去>若狭小浜藩113500石「酒井忠直」⇒9月29日、長男「酒井忠隆」が継ぐ(弟「忠綱」に敦賀藩1万石を分与立藩し10万3500石⇒貞享3(1686)年閏3月21日、死去)
1682年8月15日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天和2年7月13日|智積院火災
1682年8月24日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ローダーデイル公・2代ローダーデイル伯・初代ギルフォード伯「ジョン・メイトランド」
1682年8月24日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サント・ドミンゴ 副総督「トマス・リンチ卿」(2回目~16840824)
1682年8月29日 00:00|カナダ/ポルトガル/デンマーク| |||ポルトガルがサン・フランシスコ・ザビエルを放棄しデンマークに売却
1682年9月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領東ニュージャージー 総督「ロバート・パークレイ」(~16901003死去)
1682年9月2日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天和2年8月|<立藩>美濃青野藩12000石「稲葉正休」(⇒貞享元年8月28日(16841007)絶家・改易)
1682年9月2日-08:00|台湾| |||南明・永暦36年8月|台湾原住民の反乱
1682年9月8日-01:00|スペイン| |||<死去>ファン・ガムエル・イ・ロドリゴ・イツ、スペインの聖職者、作家(生年1606年)
1682年9月27日-09:00|日本|広島県庄原市|天和2年8月26日|(25日~)三上郡庄原町残らず全焼
1682年10月-05:30|インド/デンマーク| |||デンマーク領東インド 諸島(トランバル)司令官「アクセル・ユエル」(~16860709)
1682年10月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ジョセフ・モートン」(~1684.8)
1682年10月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「ウィリアム・ペン」

1700迄 (2651件)

1682年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ゴジ」 「イノセント・ボネリ」
1682年10月4日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督「エドワード・ランフィールド」 (~1685. 6)
1682年10月6日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天和2年9月6日|<死去>下野壬生藩2万石「三浦安次」⇒長男「三浦明敬」が継ぐ(⇒元禄5 (1692) 年2月23日、日向延岡藩23000石に加増移封)
1682年10月8日-09:00|日本|京都府京都市|天和2年9月8日|<死去>蒔絵師初代山本春正 (73)
1682年10月10日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ 総督「イグナチオ・デ・フランカ・バルブーザ」 (~1687年)
1682年10月16日-09:00|日本|京都府京都市|天和2年9月16日|<死去>山崎闇斎、儒者、思想家 (生年1619年) 朱子学の一派である崎門学の創始者/神道一派である垂加神道の創始者
1682年10月18日-09:00|日本| ||天和2年9月18日|幕府軍艦「安宅丸」解体
1682年10月19日 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・ブ라운、イングランドの作家 (生年1605年)
1682年10月29日-09:00|日本|福井県敦賀市|天和2年9月29日|<立藩>若狭敦賀藩1万石「酒井忠綱」小浜藩から分与(⇒宝永3 (1706) 年6月3日、54歳で死去)
1682年10月31日-09:00|日本| ||天和2年10月|<刊行>井原西鶴「好色一代男」(浮世草子の初め)
1682年11月 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・トマス島総督代理「Adolph Esmitt」 (1期目⇒16830717総督~16841013)
1682年11月15日-09:00|日本|神奈川県大和市|天和2年10月16日|<加増立藩>相模深見藩1万石「坂本重治」(⇒元禄2 (1689) 年6月4日、所領7800石収公され旗本に降格)
1682年11月23日-01:00|フランス| |||<死去>クロード・ロラン、フランスの画家 (生年1600年) 風景画の代表的作家
1682年11月29日 00:00|イギリス| |||<死去>カンバーランド公「ルパート・オブ・ザ・ライン」
1682年11月29日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|天和2年11月|<加増>安房勝山藩1万石「酒井忠国」+5000石⇒15000石(⇒翌年正月11日、33歳で死去)
1682年11月29日-09:00|日本|東京都|天和2年11月1日|幕府、在府諸藩の各自火消を制度化、藩邸と周辺の消火に専念させる
1682年11月30日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アバディーン伯「ジョージ・ゴードン」 (~17200420死去)
1682年11月30日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アビンドン伯「ジェームズ・パーティ」 (~16990522死去)
1682年12月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領東ニュージャージー 総督「フィリップ・カートレット」
1682年12月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ケインズバラ伯「エドワード・ノエル」 (~1689. 1死去)
1682年12月2日 00:00|イギリス| |||<就任>ボーフォート公「ヘンリー・サマセット」ウスター侯 (~17000121死去)
1682年12月6日 00:00|イギリス| |||<就任>初代プリマス伯「トマス・ヒックマン＝ウインザー」 (~16871103死去)
1682年12月18日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ノッティンガム伯「ヘンリッジ・フィンチ」
1682年12月18日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ノッティンガム伯「ダニエル・フィンチ」(⇒17290909兼ウインチルシー伯~17300101死去)
1682年12月22日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Diego de Melo Maldonado」 (~16880319)
1682年12月26日 02:00|日本|東京都|天和2年11月28日|<江戸市ヶ谷天和2年河田窪原町の大火>巳の下刻(午前11時ごろ)市ヶ谷の河田窪原町にある最上寺領分の百姓地、大屋五兵衛の貸し家徳左衛門の家から出火、市ヶ谷方面に魔手を延ばし、尾張家の五段長屋が焼失、そこから四谷方面に延焼、赤坂堀端も焼け、尾張、紀州などの徳川家一門の屋敷に延焼、三田、芝の海辺まで焼け延ばして戌の上刻(20時ごろ)鎮火/大名屋敷23か所、旗本屋敷30軒余、御家人の侍屋敷200余軒、寺院24か所が焼失
1682年12月27日 00:00|カナダ/イギリス| |||<制定>「グランプリ・ル・コールド」=コースト集落(グロス＝フリート・リヒスブルク[ホクス:168301~1717年]、トドーア砦[アウイダ:1684年4月~1687年、1698年~1711年、1712年~1717年4月]、ルイス砦[タクラマ:1685年~])
1682年12月30日-09:00|日本|大分県中津市|天和2年12月2日|<死去>豊前中津藩8万石「小笠原長勝」⇒翌年1月26日、甥「小笠原長胤」が継ぐ(⇒元禄11 (1698) 年7月28日、改易)
1683年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督「ロバート・パットブリュッゲ」 (~1687年)
1683年-08:00|インドネシア| |||<即位>ネーデルラントスルタン「Dutch protectorate」 (~1915年)
1683年-08:00|インドネシア| |||<即位>バンテン王国スルタン「スルタン・ハジ」 (~1687年)
1683年-08:00|インドネシア| |||<廃位>バンテン王国スルタン「スルタン・アグン・ティルタヤサ」王子スルタン・ハジによるクーデター
1683年-08:00|フィリピン| |||フィリピン、サンパレス地方で反乱
1683年-05:30|インド| |||<就任>ラジャウリ国ラジャ「アスマタラ・カーン」 (~1760年没)
1683年-05:30|インド/中国| |||ラタック国をチャットが占領 (~1684年)
1683年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメレティ王「アレクサンドル4世」 (~1690年)
1683年-03:00|ウガンダ| |||<設立>ブシ国
1683年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハムザ・ハッシャ」 (~1687年)
1683年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・デ・クアム、モノモタパ 総司令官「カエターノ・デ・メロ・イ・カストロ」 (~1686年)
1683年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミアハン国ハン「ハジ2世ギレイ」 (~1684年)
1683年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「スレイマン・ハチャ・ブシャトリ」 (~1692年)
1683年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベ・イレ「テルジ1世ブルヒム」⇒「ハリル・ハッシャ」 (~1687年10月)
1683年-01:00|リベントシュタイン| |||<就任>ファートゥーツ執行官「クリストフ・ケーベル」 (3回目~16920110)
1683年-01:00|デンマーク| |||デンマークのクリスチャン5世がデンマーク法を集大成
1683年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||年末|ソントング 国国家消滅
1683年 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>「グランプリ・ル・コールド」=コースト司令官「サニエル・デ・イリソジャ」 (~1684年)
1683年 00:00|ポルトガル| |||ポルトガル王ペドロ2世 (-1706年)

1700迄 (2651件)

1683年 04:00|アンティグア・バーブーダ/イギリス| |||<就任>アンティグア副総督「ジェームズ・エドワード・ハウエル」(~1688年)
1683年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Witham卿」(~1684. 9)
1683年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネカット植民地総督「ロバート・トリート」(1期目~1687年)
1683年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Domingo Gironza Petriz Cruzate」(~1686年)
1683年1月-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督代行「ジャスト・ヘーグ・ティル・フルツテ」(~16940926没)
1683年1月1日-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「アブドゥル・ラマン・パシャ」(1回目~1686年)
1683年1月13日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Jacinto de Figueiredo e Abreu」
1683年1月13日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Chamber Senate」(~同年)⇒代理「João Alvares da Cunha」(~16871112)
1683年1月21日 00:00|イギリス| |||<死去>初代シャツベリ伯「アントニー・アシュリー＝クーパー」
1683年1月21日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代シャツベリ伯「アントニー・アシュリー＝クーパー」(~16991102死去)
1683年1月25日 06:00|日本|東京都豊島区|天和2年12月28日|<江戸駒込天和2年の大火「お七火事」>未の下刻(15時ごろ)、駒込の大円寺から出火、本郷、上野池之端から筋違橋御門、浅草橋御門を次々と灰にしたあと日本橋まで進んだ/また下谷から飛び火し隅田川を越えて本所、深川を焼いた後、夜半ようやく鎮火/焼失した屋敷は大名75家、旗本166家、神社47か所、寺院48か所/中村座、市村座、中村善五郎座、傳内座、焼失/芭蕉庵類焼、松尾芭蕉、甲斐の谷村に疎開/死亡者は830人とも3500人余とも
1683年1月28日-09:00|日本|東京都目黒区|天和3年|<建立>大日如来坐像(目黒不動)
1683年1月28日-09:00|日本| ||天和3年1月|<刊行>井原西鶴「役者評判記」
1683年1月29日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督「リチャード・ユニー大佐」(~1687. 4)
1683年1月31日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「Duarte Teixeira de Chaves」(~5月)
1683年2月3日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アントリム侯「ランダル・マクト・ネル」アントリム侯爵廃絶
1683年2月3日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代アントリム伯「アレクサンダー・マクト・ネル」(~16991210死去)
1683年2月6日-09:00|日本|東京都世田谷区|天和3年1月10日|<立藩>武蔵国喜多見藩1万石「喜多見重政」(旗本石谷長門守武清の次男⇒貞享3(1686)年、河内・武蔵国内1万石加増されて2万石)
1683年2月7日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|天和3年1月11日|<死去>安房勝山藩15000石「酒井忠国」33歳⇒長男「酒井忠胤」が継ぐ(弟「忠成」に3000石を分与し12000石⇒正徳2(1712)年7月20日、34歳で死去)
1683年2月15日-09:00|日本|東京都|天和3年1月19日|江戸町奉行、火災時、車長持での荷物運搬、橋や道路上へ置くこと禁止
1683年2月19日-09:00|日本|東京都|天和3年1月23日|中村勘解由、火附盗賊改を拝命/火附盗賊改の初め
1683年2月23日 00:00|イギリス| |||<死去>8代アラン伯「アーサー・ストレンジ・カッテンデイル・デ・イグニット・ア・フェルト・ゴア」
1683年2月28日-09:00|日本|愛知県豊田市|天和3年2月2日|<拝領>三河足助藩1万石「本多忠周」(~元禄2(1689)年6月4日、勤務が良くないとされ3千石減封され旗本に戻ったが、後、交代寄合に復し、幕末まで続いた)
1683年3月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督代理「Claude de Roux de Saint-Laurent」(~1684. 6)
1683年3月1日-09:00|日本|長崎県長崎市|天和3年2月3日|幕府が長崎奉行に羅紗・猩々緋・金糸などの奢侈品、珍しい鳥獣などの輸入を禁止
1683年3月3日-09:00|日本| ||天和3年2月5日|幕府が衣服制限令で女性に金紗・縫い物・総鹿子の着用を禁止し、小袖表一反の最高値を銀200匁と定める
1683年3月14日 00:00|イギリス| |||<死去>3代マンチェスター伯「ロバート・モンタギュー」
1683年3月14日 00:00|イギリス| |||<就任>4代マンチェスター伯「チャールズ・モンタギュー」(⇒17190428初代マンチェスター公~17220120死去)
1683年3月16日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督代行「ヨハン・ペトルソン・クライン」(~16840126)
1683年3月16日-09:00|日本| ||天和3年2月18日|歌舞伎役者の衣服の華美が禁止され、先例を守ることが命じられる
1683年3月22日-09:00|日本| ||天和3年2月24日|幕府が庶民に衣服制限令を出す
1683年3月25日-09:00|日本|新潟県村上市|天和3年2月27日|<死去>越後村上藩15万石「榊原政倫」⇒養子「榊原政邦」が継ぐ(⇒宝永元(1704)年5月28日、播磨姫路藩15万石に転封)
1683年3月27日-09:00|日本|東京都|天和3年2月29日|幕府が公儀辻番・大名辻番・組合辻番の人員・勤務などの規則を定める
1683年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ」「アルフォンソ・トニー」
1683年4月6日 00:00|イギリス| |||<昇格>初代ノーサンバーランド伯「ジョージ・フィッツロイ」⇒初代ノーサンバーランド公(~17160628死去嗣子なく廃絶)
1683年4月6日-09:00|日本|三重県伊勢市|天和3年3月10日|皇大神宮の造営が完成し、この日遷宮
1683年4月25日-09:00|日本|東京都品川区|天和3年3月29日|本郷追分片町の八百屋・中村喜兵衛の娘お七が放火の咎により鈴ヶ森で火刑
1683年5月 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「Cristovao D'Ornelas de Abreu」(~16900704)
1683年5月15日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ヴァイマル公「グーティヘルム・エルンスト」(~17280826死去)、「ヨハン・エルンスト3世」(~17070510死去)共同統治/ヨハン・エルンスト2世の息子
1683年5月26日-09:00|日本|千葉県市原市|天和3年5月|<立藩>上総高滝藩2万石「板倉重宣」信濃坂本藩から分知(⇒翌年8月21日、死去)

1700迄 (2651件)

1683年5月26日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|天和3年5月|<交替>信濃坂木藩5万石「板倉重種」隠居⇒「板倉重寛」が継ぐ(従兄弟「重宣」に上総高滝2万石分与し3万石⇒元禄15(1702)年12月、陸奥国福島藩に転封)
1683年5月26日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|天和3年5月|三井高利(61)の越後屋呉服店に三井両替店を併設
1683年5月26日-09:00|日本|三越伊勢丹ホールディングス|天和3年5月|三井高利(61)の越後屋呉服店が駿河町に移転
1683年5月27日-09:00|日本|奈良県桜井市|天和3年5月2日|<交替>大和戒重藩1万石「織田長明」隠居⇒養子「織田長清」が継ぐ(⇒正徳4(1714)年2月13日、隠居)
1683年6月 00:00|イギリス| ||<就任>ソールズベリー伯「ジェームズ・セシル」先代の息子(〜1694年)
1683年6月1日-09:00|日本|岩手県盛岡市|天和3年5月7日|<高直し>陸奥盛岡藩8万石「南部重信」+新田2万石⇒10万石(⇒元禄5(1692)年6月27日、隠居)
1683年6月3日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1683/5/24|<開館>英オックスフォード大学「アッシュモレアン博物館」(世界初の大学博物館)
1683年6月19日-09:00|日本|福井県大野市|天和3年5月25日|<死去>越前大野藩4万石「土井利房」⇒「土井利知」が継ぐ(⇒寛保3(1743)年4月9日、隠居)
1683年6月23日 06:00|アメリカ| ||ウィリアム・ペンがインディアンとエム条約を締結
1683年6月28日-09:00|日本|京都府亀岡市|天和3年閏5月4日|<死去>丹波亀山藩38000石「松平忠昭」⇒弟「松平忠周」が継ぐ(⇒貞享3(1686)年1月21日、武蔵国岩槻藩48000石に加増移封)
1683年7月8日-09:00|日本|山口県下関市|天和3年閏5月14日|<死去>長門清末藩1万石「毛利元知」⇒次男「毛利元平(匡広)」が嗣ぐ(⇒享保3(1718)年4月15日、長門長府藩再興、清末藩は一時的に廃藩)
1683年7月13日-01:00|オーストリア/トルコ| ||35万のオスマン帝国軍がウィーンを包囲する(第2次ウィーン包囲〜9.12)
1683年7月13日 00:00|イギリス| ||<死去>エセックス伯「アーサー・カール」
1683年7月13日 00:00|イギリス| ||<就任>エセックス伯「アルジャーノン・カール」(〜17100110死去)
1683年7月16日-08:00|中国/台湾| ||清・康熙22年6月22日|澎湖海戦:清が台湾の鄭成功軍を破り台湾降伏、台湾が清朝の領土に編入される
1683年7月18日 04:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>ポルトガル知事兼提督「Gaspar Martinez de Andino」(〜1685年)
1683年7月19日-09:00|日本|福井県大野市|天和3年閏5月25日|<死去>越前国大野藩藩主「土井利房」元老中(生年1631年)⇒長男の利知が継いだ(⇒寛保3(1743)年4月9日、隠居)
1683年7月21日-09:00|日本|大阪府|天和3年閏5月27日|<廃藩>摂津国内3万石「稲葉正往」領土返上し相模小田原藩102000石を相続
1683年7月21日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天和3年閏5月27日|<変更>相模小田原藩11万石「稲葉正則」隠居⇒長男「稲葉正往」が継ぐ(弟たちに分与し10万2千石⇒貞享2(1685)年12月11日、越後高田藩に移封)
1683年7月22日-01:00|アルジェリア| ||<就任>アルジェのデイ「フセイン1世バシャ・メズモルト」(〜1685年)
1683年7月22日-09:00|日本|群馬県館林市|天和3年閏5月28日|<死去改易>上野館林藩25万石「徳川徳松」5歳、無嗣断絶廃藩
1683年7月24日-09:00|日本|新潟県新潟市|天和3年6月1日|<死去>越後沢海藩1万石「溝口政良」死去⇒養子「溝口政親」が継ぐ(⇒貞享4(1687)年8月25日、改易/発狂手討)
1683年7月30日-01:00|フランス| ||<死去>フランス王ルイ14世の王妃マリー・テレーズ・ド・トリニシュ(1638〜、44歳)
1683年7月31日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1683/7/21|ウィリアム・ラッセルが反乱罪で断首される/43歳(誕生:16390808)チャールズ2世とヨーク公を暗殺しようとして捕らえられた
1683年8月 00:00|モロッコ/イギリス| ||<就任>タンジール長官「ダートマス男爵ジョージ・レック」(〜16840206)
1683年8月1日 00:00|カナダ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴースト総裁「トマス・エルンハイス」(〜16850715)
1683年8月18日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランセスコ・マリア・レカルティンペリアル」(〜16850818)
1683年8月24日-09:00|日本|長野県諏訪市|天和3年7月3日|<死去>松平忠輝、幽閉先である諏訪高島城南の丸にて(生年1592年)徳川家康の六男、元越後国高田藩主
1683年8月29日 00:00|イギリス| ||<死去>ペンブルック伯・モンゴメリー伯「フィリップ・ハーバート」
1683年8月29日 00:00|チャネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ルダニー島知事「Edmund Andros卿」(〜17140224死去)
1683年8月29日 00:00|イギリス| ||<就任>ペンブルック伯・モンゴメリー伯「トマス・ハーバート」(〜17330122死去)
1683年9月6日-01:00|フランス| ||<死去>フランス王国首席大臣(宰相)「ジャン・バティスト・コルベール」
1683年9月12日-01:00|オーストリア/ポーランド/トルコ/リトアニア| ||ポーランド・リトアニア共和国王ヤン3世レシキ率いる10万のヨーロッパ混成軍がウィーンの北方でオスマン軍を破る/オスマン軍はベオグラードへ撤退
1683年9月12日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガル王「アフォンソ6世」
1683年9月12日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ブラガンサ公・ブラジル女公・ペイラ女公・パルティマス女公・ウイニゲイサ女侯・オウレム女伯・アライオス女伯・ネヴァ女伯「イザベル・ルイザ」ピーター2世国王の長女(〜19880830~16901021死去)
1683年9月12日 00:00|ポルトガル| ||<即位>ポルトガル王「ペドロ2世」(〜17061209死去)ジョアン4世の子
1683年9月14日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのペイルベイ「カラ・メフメット・パシャ」(〜16840810没)
1683年9月14日-01:00|オランダ| ||オランダの博物学者レーウェンフックが虫歯菌を発見と学会に報告
1683年9月15日-09:00|日本| ||天和3年7月25日|幕府が武家諸法度を改定し、文治主義を明確にする
1683年9月24日-09:00|日本|福島県伊達市|天和3年8月4日|<拝領>陸奥梁川藩3万石「松平義昌」(尾張藩主「徳川光友」の子⇒正徳3(1713)年閏5月20日、死去)
1683年9月30日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント島総督代行「ジャック・ド・パルデュート・フランケ」(〜1684年4月)
1683年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・ドーニ」「ロレンツォ・ジヤンギ」

1700迄 (2651件)

1683年10月11日-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア総督「アフメド・ハッシャ」(~1684年)
1683年10月11日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天和3年8月21日|<移封>下総関宿藩5万石「久世重之」⇒備中庭瀬藩5万石(⇒貞享2(1685)年9月、丹波亀山藩に移封)
1683年10月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|天和3年9月|近松門左衛門作「世継曾我」が初演
1683年10月21日-09:00|日本|千葉県野田市|天和3年9月2日|<加増移封>常陸国内33000石「牧野成貞」⇒下総関宿藩53000石(⇒元禄元(1688)年、和泉・下総・常陸・下野内で加増し73000石)
1683年10月30日 06:00|アメリカ| |||ハドソン川流域植民地会議で自由の憲章が採択
1683年11月3日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<死去>マリアナ諸島知事「Antonio de Saravia」
1683年11月3日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Damian de Esplana」(2期目~1686.2)
1683年11月18日-01:00|フランス| |||<死去>グエルムント王伯「ルイ・ド・ブルボン」フランス王ルイ14世の嫡子(生年1667年)
1683年11月22日-08:00|中国| |||清・康熙22年10月5日|中国・山西省、原平地震M7.0、死者8220
1683年11月28日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ・西インド会社)司令官「コネルリス・ファン・アールセン、ヒール・ウ・アン」(~16880719)
1683年11月30日-09:00|日本|東京都|天和3年10月12日|於七火事の事件で別に4人火炙りの刑
1683年12月-01:00|フランス/スペイン| |||フランス軍がスペイン領ネーデルラントに侵入したため、スペインがフランスに宣戦布告
1683年12月3日-01:00|フランス| |||<即位>アンジュー公「フィリップ2世」フランス王太子ルイとマリー・アンヌ・ド・ハヴアイエルの次男(~1701101)
1683年12月14日-01:00|フランス| |||<死去>ガウチエル・アンテルム、フランスの修道士、天文学者(生年1618年頃)1670年はおくちよう座(当時)新星(こぎつね座CK星)を発見し記録に残した
1683年12月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「エンリケ・エンリケス・デ・ゲズマン」(~16880126)
1683年12月15日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カラ・イブラヒム・ハッシャ」(~16851118)
1683年12月18日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天和3年11月|烏丸仏光寺南の大経師の妻おさん、手代茂兵衛、下女たまが不義により粟田口で処刑
1683年12月19日-01:00|フランス| |||<即位>アンジュー公「フィリップ2世」(~1700年~17460709死去62歳)
1683年12月25日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ステファン11世ペトリレク」(2回目~16840329)
1683年12月27日 00:00|ホルトガル| |||<死去>マリー・フランソワーズ・ド・サヴォワ＝ヌムール、ホルトガル王アフォンソ6世およびペドロ2世の王妃(生年1646年)
1684年-08:00|インドネシア| |||<即位>スメタラ君主「Pulang Jiwa」(~1702年)
1684年-05:30|インド| |||<死去>タンジャール・マラター王国国王「ヴァンコージー」
1684年-05:30|インド| |||<就任>マンデイ国ラジャ「シディ・セン」(~1727年没)
1684年-05:30|インド| |||<即位>タンジャール・マラター王国国王「シャー・フジー」(~1712年死去)
1684年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「オマル・ハッシャ」(2回目~1687年)
1684年-03:00|スーダン| |||<即位>ダフル・スルタン国スルタン「ワラ・トゥマ」(~1688年頃)
1684年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Mustafa Pasha」(~同年)⇒「Gerkes Ahmed Pasha」(~同年)⇒「Tekfurdagli Bekri Pasha」(~同年)⇒「Seytan Ibrahim Pasha」(~1685.12)
1684年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Diego Pacheco y Arce」(~16860312)
1684年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア総督「ヘルセクリ・オスマン・ハッシャ」(~16850801没)
1684年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「ルカ・シノッチ」(~1701年)
1684年-01:00|ドイツ| |||ドイツのライプニッツが微積分法を発表
1684年-01:00|アルバニア/イタリア| |||プロントをヴェネツィアが再支配
1684年-01:00|クロアチア/イタリア| |||ホルツァはヴェネツィア共和国の宗主権下(~17971017)
1684年 00:00|イギリス| |||<就任>第4代モントローズ侯「ジェームズ・グラハム」(⇒17070424、初代モントローズ公~17420107死去)
1684年 00:00|カーナト/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルグ＝コールドク＝コースト司令官「J・ヴァン・コルスター」⇒「カール・コンスタンチン・フォン・リーパース」(~1685年)
1684年 00:00|カーナ/デンマーク/イギリス| |||イングランドがフロリダ半島を占領(~1688年)
1684年 03:00|ブラジル| |||ブラジルでベックマンが反乱
1684年 04:00|バミューダ/イギリス| |||バミューダはイギリス直轄植民地となる
1684年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「ヘンリー・カルバート」(~1688年)
1684年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州市長兼副司令官「ペドロ・カルボ・デル・リスコ」(~1689年)
1684年1月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「トマス・ロイト」(~1687.12)
1684年1月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代セント・オールバンス公「チャールズ・ホークーク」(~17260510死去)
1684年1月11日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ領東インド総督「Cornelis Speelman」
1684年1月11日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Johannes Camphuys」(~16910924)
1684年1月13日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯・ノーリッチ伯「ヘンリー・ハワード」
1684年1月13日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公・アランデル伯・ノーリッチ伯「ヘンリー・ハワード」(~17010408死去)
1684年1月15日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「アルヴィゼ・コンタリニ」
1684年1月15日-01:00|オランダ| |||<死去>カスパー・ネッテル、オランダの画家(生年1639年)
1684年1月23日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|天和3年12月7日|<死去>近江水口藩2万石「加藤明友」⇒長男「加藤明英」が継ぐ(⇒元禄2(1689)年8月、5000石加増され25000石)
1684年1月26日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「マルカントニオ・ジュスティニアン」(~16880323死去)

1700迄 (2651件)

1684年1月26日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「ウルリッヒ・クリスチャン・ギルデンレーヴ」(~17191208没)
1684年2月1日-09:00|日本|東京都中央区|天和3年12月16日|中村座より出火、市村座も焼失
1684年2月6日 00:00|モロッコ| |||タンジールはモロッコに再編入
1684年2月8日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「トミトラスク・カンテヅーノ」(2回目~16850625)
1684年2月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙23年|この年、朝鮮「宣朝宝鑑」を編集
1684年2月16日-09:00|日本|青森県青森市|天和4年1月|酸ヶ湯温泉開湯
1684年2月25日 03:00|ブラジル| ||マニョン州サルイスの綿花栽培者、マニョン会社の貿易独占と横暴に対し反乱/知事を逮捕し革命政府樹立/マヌエル・ベックマンを統領に選出
1684年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Hamza Pasha」(~同年)⇒「Celebi Ibrahim Pasha 3世」(~同年)⇒「Osman Pasha Bustardji」(2期目~1685年)
1684年3月5日-01:00|ドイツ/ハプスブルグ/イタリア/ポーランド/リトアニア| |||オスマン帝国に対抗して、教皇を盟主と神聖ローマ帝国、ポーランド・リトアニア共和国、ヴェネツィアの神聖同盟が結成される
1684年3月11日-09:00|日本|埼玉県久喜市|天和4年1月25日|<死去>河内国内15000石「米津田盛」⇒長男「米津政武」が継ぐ(3000石を弟「田賢」に分与し武蔵埼玉郡久喜に藩庁を置き久喜藩12000石成立(⇒元禄11(1698)年11月1日、隠居)
1684年3月16日-09:00|日本| ||天和4年2月1日|竹本義太夫、大坂道頓堀に竹本座を設立
1684年3月24日-01:00|オランダ| |||<埋葬>ピーテル・デ・ホーホ、オランダの画家(生年1629年)
1684年4月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督代行「キューン卿ピエール・ポール・タラン」(2回目~1691年1月)
1684年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツツィ」(「ジャンパッティスタ・ファットーリ」)
1684年4月5日-01:00|チェコ| |||<死去>リヒテンシュタイン侯「カール・オイゲン・ビュース」
1684年4月5日-01:00|チェコ| |||<就任>リヒテンシュタイン侯「ヨハン・アダム・アント・レーアス」(⇒16990316リヒテンシュタイン公)
1684年4月5日-09:00|日本| ||貞享1年2月21日|幕府が路上や橋上での古銭売買を禁止/さらに古鉄・古銅類の売買も許可制とし、また古着売買令を出す
1684年4月5日-09:00|日本| ||貞享1年2月21日|「貞享」に改元
1684年4月11日-09:00|日本| ||貞享1年2月27日|幕府が関東の譜代大名に半年ごとの参勤交代を命じる
1684年4月12日-01:00|イタリア| |||<死去>ニコ・アマティ、イタリアのヴァイオリン製作者(生年1596年)
1684年4月15日-09:00|日本|東京都中央区|貞享1年3月|江戸中村座「門松四天王」にて<鳴神>初演、鳴神・初代市川段十郎、雲の絶間姫・初代伊藤小太夫(市川團十郎十八番のひとつ)「能の『一角仙人』より」
1684年4月15日-09:00|日本| ||貞享1年3月1日|服忌令を制定
1684年4月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マデira総督「Pedro de Lima Brandao」(~16880413)
1684年4月18日-09:00|日本| ||貞享1年3月3日|明の大統暦を採用
1684年5月7日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||セントジョン島に関するデンマークの支配(17180325入植)
1684年5月12日-01:00|フランス| |||<死去>エドム・マリョット、フランスの司祭、物理学者(生年1620年頃)気体の体積と圧力が反比例するという法則をボイルとは別に発見しフランスではマリョットの法則と呼ばれる/視覚の盲点の発見者でもある
1684年5月15日-09:00|日本| ||貞享1年4月|謎の感染症、麻疹か?長崎で7000人死亡、西国から東海、江戸へ侵入
1684年5月19日-09:00|日本|京都府京都市|貞享1年4月5日|京都大火、東宮御所・公家・寺院など多く焼亡
1684年5月20日-09:00|日本|大阪府|貞享1年4月6日|<死去>畿内周辺55000石「太田資次」⇒次男「太田資直」が畿内周辺52000石を継ぐ(弟「資方」に2000石を分与し5万石⇒7月19日、駿河田中藩5万石に移封)
1684年5月25日-09:00|日本| ||貞享1年4月11日|幕府が出版取締令を出し、流行していた小歌などの版行、売買を禁じる
1684年5月27日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享1年4月13日|<就任>大坂城代「水野忠春」(⇒7月)
1684年5月27日-08:00|中国/台湾| ||清・康熙23年4月14日|清が台湾に1府3県をおき、福建省に編入
1684年6月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Charles de La Roche-Courbon」(2期目~1691.2)
1684年6月4日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||<即位>ルクセンブルグ公「ルイ・デュトネ大王」フランス王ルイ14世(~16970920)
1684年6月4日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||ルクセンブルグをフランスが占領(~16980128)
1684年6月4日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ミナス侯爵アントニオ・ルイス・デ・ソウザ・テロ・デ・メセス」(~16870604)
1684年6月12日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||<就任>フランス領ルクセンブルグ総督「ランペールとサンブリス侯爵・シトリ男爵アンリ・ド・ランペール」(~1686年7月没)
1684年7月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「セリム1世ギレイ」(2期目~1691.3)
1684年7月12日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「アントニオ・デ・ロブレ・イ・ゴメス」(16860614まで暫定~1689年)
1684年7月14日-05:30|インド/中国| |||ラダック国はチベット支流(チベット自体は中国の宗主権下にある)(~18420917)
1684年7月15日-01:00|オーストリア/イタリア/ポーランド/トルコ/リトアニア| |||オーストリア、ヴェネツィア、ポーランド・リトアニア共和国の神聖同盟がオスマン帝国に宣戦
1684年7月17日-09:00|日本|大阪府大阪市住吉区|貞享1年6月5日|井原西鶴が大矢数俳諧で1日23500句の即吟記録
1684年7月19日-09:00|日本|岐阜県大垣市|貞享1年6月7日|<死去>美濃大垣藩10万石「戸田氏西」⇒8月、長男「戸田氏定」が継ぐ(⇒元禄元(1688)年7月10日、弟「戸田氏成」に新田3000石を分知し分家の支藩三河畑ヶ村藩(大垣新田藩)が誕生⇒享保8(1723)年4月23日、隠居)
1684年8月 00:00|イギリス/ジャマイカ| |||マルーン(逃亡黒人)による反乱開始
1684年8月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サスカワッチ植民地総督「リチャード・カール」(~同月)

1700迄 (2651件)

1684年8月5日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「Thomas Jermyn」(~17030401死去)
1684年8月7日-01:00|イタリア| |||<就任>ベネチア、サンタ・マウラ征服
1684年8月10日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのベイルベイ「シェイトン・イブラヒム・パシャ」(~11月)
1684年8月15日-01:00|フランス/ドイツ| |||ルイ14世が、神聖ローマ皇帝レオポルト1世と20年間の休戦協定を結ぶ
1684年8月15日-01:00|フランス/ルクセンブルグ| |||レゲンスブルグの和約でフランスがルクセンブルグを占領
1684年8月21日-09:00|日本|大阪府|貞享1年7月10日|<移封>駿河田中藩45000石「土屋政直」⇒畿内65000石(⇒貞享4(1687)年10月13日、常陸土浦藩75000石へ加増移封)
1684年8月21日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享1年7月10日|<就任>大坂城代「土屋相模守政直」(~貞享2(1685)年9月23日)
1684年8月24日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ガビリエル・デ・クルセアレ」(~16890417死去)
1684年8月24日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サント・ディゴ副総督「ヘンダー・モリス・ワース」(~16871220)
1684年8月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国国庫財務実行主席弁務官「リアルトンのゴドルフィン男爵」(~16850216) Tor
1684年8月29日-09:00|日本|静岡県藤枝市|貞享1年7月19日|<移封>畿内周辺5万石「太田資直」⇒駿河田中藩5万石(⇒宝永2(1705)年1月2日、死去)
1684年8月30日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ジョセフ・ウェスト」(~16850701)
1684年9月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「Richard Dutton卿」(2期目~1685年)
1684年9月1日-09:00|日本|福島県いわき市|貞享1年7月22日|<改易>陸奥窪田藩18000石「土方雄隆」家督争いの御家騒動により、幕府領になる/越後村上に幽閉
1684年9月5日-09:00|日本|群馬県安中市|貞享1年7月26日|<死去>上野国安中藩15000石「板倉重形」⇒貞享3(1686)年、養子「板倉重同」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年7月4日、陸奥泉藩に移封)
1684年9月9日-09:00|日本|福岡県小郡市|貞享1年7月30日|<改易>筑後松崎藩1万石「有馬豊祐」土方雄隆事件に連座、筑後久留米に幽閉/幕府直轄領となり代官が治めた(⇒元禄10(1697)年7月20日、久留米藩に還付)
1684年9月11日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|貞享1年8月2日|<死去>摂津尼崎藩48000石「青山幸利」⇒9月29日、嫡孫「青山幸督」が継ぐ(⇒宝永7(1710)年8月18日、病死)
1684年9月12日-01:00|ドイツ/イタリア| |||<死去>ヨハン・ローゼンミュラー、ドイツ・イタリアの作曲家、オルガニスト、トロンボーン奏者(生年1619年)
1684年9月12日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ルイス・ロペス・デ・シルバ」(~16880908)
1684年9月12日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>ギニア会社事務局長「ルイ・モロー・ド・ジャンボノー」(1回目~1688年)
1684年9月29日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ベネチアにプロレザ降伏
1684年9月30日-09:00|日本|千葉県市原市|貞享1年8月21日|<死去>上総高滝藩2万石「板倉重宣」⇒養子「板倉重高」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年2月、備前庭瀬藩に転封廃藩)
1684年10月-03:00|サント・マルティン| |||<就任>メッカ・シャリフ「アブド・ヒン・ザイト」(2度目~1688年)
1684年10月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Pierre de Sainte-Marthe」(~1687年)
1684年10月1日-01:00|フランス| |||<死去>ピエール・コルネユ、フランスの劇作家(生年1606年)フランス古典主義文学者/古典悲劇を創始した/主著は、情念を意志によって克服する高貴な理想的人間を描いた「ル・シット」など
1684年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ロリ」ピエトロ・フランチェニ
1684年10月3日-01:00|スペイン| |||<死去>ファン・カルネロ・デ・ミランダ、スペインの画家(生年1614年)
1684年10月7日-09:00|日本|茨城県古河市|貞享1年8月28日|<死去>下総古河藩13万石(大老)「堀田正俊」従叔父で若年寄の美濃青野藩主「稲葉正休」に江戸城内で刺殺された(生年1634年)⇒10月、長男「堀田正伸」が嗣ぐ(弟「正虎」に下野国大宮藩2万石、「正高」に下野佐野藩1万石を分与し10万石⇒貞享2(1685)年6月22日、出羽山形藩10万石へ移封)
1684年10月7日-09:00|日本|岐阜県大垣市|貞享1年8月28日|<改易>美濃青野藩12000石「稲葉正休」江戸城中において大老堀田正俊を刺殺し自身もその場で斬殺される
1684年10月9日-09:00|日本| ||貞享1年9月|<拝領>三河大給1万6千石「松平乗次」/以後[貞享4年9月]乗成[元禄16年12月]乗真(~正徳1年三河奥殿へ)
1684年10月9日-09:00|日本| ||貞享1年9月1日|日光地震/堂塔倒壊あり、山崩れで川埋まる
1684年10月13日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・トマス島・セントジョン島総督「Gabriel Milan」(~16860224)
1684年10月18日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「アントニオ・デ・ベラ・ムカ」(~29日没)
1684年10月30日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「アロンソ・フェルナンデス・マルシャル」(~1685年)
1684年11月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのベイルベイ「アルバート・アブドゥルラフマン・アブデ・イハ・パシャ」(~16860901没)
1684年11月 05:00|バハマ/スペイン| |||<就任>スペイン領バハマ植民地司令官「ファン・デ・アルコン」(~)
1684年11月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ゴードン公・4代ハントリー侯・ハントリー=インジャー伯「ジョージ・ゴードン」(~17161207死去)
1684年11月3日 00:00|イギリス| |||<昇格>初代クイーンズベリー侯「ウィリアム・ダグラス」⇒初代クイーンズベリー公(~16950328死去)
1684年11月7日-09:00|日本|栃木県佐野市|貞享1年10月|<立藩>下野佐野藩1万石「堀田正高」上野安中藩から分与(⇒元禄11(1698)年3月7日、近江堅田藩1万石に移封)
1684年11月7日-09:00|日本|栃木県栃木市|貞享1年10月|<立藩>下野大宮藩2万石「堀田正虎」上野安中藩から分与(⇒元禄7(1694)年7月6日、兄「堀田正伸」死去に伴い陸奥国福島藩を相続し廃藩)

1700迄 (2651件)

1684年11月7日-08:00|中国| ||清・康熙23年10月|清が海禁政策を解除し、展海令を出す
1684年11月22日-09:00|日本|長野県小諸市|貞享1年10月16日|<死去>信濃小諸藩2万石「松平(石川)乗政」⇒長男「松平乗紀」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年9月7日、美濃国岩村藩に移封)
1684年11月23日 00:00|イギリス| ||<死去>第3代デヴオンシャー伯「ウィリアム・キャヴァンディッシュ」
1684年11月23日 00:00|イギリス| ||<就任>第4代デヴオンシャー伯「ウィリアム・キャヴァンディッシュ」(⇒16940512デヴオンシャー公・ハートフォード侯~17070818)先代の息子
1684年12月5日-09:00|日本|東京都千代田区|貞享1年10月29日|安井算哲が、平安時代から使われていた宣明暦の誤りを修正・改良した大和暦を幕府に提出/後の貞享暦
1684年12月17日-09:00|日本|千葉県富津市|貞享1年11月10日|<改易>上総佐貫藩15000石「松平重治」大不敬、陸奥会津に幽閉
1684年12月22日-09:00|日本|宮崎県|貞享1年11月16日|日向飢肥で地震/城本丸裂ける
1684年12月31日-09:00|日本|兵庫県たつの市|貞享1年11月25日|<交替>播磨龍野藩53000石「脇坂安政」隠居⇒五男「脇坂安照」が継ぐ(⇒宝永6(1709)年1月13日、隠居)
1685年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>ベンクーレン副総督(マドラス総督に従属)「ラルフ・Ord」(~同年)⇒「ヘンリッ・ジャミン・Bloem」(~1690年)
1685年-08:00|インドネシア| ||<即位>サンハス国スルタン「Muhammad Taj ud-din1世」(~1708年)
1685年-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「Shahabud-Din」(~1710年)
1685年-08:00|インドネシア| ||<即位>パマサ君主「Adikara1世」(~1708年)
1685年-05:45|ネーデル| ||<即位>リタワラ王「ジャヤワラント・ラマツラ」(~17051028没)
1685年-05:30|インド| ||<就任>シャープ王国統治者(ターケル)「ハート・シン」(~17291227没)
1685年-05:30|インド| ||<就任>ナゴト国ラジャ「ファキル・シャー」(~1720年)
1685年-05:30|インド| ||<即位>パト国マハラジャ「ラジニグ・デオ」(~1762年)
1685年-05:00|トルクメスタン/ウズベキスタン| ||<即位>ヒヴァン国第15代ハン「フターイタート」アヌシャの子(~1687年)
1685年-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)対立皇帝「イエシヤク・イヤス」(~)
1685年-01:00|ベナン| ||<死去>アグボムのフォン王国国王「ウエガヤ」
1685年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<死去>キバング王国国王「カリス3世」
1685年-01:00|ベナン| ||<就任>アグボムのフォン王国摂政「ハンバ」(~1718年)
1685年-01:00|ドイツ| ||<就任>イゼンブルク=ビュッテングェン・イン・ビルシュタイン伯「ヴィルヘルム・モリッツ」(~1711年)
1685年-01:00|ドイツ| ||<就任>イゼンブルク=ウント・ビュッテングェン・イン・オッフエンバッハ伯「ヨハン・フィリップ」(~1718年)
1685年-01:00|オランダ/スペイン/ベルギー| ||<就任>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「カスターニャーガ」侯爵フランシスコ・アントニオ・デ・アグルト」(~1692年)
1685年-01:00|ドイツ| ||<就任>プ라우ンシュヴァイク=ヴオルフェンビュッテル侯「アントン・ウルリヒ」(~17140327死去)
1685年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「クントウカ・ムスタファ・パシャ」⇒「アバザ・シャハ・シュ・パシャ」(~1686年)
1685年-01:00|モンテネグロ| ||<就任>モンテネグロ司教公「ヴァシリエ2世」(~同年)⇒「ヴァシリオン2世」(~16920716)
1685年-01:00|ベナン| ||<即位>アグボムのフォン王国国王「アカ・ウイバガ」(~1716年没)
1685年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<即位>キバング王国国王「アントリュエ1世」(~1689年)
1685年-01:00|イタリア| ||<即位>ゲラフィナ公「Ferdinando Bernualdo Filippo Orsini」(~1734年)
1685年-01:00|スペイン| ||スペイン、黒人法制定。すべての黒人をカトリックに入信させ、プロテスタント教を禁止/プランテーションからの外出、奴隷主の許可のない結婚、私有財産の保有が禁止される
1685年-01:00|フランス| ||フランスがカリブ植民地で黒人法典を公布
1685年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>カチュー司令官「ジョアン・ゴンサルベス・デ・オリベイラ」(~1686年)
1685年 00:00|カナダ/ドイツ| ||<就任>プランドルフ=ゴルト=コスト司令官「ヨハン・ブラウ」(~1686年)
1685年 00:00|イギリス| ||チャールズ1世の息子がイングリランド王ジェームズ2世・スコットランド王ジェームズ7世として即位(-1688)
1685年 04:00|モントセイト/イギリス| ||<就任>イギリス植民地モントセイト副総督「Redmond Stapleton」(~1687年死去)
1685年 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「Edwin Stede」(1期目~16900512)
1685年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| ||<就任>ネイビス副総督「ウィリアム・バート」⇒代行「ジェームズ・ラッセル卿」(~1687年没)
1685年 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ暫定知事兼提督「Juan Francisco de Medina」(~1690年)
1685年 04:00|アンティグア=バブーダ/イギリス| ||<就任>リワード・カリブ諸島総司令官・総督「ジェームズ・ラッセル卿」(16860722まで代行~1686年9月)
1685年 04:00|チリ| ||海賊スラム船長、バルデビアを攻撃するが、守備隊の猛攻の前に敗退
1685年 04:00|チリ| ||ウィリアム・ナイトの率いる英仏混合軍、数十人がラ・セーナを襲撃/守備隊に追い返される
1685年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||ジョサンターナと彼の妻を除いて、トルテは放棄された
1685年 05:00|パナマ| ||ゲラフ、グロエ、タウンリーが率いる海賊軍団がパナマを攻撃するが、失敗
1685年 06:00|コスタリカ| ||太平洋岸のイスパルサ、英海賊の襲撃により壊滅
1685年 06:00|ニカラガ| ||コスタリカのプエロ・ベニ、ニカラガのグアラタを攻撃
1685年 07:00|メキシコ| ||フランス人海賊ラモン、カンペチェ攻略に成功
1685年1月-05:30|インド| ||<就任>タンジール国ラジャ「シャフ1世」(~1712年没)
1685年1月-01:00|フランス/アメリカ| ||サルガバルインアナにセントルイス要塞を建設
1685年1月5日-09:00|日本|東京都千代田区|貞享1年12月1日|江戸幕府が天文方を設置/貞享暦作成の功により安井算哲(渋川春梅)を任命

1700迄 (2651件)

1685年2月3日-08:00|中国| ||清・康熙24年|清が広州、章州、寧波、上海の4海関を設置
1685年2月4日-09:00|日本|長崎県対馬市|貞享2年|棧原の南に対馬藩藩校を開き小学校と称する
1685年2月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享2年1月|<刊行>井原西鶴「西鶴諸国ばなし」大坂の池田屋三郎右衛門刊
1685年2月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享2年1月|竹本義太夫「出世景清」(近松門左衛門)を大坂竹本座で初演
1685年2月11日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||ポルトガルは軍を送りマニョンの反乱を鎮圧/ベックマン、ルヘ・サンパ・イラ指導者を処刑
1685年2月16日-08:00|マレーシア| ||<死去>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ(ジョホール帝国)スルタン「スルタン・イブラヒム・シャー」
1685年2月16日-08:00|マレーシア| ||<即位>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ(ジョホール帝国)スルタン「スルタン・マフムド・シャー2世」(~16990903没)
1685年2月16日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1685/2/6|<死去>イングランド王「チャールズ2世」(54歳、16300529生)
1685年2月16日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド王国高等財務卿「ケルワースのハイド」子爵・ロチェスター伯「ロレンス・ハイド」(2期目~16860104) Tor
1685年2月16日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1685/2/6|<即位>イングランド王「ジェームズ2世」チャールズ1世の息子(初代オルバニ公・初代ヨーク公・初代アスター伯「ジェームズ・ステュアート」、爵位は王領に統合~16881223廃位~17010916死去67歳)兼スコットランド王(~16881201)
1685年2月24日 00:00|イギリス| ||<死去>カーライル伯「チャールズ・ハワード」
1685年2月24日 00:00|イギリス| ||<就任>カーライル伯「エドワード・ハワード」初代伯の長男(~16920423死去)
1685年3月20日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿代行「判事・ダブリン大司教マイケル・ボイル/ゲラート伯爵アサー・フォーブス」(~16860109)
1685年3月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享2年2月21日|<刊行>井原西鶴「梶久一世の物語」大坂森田版
1685年3月26日-09:00|日本|京都府京都市|貞享2年2月22日|<死去>111代後西天皇(49歳、生年1638年)
1685年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「オットー・オレオナルデッリ」「メルキオール・ハンマース」
1685年4月16日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウケウー国王「ワラ・タマサ」(~16920620)
1685年4月23日 06:00|アメリカ| ||<発足>アメリカ植民地に、ニュー・イングランド領が結成
1685年5月3日-09:00|日本|東京都|貞享2年4月|松尾芭蕉「野ざらし紀行」できる
1685年5月9日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Francisco Bernardo Barona」(~1689年)
1685年5月26日-01:00|ドイツ| ||<死去>プファルツ選帝侯「カール2世」34歳
1685年5月26日-01:00|ドイツ| ||<就任>プファルツ選帝侯「フィリップ・グイルヘルム」(~16900912死去)
1685年5月29日-09:00|日本|群馬県富岡市|貞享2年4月27日|<死去>上野七日市藩1万石「前田利意」61歳⇒長男「前田利広」が継ぐ(⇒元禄6(1693)年7月9日、49歳で死去)
1685年6月-02:00|ギリシャ/イタリア| ||ウエツィアによるモリア(ペロポネソス半島)侵攻
1685年6月 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督代理「ウォルター・ヘアフト」(~16860525)
1685年6月2日-04:00|ロシア/中国| ||清・康熙24年5月|清軍とロシア軍がアルハジン(稚克薩)で戦闘
1685年6月13日 00:00|イギリス| ||<私権剥奪>初代バクル公・初代モマス公・ドンカスター伯「ジェームス・スコット」、妻の公爵位は存続
1685年6月16日 04:00|サン・マルタン/フランス| ||<就任>フランス領サン・マルタン副王「chevalier de Rionville」(~1690年死去)
1685年6月17日-02:00|ギリシャ/イタリア| ||ナポリ(ビッロ)をウエツィアが占領
1685年6月19日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|貞享2年5月18日|<死去>北条氏宗、前河内狭山藩主(生年1619年)
1685年6月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享2年5月19日|<死去>浄瑠璃太夫の井上播磨掾
1685年6月21日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1685/6/11|イギリスで国王ジェームズ2世に対して先代国王庶子モマス公の反乱がおこる
1685年6月25日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督代行「イオン・ラコヴィツァ」(~7.5)
1685年6月30日 00:00|イギリス| ||<死去>第9代アーガイル伯「アーチルド・キャンベル」剥奪
1685年7月-05:30|インド| ||アーラム率いるムガル軍がハイダラーバードを攻撃
1685年7月2日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官代行「アントニオ・ムニベ/マヌエル・デ・マルティン・アイ・ゴンザレス・デ・メナ」(~16871119)
1685年7月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|貞享2年6月|<交替>因幡鳥取藩32万石「池田光仲」隠居⇒長男「池田綱清」が継ぐ(弟「仲澄」に新田25000石を分与⇒元禄15(1702)年閏8月7日、新田5000石を再分与⇒元禄13(1700)年5月25日、隠居)
1685年7月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|貞享2年6月|<立藩>因幡鹿奴藩25000石「池田仲澄」鳥取藩から分与(⇒元禄15(1702)年閏8月7日、新田5000石を再分与され3万石)
1685年7月5日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン・カンテミル」(~16930317没)
1685年7月7日-01:00|オランダ| ||<就任>メーゲン伯「アレクサンダー・オットー・グラーフ・フェレン」(~16970406)
1685年7月11日-09:00|日本|東京都千代田区|貞享2年6月10日|<就任>老中「松平信之」(~貞享3年7月21日)
1685年7月12日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ロバート・クォーリー」(~10月)
1685年7月13日-09:00|日本| ||貞享2年6月12日|<死去>八橋検校、作曲家、箏曲演奏家(生年1614年)
1685年7月15日 00:00|イギリス| ||<死去>初代モマス公爵ジェームス・スコット、貴族、軍人(生年1649年)
1685年7月15日 00:00|ガーナ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ニコラス・デ・スワーツ」(~16900129)
1685年7月23日-09:00|日本|茨城県古河市|貞享2年6月22日|<加増移封>大和郡山藩8万石「松平信之」⇒下総古河

1700迄 (2651件)

藩9万石(⇒翌年7月22日、死去)
1685年7月23日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|貞享2年6月22日|<移封>出羽山形藩9万石「奥平昌章」⇒下野宇都宮藩9万石(⇒元禄8(1695)年4月8日、死去)
1685年7月23日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|貞享2年6月22日|<加増移封>下野宇都宮藩11万石「本多忠平」⇒大和国郡山藩12万石(⇒元禄8(1695)年10月15日、死去)
1685年7月23日-09:00|日本|山形県山形市|貞享2年6月22日|<移封>下総古河藩10万石「堀田正仲」⇒出羽山形藩10万石(⇒翌年7月13日、陸奥福島藩に移封)
1685年7月30日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|貞享2年6月29日|<死去>伊勢神戸藩2万石「石川総良」⇒9月2日、長男「石川総茂」が継ぐ(弟「大久保忠明」に3000石分与し17000石⇒享保17(1732)年3月1日、常陸下館藩2万石に加増移封)
1685年8月 06:00|カタ/アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「ドゥノンヴィル侯爵ジャック＝ルネ・ド・ブリエー・ド・トゥノンヴィル」(~1689年)
1685年8月11日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ベネチア、拠点コロン(ギリシャ)を征服
1685年8月13日-09:00|日本| ||貞享2年7月14日|江戸幕府が將軍通行のときの犬猫の繫留を禁止初の「生類憐みの令」
1685年8月20日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|貞享2年7月21日|<死去>出羽本荘藩2万石「六郷政信」⇒9月22日、長男「六郷政晴」が継ぐ(⇒享保20(1735)年閏3月2日、隠居)
1685年8月21日 06:00|ニカラガ/ | |||レオンがタンビ配下の海賊によって占領される(~9. 14)
1685年8月23日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ピエトロ・ドラッツ」(~16870823)
1685年8月23日 00:00|イギリス| |||<死去>デンビー伯・デズモンド伯「ウィリアム・フィールド・イング」
1685年8月23日 00:00|イギリス| |||<就任>デンビー伯・デズモンド伯「パシル・フィールド・イング」(~17170318死去)
1685年8月29日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ナフプリオンをヴェネチアが占領
1685年9月6日-09:00|日本|静岡県浜松市|貞享2年8月8日|<死去>遠江浜松藩5万石「青山忠雄」⇒弟「青山忠重」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年9月7日、丹波亀山藩に転封)
1685年9月14日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ベネチアがカマータ降伏させる
1685年9月19日-09:00|日本|長野県長野市|貞享2年8月21日|<死去>信濃長沼藩1万石「佐久間勝豊」⇒養子「佐久間勝親」が継ぐ(⇒貞享5(1688)年5月18日、領地没収・絶家/御側小姓を命じられたが受けず逼塞)
1685年9月28日-09:00|日本|京都府亀岡市|貞享2年9月|<移封>備中庭瀬藩5万石「久世重之」⇒丹波亀山藩5万石(⇒元禄10(1697)年6月10日、三河吉田藩に転封)
1685年10月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ジョセフ・モートン」(~1686. 11)
1685年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「パオ・アントニオ・オフリ」(リドルフォ・ゾーリ)
1685年10月5日 00:00|モリタニア/ドイツ| |||アルギンをブランデンブルク(1701年以降、プロシヤ)が統治(~17210307)
1685年10月7日 00:00|モリタニア/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク領アルギン総督「ホルニス・レアーズ」(~1691年)
1685年10月16日-09:00|日本|福島県いわき市|貞享2年9月19日|<死去>陸奥磐城平藩6万石「内藤義概(義泰)」(生年1614年)⇒三男「内藤義孝」が継ぐ(⇒正徳2年12月10日(17130106)病死)
1685年10月18日-01:00|フランス| |||フランス国王ルイ14世がサントの王令を廃止し、プロテスタントを全面的に禁止
1685年10月20日 00:00|イギリス| |||<死去>2代エルギン伯・初代アイルズ・ヘリー伯「ロバート・ブルース」
1685年10月20日 00:00|イギリス| |||<就任>3代エルギン伯・2代アイルズ・ヘリー伯「トマス・ブルース」先代の五男(~17411216死去)
1685年10月20日-09:00|日本|京都府京都市|貞享2年9月23日|<就任>京都所司代「土屋政直」(⇒1687(貞享4年10月13日))
1685年10月23日-09:00|日本|東京都|貞享2年9月26日|<死去>山鹿素行/古学派の儒者・兵学者「聖教要録」(生年1622年)
1685年10月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享2年9月27日|<就任>大坂城代「内藤重頼」(⇒貞享4(1687)年10月13日)
1685年10月24日-09:00|日本|大阪府富田林市|貞享2年9月27日|<加増移封>常陸国内13000石「内藤重頼」+大坂城代とし2万石⇒富田林藩33000石(⇒元禄3(1690)年11月27日、63歳で死去)
1685年10月30日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「フランシスコ・デ・モンフォルテ」(~16910801没)
1685年11月 00:00|イギリス| |||<死去>初代ダント・サルト伯「ウィリアム・コラン」
1685年11月 00:00|イギリス| |||<就任>2代ダント・サルト伯「ジョン・コラン」先代の息子(~16900516死去)
1685年11月3日-09:00|日本|三重県桑名市|貞享2年10月7日|<交替>伊勢長島藩1万石「松平康尚」隠居⇒次男「松平忠充」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年8月21日、狂気であるとして改易)
1685年11月18日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「サリ・スレイマン・パシャ」(~16870918)
1685年11月28日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラタ大統領・総督・総司令官「セバスティアン・アルフォンソ・デ・ベラスコ」(~16860906)
1685年12月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Arnavut Abdi Pasha」(~同月)⇒「(Sarhosh) Bosnak Ahmed Pasha」(~1686年)
1685年12月13日-09:00|日本|長野県飯田市|貞享2年11月18日|<死去>信濃飯田藩2万石「堀親貞」⇒翌年3月4日、養子「堀親常」が継ぐ(⇒元禄10年3月27日(16970517)、死去)
1685年12月19日-09:00|日本|東京都中央区|貞享2年11月24日|<死去>市村長太夫/7才(六代目市村羽左衛門)
1685年12月21日-09:00|日本| ||貞享2年11月26日|幕府が、宅地法で野屋敷の購入を許可するが、新築は禁止
1685年12月26日-09:00|日本|東京都千代田区|貞享2年12月1日|幕府、貞享歴を献上した洪川春海を天文方に任命(天文方の創置)

1700迄 (2651件)

1686年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Johan Henrik Thim」(~1689年)
1686年-08:00|インドネシア| |||<即位>ハスラン君主「Surapati, Wiranegara1世」(~1706年)
1686年-05:30|インド| |||<死去>アーデル・シャーヒー朝シャー「シカンダル・アーデル・シャー」
1686年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ 領インド 総督「ローレンス・ビッツ・ド・ヨンジユ」(~1698年)
1686年-05:30|インド| |||<就任>ジャムナ-国ラジャ「グゼイ・デブ」(~1703年没)
1686年-05:30|インド| |||<就任>ジョス国統治者「デシュムク」 「サトゥ・アジ・ラオ・サトゥ・アジ・ー・チャウ・アン」建国(~1706年7月没)
1686年-05:30|インド| |||<就任>パンガナッル国統治者「ナワ」 「ムハンマド・ベグ・カーン・イルン」(~1725年没)
1686年-05:30|インド| |||<就任>プドゥッコッタ国ラジャ「ラガ・ナタ・ラヤ・トンダ・イマン」(~1730年4月没)
1686年-05:30|インド| |||<就任>ラムナト 国ラジャ「ラガ・ナタ・セトゥパティ2世」(~1710年)
1686年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「ギュムリュクチュ・フェイン」(~12. 16)
1686年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Abaza Siyavus Pasha」(~同年)⇒「Hazinedar Hasan Pasha」(~1687年)
1686年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Kaplan Pasha」(~1687年)
1686年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クマ、モノモタパ 総司令官「ミゲル・デ・アルメイダ」(~1689年)
1686年-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「イブラヒム1世」(~1688年12月)
1686年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「メフメト・パシャ」(~1688年5月)
1686年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「アンリ2世」(⇒1689年、モンモランシー公はアンギャン公と改名)
1686年 00:00|イギリス| |||<就任>11代モートン伯「ジェームス・ダグラス」(~1715年死去)
1686年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「アントニオ・デ・バロス・ベゼラ」(2回目~1688年)
1686年 00:00|カナダ/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルグ-コールト=コースト司令官「ヨハン・ニーマン」(~1691年)
1686年 04:00|チリ| |||デ・ビス船長、ラ・セレーナを攻撃。守備隊の反撃に合い、30時間教会に立てこもった後アン・エルナン・スに敗走
1686年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Pedro Reneros de Posada」(~1689年)
1686年1月4日-09:00|日本| ||貞享2年12月10日|中国・四国に大地震が発生/阿芸では人家が倒壊して死者が続出、伊予の道後温泉は黄濁
1686年1月5日-09:00|日本|新潟県上越市|貞享2年12月11日|<移封>相模小田原藩102000石「稲葉正往」⇒越後高田藩103000石(⇒元禄14(1701)年6月、下総佐倉藩に移封)
1686年1月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「クレントン伯爵ヘンリー・ハイト」(~16890312)
1686年1月10日 03:00|ブラジル| |||フェルナン・カリヨによる第三次パルマス掃討作戦
1686年1月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙24年12月18日|朝鮮、人參犯罪取締法を制定
1686年1月17日-01:00|イタリア| |||<死去>カロ・ド・ルフ、フィレンツェの画家(生年1616年)
1686年1月24日-09:00|日本|島根県安来市|貞享3年|<加増>出雲広瀬藩15000石「松平近栄」+召上げ半知の内5千石還付⇒2万石(⇒元禄7(1694)年、残りの召上げ領地1万石を還付され3万石に復帰)
1686年1月24日-09:00|日本|東京都世田谷区|貞享3年|<加増>武蔵国喜多見藩1万石「喜多見重政」+河内・武蔵国内1万石⇒2万石(⇒元禄2(1689)年2月2日、所領収公配流)
1686年1月24日-09:00|日本|埼玉県行田市|貞享3年1月|<加増>武蔵忍藩8万石「阿部正武」+1万石⇒9万石(⇒元禄7(1692)年4月、1万石加増され10万石)
1686年1月25日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アラン伯「リチャード・ハトラー」
1686年2月-10:00|グアム/北マリア諸島/スペイン| |||<就任>マリア諸島知事「Jose de Quiroga y Losada」(2期目~1689. 9)
1686年2月13日-09:00|日本|神奈川県小田原市|貞享3年1月21日|<加増移封>下総佐倉藩93000石「大久保忠朝」⇒相模小田原藩10万3000石(⇒元禄7(1694)年4月21日、1万石加増され11万3000石)
1686年2月13日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|貞享3年1月21日|<加増移封>丹波亀山藩38000石「松平(藤井)忠周」⇒武蔵国岩槻藩48000石(⇒元禄10(1697)年2月11日、但馬国出石藩48000石へ転封)
1686年2月13日-09:00|日本|千葉県佐倉市|貞享3年1月21日|<加増移封>武蔵岩槻藩4万石「戸田忠昌」⇒下総佐倉藩61000石(⇒元禄7(1694)年、河内志紀・若江・丹北3郡内1万石加増され71000石)
1686年2月18日-01:00|リトエンシュタイン| |||<死去>ホーエムス・ガラ・ファト・ウツ伯「フェルディナント・カール」
1686年2月18日-01:00|リトエンシュタイン| |||<就任>ホーエムス・ガラ・ファト・ウツ伯「ヤコブ・ハンニバル3世」(~17120609)
1686年2月23日-09:00|日本| ||貞享3年2月|<刊行>伊原西鶴「好色五人女」
1686年2月24日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・マス島・セントジョン島暫定総督「Mikkel Mikkelsen」(~7. 5)
1686年3月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランテンブルク=アンスバッハ辺境伯「ヨハン・フリードリヒ」
1686年3月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク=アンスバッハ辺境伯「クリスティアン・アルブレヒト」(~16921016死去)
1686年3月26日-09:00|日本|岐阜県恵那市|貞享3年3月3日|<死去>美濃岩村藩19000石「丹羽氏明」⇒養子「丹羽氏音」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年7月18日、越後国高柳藩1万石へ減移封)
1686年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カロ・マリ」 「ガスパーレ・カルビーニ」
1686年4月6日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アングルー伯「アーサー・アンズリー」
1686年4月6日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アングルー伯「ジェームス・アンズリー」先代の息子(~16900401死去)
1686年4月10日-09:00|日本|京都府福知山市|貞享3年3月18日|<丹波福知山貞享3年の大火>炎は西長町と上新町との間からあがった/城下町を総なめにし、わずか京町の扇屋庄右衛門宅と新町の友仙の2軒が残っただけだった

1700迄 (2651件)

1686年4月10日 03:00|日本|岐阜県岐阜市|貞享3年3月18日|<岐阜貞享3年の大火>昼過ぎ、今泉村の紺屋・五郎右衛門方から出火、隣接する岐阜城下から古屋敷、明屋敷へと延焼。翌日の夜中2時過ぎになり鎮火/被害は岐阜城下42か町、1450軒。火元の今泉村4か町、212軒。古屋敷6か町、222軒。明屋敷211軒と合計1921軒が焼失、土蔵400余棟の内、40棟が残ったに過ぎず、城下町の九割が灰となった/2人死亡

1686年4月27日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルアイド・ムハンマド 2世」

1686年4月27日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルマフデ・イ・ムハンマド」アルマフデ・イ・アフマドの息子(〜17180802死去)

1686年4月28日 00:00|イギリス| |||ニュートンは、近代物理学の基礎となる「自然哲学の数学的原理(プリンキピア第1部)」の原稿を王立協会に提出

1686年4月28日-09:00|日本|福井県鯖江市|貞享3年閏3月6日|<廃藩>越前吉江藩25000石「松平昌親」宗家松平綱昌を相続/宗家に吸収

1686年4月28日-09:00|日本|福井県福井市|貞享3年閏3月6日|<交替>越前福井藩47万5千石「松平綱昌」狂気を理由に蟄居⇒前藩主「松平昌親」が再任(25万石に減封(⇒宝永元(1704)年、「松平吉品」と改名)

1686年5月-01:00|ポーランド/ロシア/リトアニア| |||ロシアがポーランド・リトアニア共和国との「恒久平和」

1686年5月13日-09:00|日本|福井県小浜市|貞享3年閏3月21日|<死去>若狭小浜藩10万3500石「酒井忠隆」⇒長男「酒井忠圀」が継ぐ(⇒宝永3(1706)年9月8日、死去)

1686年5月20日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 弁務官「フランソワ・マルタン」(3回目〜16930908)

1686年5月25日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューイングランド 自治領総督「ジョセフ・ダトリー」(〜16861220)

1686年6月12日-09:00|日本| ||貞享3年4月22日|幕府が全国鉄砲改め令を公布

1686年6月16日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「モンロー・アバメル・ホルヘ・ロドリゲス・デ・ラ・ベガ」(〜16881119)

1686年6月25日-09:00|日本|広島県府中市|貞享3年5月5日|安芸国府中で出火、町家280軒類焼

1686年7月5日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・トマス島・セント・ジョン島総督「Christopher Heins」(1期目〜16870229)

1686年7月7日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国大宰相代行「ミヒエル・ヴァーベ・ティル・フラインフェルト」(〜16900501没)

1686年7月9日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド 諸島(トランバル)司令官「ヴァルフ・ベンリク・フォン・カルネン」(〜1687年10月)

1686年7月9日-01:00|ドイツ/オランダ/スペイン/スウェーデン| |||フランスに対抗するため、神聖ローマ帝国、スペイン、オランダ、スウェーデンがアウグスブルグ同盟を結成

1686年7月12日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ベネチアが重要拠点モント(コン付近)を占領

1686年7月14日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Jan Kip」(〜16880323)

1686年7月17日-09:00|日本|岡山県津山市|貞享3年5月27日|<交替>美作津山藩18万6500石「森長武」隠居⇒甥「森長成」が継ぐ(⇒元禄10(1697)年6月20日、死去)

1686年7月20日-09:00|日本| ||貞享3年6月|<刊行>山岡元隣「古今百物語評判」

1686年7月20日-09:00|日本|東京都|貞享3年6月|<刊行>鹿野武左衛門「鹿の巻筆」

1686年7月22日-09:00|日本| ||貞享3年6月3日|<死去>歌人・和学者の下河辺長流(60)

1686年7月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享3年6月5日|<刊行>井原西鶴「好色一代女」大坂岡田三郎右衛門刊

1686年7月25日-09:00|日本|兵庫県三田市|貞享3年6月6日|<死去>摂津三田藩36000石「九鬼隆律」30歳⇒11月14日、養子「九鬼副隆」が継ぐ(⇒元禄10(1697)年5月18日、死去)

1686年7月31日-01:00|フランス| |||<就任>ヘーリ公「シャルル」ルイ14世の長男・王太子ルイ(グラン・ドゥ・ファン)の三男、スペイン王フェリペ5世の弟(〜17140505死去)

1686年8月 00:00|イギリス/タイ| |||タイがイギリス東インド会社に宣戦布告

1686年8月10日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||<就任>フランス領ルクセンブルグ 総督「フラー公ルイ・フランソワ」(〜1687年7月)

1686年8月12日-02:00|南アフリカ| |||ステルが南アフリカ、ケープタウンで彗星C/1686R1発見

1686年8月16日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ダンモア伯「チャールズ・マレイ」(〜17100419死去)

1686年8月31日-09:00|日本|福島県福島市|貞享3年7月13日|<移封>出羽山形藩10万石「堀田正仲」⇒陸奥福島藩10万石(⇒元禄7(1694)年7月6日、死去)

1686年8月31日-09:00|日本|山形県山形市|貞享3年7月13日|<加増移封>豊後国日田藩7万石「松平直矩」幕領になる⇒出羽山形藩10万石(⇒元禄5(1692)年7月27日、陸奥国白河藩15万石へ加増移封)

1686年9月-05:30|インド| |||ムガル朝がアーデル・シャーヒー朝を服属させる

1686年9月 04:00|アンティグア・バーブーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリブ 諸島総司令官・総督「サニエル・ジョンソン卿」(〜1689年)

1686年9月2日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||オーストリア軍が、オスマン朝の支配下にあったブダを解放

1686年9月4日-09:00|日本|佐賀県唐津市|貞享3年7月17日|<死去>肥前唐津藩7万石「松平乗久」⇒次男「松平乗春」が継ぐ(⇒元禄3(1690)年9月5日、死去)

1686年9月8日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「シルベ・カブレラ・イ・タバダ」(1回目〜16910510)

1686年9月9日-09:00|日本|茨城県古河市|貞享3年7月22日|<死去>下総古河藩9万石(老中)「松平信之」⇒8月29日、家督を長男「松平忠之」が嗣ぐ(弟「信通」に1万石分与し8万石⇒元禄6(1693)年11月23日、狂気により改易)

1686年9月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン・アイトナ侯「John George1世」

1686年9月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン・アイトナ侯「John George2世」(〜16981110死去)

1686年10月 00:00|イギリス/インド| |||ムガル軍と英東インド会社がベンガルで衝突

1686年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョアン・アントニオ・ベッリッティ」(「アルフォンソ・トシーニ」

1700迄 (2651件)

1686年10月3日-09:00|日本| ||貞享3年8月16日|遠江・三河地震/M6.5~7、死者1180人、行方不明者1126人
1686年10月6日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<死去>セント・ユースタティウス島司令官「Louis Houtcooper」
1686年10月6日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースタティウス島司令官代理「Johan Cuvilje」(~同年)
1686年10月10日 06:00|エルサルバドル| |||サンサルバドルを中心にして大地震、千5百人が死亡、30万人に被害
1686年10月12日-09:00|日本|大阪府岸和田市|貞享3年8月25日|<交替>和泉岸和田藩53000石「岡部行隆」隠居⇒長男「岡部長泰」が継ぐ(⇒享保6(1721)年9月22日、隠居)
1686年10月16日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|貞享3年8月29日|<立藩>大和興留藩1万石「松平(藤井)信通」下総古河藩より分与(⇒元禄6(1693)年11月5日、備中庭瀬藩3万石へ加増移封)
1686年10月18日-09:00|日本|東京都|貞享3年9月2日|火附盗賊改中山勘解由、府内を横行していた大小神祇組の二百数十名を一斉検挙
1686年10月26日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ブリッジウォーター伯「ジョン・インジャートン」
1686年10月26日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ブリッジウォーター伯「ジョン・インジャートン」(~17010319死去)
1686年11月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ジェームズ・コレトン」(~1690年)
1686年11月3日-09:00|日本|東京都|貞享3年9月18日|将軍綱吉が命名した「三河記」の校訂が終わり、書名を「武徳大成記」と改める
1686年11月11日-01:00|フランス| |||<死去>ブルボン公「ルイ2世」兼モンモランシー公「ルイ」
1686年11月11日-01:00|フランス| |||<就任>ブルボン公「ルイ3世」(~1709年)
1686年11月12日-09:00|日本|東京都|貞享3年9月27日|幕府が市中を横行する大小神祇組200余人のうち11人を斬罪にする
1686年11月26日-01:00|デンマーク| |||<死去>ニコラス・ステル、デンマークの司祭、科学者(生年1638年)解剖学の分野で耳下腺の主導管(ステル管)を発見
1686年11月29日-09:00|日本|長野県松本市|貞享3年10月14日|<貞享騒動>信濃国松本藩で発生した百姓一揆/安曇郡長尾組中萱村の元庄屋、多田加助(嘉助)を中心とした同志11名は、ひそかに中萱の熊野神社拝殿に集まり百姓たちの窮状を救うため松本の郡奉行所へ行って直接郡奉行に1俵あたり2斗5升への減免等を求める5か条の訴状を提出
1686年12月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースタティウス島司令官「Lucas Schorer」(~16890406)
1686年12月1日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「トマス・ブリッジス」(~1690年6月)
1686年12月2日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島司令官「Jean-Baptiste Drouillard」(~16891210)
1686年12月10日-09:00|日本|千葉県富津市|貞享3年10月25日|<交替>上総飯野藩2万石「保科正景」隠居⇒四男「保科正賢」が継ぐ(⇒正徳4(1714)年12月22日、死去)
1686年12月13日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ド・リゴ・ダ・コスト」(~16900623死去)
1686年12月15日-09:00|日本| ||貞享3年11月|<刊行>井原西鶴「本朝廿不孝」
1686年12月15日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享3年11月|<刊行>吉田半兵衛画「難波立聞昔話」(大坂、芝居評判記)
1686年12月20日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューイングランド自治領総督「エドワード・アントニス」(~16890418)
1687年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Dirk de Haas」(~1691年)
1687年-08:00|インドネシア| |||<即位>バタワン王国スルタン「ムハマト・ヤヤ」(~1690年)
1687年-05:45|ネパール| |||<即位>カンティープラ王「ジャヤプラレントラマ」(~1700年)
1687年-05:30|インド| |||<就任>コタケ国ラジャ「トッタ・ウイラバ」(~1736年没)
1687年-05:30|インド| |||<就任>タンタ国統治者(マハラ)「プリタヴィシムジ・ガジシムジ」(~1743年没)
1687年-05:30|インド| |||ガール帝国がタンジャール・マラーター王国からバンガロールを奪った際、同地をマイソール王国(オデヤ朝)チッカ・デ・ウァラジャ封土として与えられた
1687年-05:30|インド/ポルトガル| |||サントメ・メリアポアがポルトガルに再占領される(~17491021)
1687年-05:30|インド| |||ハイデラバード国はムガル帝国の一部
1687年-05:30|インド/フランス| |||マサラパタムをフランスが所有(~1705年3月)
1687年-05:00|モルデイグ| |||<即位>クテーム朝スルタン「Kuda Muhammad Maniranna Loka」(~1691年殺害される)
1687年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第16代ハン「ムハマト・アルン1世(アラング)」アヌ・ジャの子(~1694年)
1687年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「セルコス・アフマト・ケトダ」(1回目~1688年)
1687年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「アブドゥル・ラーマン・ハシ」(2回目~1688年)
1687年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Yegen Osman Pasha」(~同年)⇒「Hazinedar Hasan」(~同年)⇒「Yegen Osman」(~1688年)
1687年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「モラチュク・ハサン・ハシ」(~同年)⇒「ダマト・ハサン・ハシ」(1回目~1689年)
1687年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Arab Salih Pasha」(~1688年)
1687年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者(アメルカ)「ムハマト・アッバ・イブン・ムハマト・アル・ムバラク」(~1721年)
1687年-01:00|スペイン| |||スペイン領西インドでアウデ・エンシア判事職の売官制を制定
1687年-01:00|フランス/ハイチ| |||フランス、エスパニョール島の東1/3の領有を主張。「サント・マンク」と名づける
1687年 00:00|イギリス| |||<死去>5代ヒューム伯「ジェームズ・ヒューム」
1687年 00:00|イギリス| |||<就任>6代ヒューム伯「チャールズ・ヒューム」(~17060820死去)
1687年 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド総督「初代ティアコル伯爵リチャード・タルボット」(~1688年)
1687年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Bento de Sousa Lima」(~1689.6)

1700迄 (2651件)

1687年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<設立>ポルトガルによりビサウ入植地(1696年までカエーの一部)
1687年 00:00|カナド/イ/オランダ| |||オランダ人がトロア砦を占領(~1698年)
1687年 04:00|モントセリト/イギリス| |||<死去>イギリス植民地モントセリト副総督「Redmond Stapleton」
1687年 04:00|モントセリト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセリト副総督「Nathaniel Blackiston」(~1695年)
1687年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>ネイビス副総督「ジョン・サウエイ」(~1691年没)
1687年 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<就任>フランス領サン・バルテルミー島総司令官「Legrand」
1687年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ディエゴ・デ・メシア」(~1694年)
1687年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネカット植民地総督「エドマンド・アントニス」(~1689年)
1687年 06:00|ニカラガ/イギリス| |||ジャマイカ総督、「モスケット国国王」をでっち上げ、モスケット地方を英国の保護領と宣言/ミ
スケット族の王ジェレミ1世、ジャマイカで戴冠式をおこなう
1687年1月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領西ニュージャージー総督「ダニエル・コックス」(~1688年)
1687年1月4日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国国庫財務実行主席弁務官「ヘラシズ男爵ジョン・ヘラシズ」(~1689
0408死去) Tor
1687年1月5日-09:00|日本|長野県|貞享3年11月22日|<貞享騒動>多田加助とその一族、同志は、安曇郡(中萱村、楡
村、大妻村、氷室村)の者は勢高刑場で、筑摩郡(三溝村、堀米村、浅間村、岡田村、梶海渡村、執田光村)の者は出川
刑場で、磔8名(加助、善兵衛含む)、獄門20名の極刑に処された/騒動の後、年貢は元通りの3斗に引き下げられる
ことになる
1687年1月10日-09:00|日本|京都府福知山市|貞享3年11月27日|<丹波福知山貞享3年の大火>昼過ぎ、紺屋町の庄
右衛門方から出火、城下の職人町通り付近の家屋密集地が焼けた/焼失家屋250軒
1687年1月13日-09:00|日本|東京都|貞享3年11月30日|江戸町奉行、うどん、そばなど火を携行し行商することを
禁じる
1687年1月20日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>エストニア総督「ニルス・テュレツソン・ビールケ」(~4. 19)
1687年2月5日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|貞享3年12月23日|大阪天満大火で大坂天満宮・興正寺等焼失
1687年2月12日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|貞享4年|<創建>鍋島藩が祐徳稲荷神社
1687年2月12日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ティルコホル伯爵リチャード・タホット」(~16890312)
1687年2月12日-09:00|日本| ||貞享4年1月|<刊行>井原西鶴「男色大鑑」
1687年2月28日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・トマス島・セントジョン島暫定総督「Adolph Esmitt」(2期
目~16880324)
1687年3月3日 03:00|ブラジル| |||Domingos Jorge Velho, 州政府と契約を結び、第一回目のパルマス掃討作戦/目
立った戦果を挙げることなく引き上げる
1687年3月11日-09:00|日本| ||貞享4年1月28日|幕府が最初の生類憐みの令を出す(重病の生類をまだ生きてい
るうちは捨ててはいけない)
1687年3月14日-09:00|日本|東京都八丈町|貞享4年2月1日|幕府台所頭天野正勝、台所の井戸に猫が落ちて死んだ
罪を問われて八丈島へ流される
1687年3月19日-01:00|フランス| |||<死去>ロベール・カブリエ・ド・ラ・サール、フランスの探検家(生年1643年)アメリカ合衆国とカナダの
五大湖地域、ミシシッピ川、メキシコ湾を探検し、ミシシッピベイスン全体をフランス領として主張し、「ルイジアナ」と名付けた
1687年3月24日 00:00|イギリス| |||<昇格>初代ホウイス伯「ウィリアム・ハーバート」⇒初代ホウイス侯(~16960602死去)
1687年4月-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Francisco Lopez Moreno」(~16871005死去)
1687年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「アレクサンドロ・ベルツィ」「マルクアントニオ・チェッリ」
1687年4月4日 00:00|イギリス| |||イギリス王ジェームズ2世が信仰の自由を宣言
1687年4月9日-09:00|日本| ||貞享4年2月27日|幕府が、食料として魚鳥を飼うことを禁ずる(生類憐みの令)
1687年4月10日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ロバート・ロビンソン卿」(~16910111)
1687年4月11日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ペドロ・デ・アラゴン・イ・アベヤネダ」(~8. 2
0)
1687年4月12日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享4年3月|<刊行>井原西鶴「憶硯」
1687年4月16日 00:00|イギリス| |||<死去>バッキンガム公・コウエンリー伯「ジョージ・ウイリアムズ」廃絶
1687年4月19日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>エストニア総督「アクセル・ユリウス・グレーヴ・デ・ラ・ガルド・ディ・ア・レッコ」(~1704年
12月)
1687年4月20日 05:00|エカートル/イギリス/フランス| |||イギリスとフランスの海賊がグアヤルを略奪し、焼き払う
1687年4月30日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和8年3月19日|<死去>広南国主「賢主・阮福瀨」
1687年4月30日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和8年3月19日|<即位>広南国主「義主・阮福タイ」(~16910207死去)
1687年5月2日-09:00|日本|京都府京都市|貞享4年3月21日|<就任>摂政「一条冬経」
1687年5月2日-09:00|日本|京都府京都市|貞享4年3月21日|<譲位>112代「霊元天皇」
1687年5月2日-09:00|日本|京都府京都市|貞享4年3月21日|<踐祚>113代「東山天皇」/4月28日即位式~宝永6年6月
21日
1687年5月7日-09:00|日本| ||貞享4年3月26日|幕府が生鳥を飼うことを禁ずる(生類憐みの令)
1687年5月11日-09:00|日本| ||貞享4年4月|<刊行>井原西鶴「武道傳來記」
1687年5月21日-09:00|日本| ||貞享4年4月11日|江戸幕府第5代将軍徳川綱吉が「禽獣の類で、人に傷つけられた
ものあらば訴えよ。主のない犬には食べ物を与えよ。」との令を出す(生類憐みの令)
1687年5月21日-09:00|日本| ||貞享4年4月11日|幕府が捨て子の養育、質入れ田畑の年貢負担者規定・田畑永代
売買禁止を発令
1687年6月-04:00|ロシア| |||ロシアが第1次クリミア遠征を開始

1700迄 (2651件)

1687年6月4日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「マティアス・ダ・クーニャ」(~16881024没)

1687年6月9日-09:00|日本| ||貞享4年4月30日|幕府が「鳩を磔にて打ったものは処罰する」との令を出す(生類憐みの令)

1687年6月10日-09:00|日本|大阪府|貞享4年5月|河村瑞賢、淀川治水完成

1687年6月19日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ペリシモ・デ・カルヴァーリョ・ダ・コスタ」(~16880424)

1687年7月4日-05:30|スリランカ| |||<即位>カンディ王国(ティナジャ家)Vimaladharmasuraya2世(~17070604)

1687年7月5日 00:00|イギリス| |||アイザック・ニュートンが「自然哲学の数学的諸原理」(プリンキピア)刊行

1687年7月10日-05:30|インド| |||マイソール王国(オデヤ朝)チッカ・デーヴァ・ラージャはタンジャール・マラーター王国に対し、バンガロールの領土の対価として30万ルピーを支払い、同地を購入する形をとった

1687年7月25日-01:00|ルセンブルグ/フランス| |||<就任>フランス領ルセンブルグ 総督「サンクランシオン卿ニコラ・ド・カイヤ」(~1690年)

1687年7月27日-09:00|日本|福岡県福岡市|貞享4年6月19日|博多祇園山笠(追山)始まる

1687年8月2日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|貞享4年6月25日|<死去>下野烏山藩2万石「那須資弥」⇒8月25日、養子「那須資徳」が継ぐ(⇒同年10月14日、改易)

1687年8月7日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||モレア(ペロポネソス半島)と隣接する島々がヴェネツィア共和国に占領された(~17150720)

1687年8月8日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|貞享4年7月|<交替>薩摩藩(鹿児島城)72万8700石「島津光久」隠居⇒孫「島津綱貴」が継ぐ(⇒宝永元年9月16日(17041014)死去)

1687年8月12日-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| |||第2次モハーチの戦いで、オーストリア軍がオスマン軍を破る

1687年8月15日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<死去>フランス領マルティニーク知事「Jacques de Chambly」

1687年8月15日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Charles de Pechpeyrou-Comminges de Guittaut」(~1689年)

1687年8月20日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「デ・イコ・デ・ベカ・イ・サダ」(~16930921)

1687年8月27日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ルカ・スピノラ」(~16890827)

1687年8月27日-09:00|日本|東京都|貞享4年7月20日|幕府が「市内で、大八車や牛車などが犬がひかないように注意せよ」との令をだす(生類憐みの令)

1687年9月1日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「南九萬」(~16880809)

1687年9月14日-09:00|日本|奈良県天理市|貞享4年8月8日|<死去>大和柳本藩1万石「織田秀一」⇒9月17日、長男「織田秀親」が継ぐ(⇒宝永6年2月16日(17090326)殺害された)

1687年9月15日-09:00|日本|愛知県田原市|貞享4年8月9日|<死去>三河田原藩12000石「三宅康勝」60歳⇒長男「三宅康雄」が継ぐ(⇒享保11(1726)年10月4日、死去)

1687年9月17日-09:00|日本|福島県いわき市|貞享4年8月11日|<加増>陸奥湯長谷藩12000石「遠山政亮」+3000石⇒15000石(⇒元禄6(1693)年11月7日、死去)

1687年9月18日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「アバザ・シヤブ・シュ・パシヤ」(~16880223)

1687年9月19日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官「ピーター・ホフマン」(~1688年)

1687年9月21日-05:30|インド| |||<退位>ゴールコンダ王国スルタン「アフル・ハサン・クトゥブ・シャー」ムガル帝国に降伏

1687年9月21日-09:00|日本|熊本県熊本市|貞享4年8月15日|<死去>熊本新田藩35000石「細川利重」⇒長男「細川利昌」が継ぐ(⇒正徳5(1715)年6月3日、死去)

1687年9月26日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ヴェネツィア軍が、オスマン朝支配下のアテネを砲撃し占領/パルティノンの神殿が破壊される

1687年10月-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランケバル)司令官「クリスチャン・ホーク」(1回目~1689年)

1687年10月-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ベイルベイル「マフムド・パシヤ」(1回目~1689年)

1687年10月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Pierre-Eleonore de La Ville」(2期目~1688年)

1687年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツツィ」(「ジャンバットISTA・ファットーリ」)

1687年10月1日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|貞享4年8月25日|<交替>大和高取藩22000石「植村家貞」隠居⇒次男「植村家言」が継ぐ(弟「政明」・「正澄」に1500石分知し20500石⇒元禄9(1696)年3月18日、死去)

1687年10月1日-09:00|日本|新潟県新潟市|貞享4年8月25日|<改易>越後沢海藩1万石「溝口政親」酒乱行為、近江水口に幽閉

1687年10月5日-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領メリウ総督「Francisco Lopez Moreno」

1687年10月6日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Antonio Dominguez de Duran」(~1688年)

1687年10月15日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ島副司令官「Engel van Beverhoudt」(~1690年死去)

1687年10月18日-09:00|日本| ||貞享4年9月13日|幕府が「往来で生類を傷つけた者がいたら、辻番の番人はその者の住所を聞き後日の調べがあるまで他出しないよう申し付けよ」との令を出す(生類憐みの令)

1687年10月20日 05:00|ペルー| |||ペルー、リマ・カヤ沖で地震(マグニチュード8.7)死者5000人、津波が日本にまで届く

1687年10月20日-09:00|日本| ||貞享4年9月15日|幕府が、捨て馬を禁止する令を出す(生類憐みの令)

1687年10月26日-09:00|日本|東京都|貞享4年9月21日|<死去>初代伊藤小太夫/39才(初代市川段十郎の相手役、女形)

1687年11月3日 00:00|イギリス| |||<死去>初代プリマス伯「トマス・ヒックマン=ウインザー」

1687年11月3日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代プリマス伯「アザー=ウインザー」(~17271226死去)

1687年11月8日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第20代スルタン「スレイマン2世」先代の弟、18代イブラヒムの子(~16910622死去)

1687年11月8日-02:00|トルコ| |||<廃位>オスマン帝国第19代スルタン「メフメト4世」(~16930106死去)

1700迄 (2651件)

1687年11月12日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Antonio Pereira de Brito e Lemos」(~同年死去)

1687年11月16日-01:00|スペイン| |||<死去>オリバーレス公「ガスパール・メンデス・デ・アロ」

1687年11月16日-01:00|スペイン| |||<就任>オリバーレス公「カトリナ・メンデス・デ・アロ」(~1733年)

1687年11月17日-09:00|日本|茨城県土浦市|貞享4年10月13日|<加増移封>畿内65000石「土屋政直」⇒常陸土浦藩65000石(⇒元禄7(1694)年4月21日月、1万石加増され75000石)

1687年11月17日-09:00|日本|大阪府|貞享4年10月13日|<加増移封>常陸土浦藩22000石「松平(大河内)信興」⇒摂津・河内国内32000石(⇒元禄4年閏8月12日(16911003)、死去)

1687年11月17日-09:00|日本|大阪府|貞享4年10月13日|<就任>大坂城代「松平信興」(⇒元禄3(1690)年12月26日)

1687年11月17日-09:00|日本|京都府京都市|貞享4年10月13日|<就任>京都所司代「内藤重頼」(⇒1690(元禄3年11月27日))

1687年11月17日-09:00|日本|東京都千代田区|貞享4年10月13日|<就任>老中「土屋政直」(~享保3年3月3日)

1687年11月18日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|貞享4年10月14日|<改易>下野烏山藩2万石「那須資徳」家中相続騒動、陸奥津軽に幽閉/子孫は交代寄合

1687年11月19日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「デ・イエゴ・アントニオ・デ・ウ・イアナ・エ・ヒノサ」(~16891030)

1687年11月25日-05:30|スリランカ| |||<即位>シンハラ国王Vimaladharmasuriya2世(~17070604死去)

1687年11月25日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|貞享4年10月21日|<移封>河内渚藩3万石「永井直敬」⇒下野烏山藩3万石(⇒元禄14(1701)年9月1日、播磨赤穂藩33000石に加増移封)

1687年12月6日-05:30|スリランカ| |||<死去>キャンディ王国国王「ラジヤシガ」2世

1687年12月6日-05:30|スリランカ| |||<即位>キャンディ王国国王「ウ・イマラ・ダ・ルマシリヤ2世」(~17070604死去)

1687年12月9日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー王「ヨーゼフ1世」共同統治(~17110417没)

1687年12月20日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サンティアゴ 副総督「クリスティアン・モンク、アルバ・マール公」(~16881006没)

1687年12月20日-09:00|日本| ||貞享4年11月16日|室町時代以来130年間廃絶していた大嘗会が将軍綱吉の献金により再興

1688年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・ハカル」(~1690年)

1688年-07:00|ラオス| |||<死去>シェンクアーン公「カム・サン」

1688年-07:00|ラオス| |||<即位>シェンクアーン公「カム・ラン」カム・サンの息子(~1700年)

1688年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王「ラジャ・ハカル」(~1690年)

1688年-07:00|タイ| |||ライ王が没しタイで政変、親仏政策を放棄

1688年-05:30|インド| |||<就任>ケンジヤル国ラジャ「ジャガンナート・パンジ」(~1700年)

1688年-05:30|インド| |||<就任>サト国統治者(ラ)「マフシジ」(~1705年)

1688年-05:30|インド| |||<就任>パンスワラ国統治者(マハラ)「アジヤブ・シン」(~1706年没)

1688年-05:30|インド| |||<就任>パランプル国統治者(デ・イワン)「フィリス・カマル・カーン」(2回目~1704年)

1688年-05:30|インド| |||<就任>マウルニ国ラジャ「セーブ・ウ・アラ・パニ・デ・オ」(~1711年)

1688年-05:30|インド| |||<即位>カラウリ国マハラジャ「クンワール・パール2世」(~1724年)

1688年-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「エレクレ1世」(~1703年)

1688年-04:00|オマーン| |||<即位>ヤア・リバ 王朝イマム「ヒラフ・イブン・スルターン」(~1692年)

1688年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「オマル・パシャ」(3回目~1689年)

1688年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「ホセイン・パシャ」(~1690年)

1688年-03:00|スーダン| |||<即位>ダフル・スルタン国スルタン「スレイマン・スル」(~1701年頃)

1688年-03:00|ケニア| |||<即位>パテ・スルタン国スルタン「Bwana Mkuu, Mfalume」(~1713年)

1688年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Arap Receb Pasha」(~1689年)

1688年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Hamza Pasha」(~1689年)

1688年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<設立>モレア王国(ヴェネツィア領モレア)(~1715年)

1688年-02:00|南アフリカ/オランダ| |||オランダに流入していたユグノ難民がケープへ移住開始

1688年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Bernabe Ramos y Miranda」(~1691年)

1688年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「シャルル1世フレデリック」(~1726年)

1688年-01:00|ドイツ| |||<昇格>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「John Ernst」⇒ナッサウ＝ヴァイルブルク侯(~17190227死去)

1688年-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤチェ・イェのフォン王国国王「テ・アグ・バソリン」アラダ王家の分裂により建国(~1723年)

1688年-01:00|セルビア/ハンガリー| |||グ・オウ・オ・デ・イはハンガリーの一部

1688年-01:00|オーストリア/ハンガリー| |||オーストリア軍がトルコ軍を追撃し、オヴラードを占領

1688年-01:00|オランダ| |||ベルゲン・オブ・ズームがオランダ共和国に占領される(~1697年)

1688年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ロドリゴ・オリベira・ダ・フォンセカ」(~1689年)

1688年 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>ギニア会社事務局長「ミシェル・ジャジヨレ・ト・ラ・ケルブ」(~1690年)

1688年 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官「ニコライ・フェンズマン」(1回目~16910105)

1688年 00:00|イギリス/オーストラリア| |||イギリス人タンビアがオーストラリア大陸の西海岸に上陸

1688年 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Francois Lefebvre de la Barre」(~1691.1)

1688年 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<就任>フランス領サン・バルテルミー島司令官「Henri Charles de Vaultier」(~16900104死去)

1688年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ベッセルニア植民地総督「ジョン・ブラックウェル」(~1688年)

1688年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メーラント植民地総督「ウィリアム・ジョセフ」(~1689年)

1700迄 (2651件)

1688年1月3日-09:00|日本|愛媛県松山市|貞享4年12月|松山藩主松平定直、黄檗宗千秋寺を開創
1688年1月4日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アフマド・ブン・ガリーブ」(~1690年4月)
1688年1月7日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク伯「ジェームズ・ハワード」
1688年1月7日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯「ジョージ・ハワード」(~16910421死去)
1688年1月14日-01:00|イタリア| |||イタリア・ピスツッチ、地震、死者2千
1688年1月25日-09:00|日本| ||貞享4年12月23日|幕府が、捨て馬をした者を遠流とする令を出す(生類憐みの令)
1688年1月26日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ジャシント・デ・バリオス・イ・リール」(1回目~16910201)
1688年1月27日-09:00|日本|大阪府岸和田市|貞享4年12月25日|<死去>岡部行隆、前和泉岸和田藩主(生年1617年)
1688年1月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|貞享4年12月27日|<死去>歌舞伎役者・嵐三郎四郎、病氣と借金を主たる原因として自殺
1688年2月2日-09:00|日本|香川県丸亀市|貞享5年|京極二代目藩主高豊侯によって丸亀藩中津別館として丸亀中津万象園作庭(香川県)
1688年2月2日-09:00|日本| ||貞享5年1月|<刊行>井原西鶴「日本永代蔵」
1688年2月23日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「アヤシュ・イスマイル・パシャ」(~5. 2)
1688年3月2日-09:00|日本| ||貞享5年2月|<刊行>井原西鶴「武家義理物語」
1688年3月3日-01:00|フランス| |||<死去>キース公「マリ」
1688年3月3日-01:00|フランス| |||<就任>ジヨウヌス公「Charles Francois de Lorraine」(~1690年~17020815死去)
1688年3月3日-01:00|フランス| |||<即位>キース公「アンリ3世」(~17090401死去)
1688年3月16日-09:00|日本|東京都千代田区|貞享5年2月15日|幕府が僧隆光の助言を入れて、湯島の知足院を江戸城の鬼門にあたる神田橋外に移す(のちの護持院)
1688年3月17日-09:00|日本|三重県亀山市|貞享5年2月16日|<交替>伊勢亀山藩5万石「板倉重常」隠居⇒養子「板倉重冬」が継ぐ(⇒宝永6(1709)年3月23日、死去)
1688年3月18日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ホリングブルック伯「オリバー・シンジヨン」
1688年3月18日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ホリングブルック伯「ホーレット・シンジヨン」2代伯爵の弟(~17111005死去断絶)
1688年3月18日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|貞享5年2月17日|<死去>真田信利、配所の下野国宇都宮の奥平家にて(53歳、生年1635年)元上野国沼田藩藩主
1688年3月19日 04:30|ペネエス/スペイン| |||<就任>スペイン領ペネエス総督「Diego Jimenez de Enciso」(~16920519)
1688年3月23日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「マルカンティオ・ジュステイニアン」
1688年3月24日 04:00|米領グァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Iver Hoppe」(~7. 7)
1688年3月24日-09:00|日本|愛知県刈谷市|貞享5年2月23日|<交替>三河刈谷藩2万石「稲垣重昭」隠居⇒長男「稲垣重富」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年9月7日、上総大多喜藩に移封)
1688年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「イゼント・ボネリ」
1688年4月1日-09:00|日本| ||貞享5年3月|<刊行>井原西鶴「嵐は無常物語」(嵐三郎四郎追善本)
1688年4月3日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「フランチェスコ・モロシーニ」(~16940116死去)
1688年4月9日-02:00|キリシヤ/イタリア| |||ペネツィア、アネ放棄
1688年4月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Lourenco de Almada」(~16901020)
1688年4月22日 01:00|カーボ・ベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボ・ベルデ 総督代行「ピクトリア司教ボルト」(~16900228)
1688年4月29日-01:00|ドイツ| |||<就任>ラウゲンスベルク伯「フリードリヒ3世」(~17130225死去)(1701年からプロシヤ王フリードリヒ1世)
1688年5月-01:00|ポスニア/ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「ガジ・トパル・フェイン・パシャ」(1回目)⇒「イエゲン・オスマン・パシャ」⇒「ガジ・トパル・フェイン・パシャ」(2回目~1689年)
1688年5月 00:00|イギリス| |||<死去>第4代ポートランド伯「トマス・ウェストン」伯爵位廃絶
1688年5月1日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「ジャッデ・イン・ムカラム・シャー1世」
1688年5月1日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「アウッラー・ムハンマド・シャー2世」(~16981117死去)
1688年5月7日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1688/4/27|イギリス国王ジェームズ2世が、カトリックの復活を図る「信仰の自由宣言」を再公布
1688年5月7日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領東西ニュージャージー-総督「エドマンド・アントニス」ニューヨーク植民地と、東西ジャージー植民地が自治領に追加(~16890418)
1688年5月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>プロシヤ公・ブランデンブルク選帝侯・マルク伯「フリードリヒ・ギルヘルム」68歳
1688年5月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>プロシヤ公「フリードリヒ」兼ブランデンブルク選帝侯「フリードリヒ1世」フリードリヒ・ギルヘルムの息子(17010118プロシヤ王~17130225死去55歳)
1688年5月20日-09:00|日本|千葉県野田市|貞享5年4月21日|<加増>下総関宿藩53000石「牧野成貞」⇒73000石(⇒元禄8(1695)年11月29日、隠居)
1688年5月30日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ベクリ・ムスタファ・パシャ」(~16891107)
1688年6月5日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ジョン・ルイス・オブ・エルターレン」(~16940201死去)
1688年6月5日-01:00|イタリア| |||イタリア、カンパニア州で地震(M6. 6) 死者3000~1万人
1688年6月10日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公・チェスター伯「ジェームズ・フランス・エドワード」ジェームズ2世の子(~16881201)兼ロズー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・21代キャリック伯(~17020302)
1688年6月14日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Nicolaes van Beek de Jong」(~1690年)
1688年6月16日-09:00|日本|長野県長野市|貞享5年5月18日|<改易>信濃長沼藩1万石「佐久間勝親」勤務懈怠/陸奥

1700迄 (2651件)

二本松に幽閉

1688年6月28日-09:00|日本| ||貞享5年6月|<刊行>井原西鶴「色里三所世帯」
1688年6月28日-08:00|モンゴル| ||清・康熙27年6月|モンゴルのガルトン・ハーンがハルハ部に侵入
1688年7月7日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| ||<就任>セント・マース島・セントジョン島総督「Christopher Heins」(2期目~16891002)
1688年7月10日-02:00|トルコ| ||トルコ、イズミルで地震(M7) 死者1万7600人
1688年7月11日-07:00|タイ| ||<死去>アユタヤ王朝第30代国王「ラーマ・ティボート・イ-3世ナラーイ」
1688年7月11日-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第31代国王「ペートラーチャー(マハーフルット)」(~1703. 2死去)
1688年7月18日-09:00|日本|栃木県大田原市|貞享5年6月21日|<死去>下野黒羽2万石「大関増栄」⇒嫡孫の「大関増恒」(~元文3(1738)年3月25日、隠居)
1688年7月28日 03:00|スリナム/オランダ| ||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督代行「アブラハム・ファン・グレートンブルク」(~16890312)
1688年7月29日-09:00|日本|茨城県つくば市|貞享5年7月3日|<死去改易>常陸北条藩13000石「堀田正英」次男に3千石、三男に2千石が与えられたが、8千石は収公、長男は蟄居
1688年8月5日-09:00|日本|岐阜県大垣市|貞享5年7月10日|<立藩>三河畑ヶ村藩(大垣新田藩)1万石「戸田氏成」美濃大垣藩より新田3000石を分知され(⇒享保4(1718)年5月3日、死去)
1688年8月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「金寿桓」(~16890221)
1688年8月30日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ブラガンサ公・ブラジル公・ヴィラ・ヴィーザ侯・バルセルモ伯・オウレム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「ジョアン」ピーター2世国王の長男(~9. 17死去)
1688年9月8日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ジョアン・デ・ランカスター」(~16911101)
1688年9月17日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ブラガンサ公・ブラジル公・ヴィラ・ヴィーザ侯・バルセルモ伯・オウレム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「ジョアン」
1688年9月24日-01:00|フランス/ドイツ/オランダ/スウェーデン/イギリス| ||フランス軍の攻撃で、アウクスブルク同盟戦争(フ・ファルツ戦争)の戦端が開かれる
1688年9月24日-09:00|日本| ||貞享5年9月|<刊行>井原西鶴「好色盛衰記」
1688年9月24日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|貞享5年9月1日|高浜浦町より出火、210軒余りを焼失
1688年10月 00:00|イギリス| ||<死去>第3代ノースク伯「デヴィッド・カーネギー」
1688年10月 00:00|イギリス| ||<就任>第4代ノースク伯「デヴィッド・カーネギー」(~17290114死去)
1688年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ」「ピエトロ・フランチェニ」
1688年10月3日-08:00|インドネシア| ||<死去>アチェ王国 سلطان「イヤット・シャー女王」
1688年10月3日-08:00|インドネシア| ||<即位>アチェ王国 Sultan「カマラット・シャー女王」(~1699. 10)
1688年10月6日 00:00|イギリス| ||<死去>第2代アルバ・マール公「クリストファー・マンク」
1688年10月6日 00:00|イギリス| ||<就任>2代セルカーク伯「チャールズ・ダグラス」先代の息子(~17390313死去)
1688年10月6日 00:00|イギリス| ||<返上>初代セルカーク伯「ウィリアム・ダグラス=ハミルトン」⇒ハミルトン公・クライズデール侯・アラン・ラナーク伯(~16940418死去)
1688年10月6日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サント・ヤゴ副総督代行「フランス・ワトソン卿」(~16900802)
1688年10月16日-09:00|日本|茨城県つくば市|貞享5年9月22日|<改易>常陸北条藩13000石「堀田正英」遺領相続で堀田正俊と争乱、5千石安堵
1688年10月22日-01:00|ドイツ| ||ドイツで対仏マゲブルク協定
1688年10月23日-09:00|日本| ||元禄1年9月30日|「元禄」に改元
1688年10月24日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「(暫定軍事政権大統領)マヌエル・ダ・レスレイカ」(~16901011)
1688年10月25日-09:00|日本|千葉県柏市|元禄1年10月2日|<立藩>下総船戸藩1万石「本多正永」(⇒元禄14(1701)年、5000石加増され15000石)
1688年10月30日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「コンスタンティン・ブランコヴェア」(~17140324没)
1688年11月1日-09:00|日本| ||元禄1年10月9日|道中奉行が各街道の宿駅に病牛馬の保護令を出す
1688年11月13日-09:00|日本|福島県白河市|元禄1年10月21日|<立藩>陸奥白河新田藩2万石「松平忠尚」白河藩より分与(~元禄13(1700)年1月11日、陸奥桑折藩に移封)
1688年11月20日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「カルロス伯ガスパール・デ・ラ・セルダ・サント・バル・シルバ・イ・メンドーサ」(~16960226)
1688年11月23日-09:00|日本| ||元禄1年11月|<刊行>井原西鶴「新可笑記」
1688年11月29日 00:00|イギリス| ||<死去>第2代サント・ウィッチ伯「エドワード・モンタギュー」
1688年11月29日 00:00|イギリス| ||<就任>第3代サント・ウィッチ伯「エドワード・モンタギュー」先代の息子(~17291020死去)
1688年12月-01:00|アルジェリア| ||<就任>アルジェのデイ「ハジ・シャバン・チャバネ」(~1695年7月)
1688年12月1日-01:00|ドイツ| ||<就任>マルク伯「フリートリヒ1世」ブランデンブルク選帝侯フリートリヒ3世(~17130225死去)
1688年12月4日-09:00|日本|千葉県佐倉市|元禄1年11月12日|<立藩>上総佐貫藩12000石「柳沢吉保」1万石加増(⇒元禄3(1690)年3月26日、2万石を加増され32000石)
1688年12月11日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド王国貴族院議長「ロチェスター伯ローレンス・ハイド」(~同日)
1688年12月12日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド王国貴族院議長「ハリファクス侯ジョージ・サギル」(~28日)
1688年12月28日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド王国貴族院議長「オラニエ公ウィリアム・ヘンリー」(~16890223)
1688年12月31日-09:00|日本|福岡県直方市|元禄1年12月9日|<立藩>直方藩5万石「黒田長清」福岡藩より分与(⇒享保5(1720)年2月23日、死去廃藩福岡藩に還付)

1700迄 (2651件)

1688年12月31日-09:00|日本|福岡県福岡市|元禄1年12月9日|<交替>筑前福岡藩473100石「黒田光之」隠居⇒三男「黒田綱政」が継ぐ(弟「長清」に直方藩5万石分与し423100石⇒正徳元(1711)年6月18日、死去)

1689年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Johannes Cops」(~1692年)

1689年-08:00|インドネシア| ||<即位>ティモール・スルタン「Hamza Fahuaddin」(~1705年)

1689年-08:00|インドネシア| ||<即位>テルナテ・スルタン「Said Fatuddin Toloko」(~1714年)

1689年-05:30|インド| ||<就任>アンパリア国統治者(タクル・サーヒブ)「ルプ・シンジ」(~1724年)

1689年-05:30|インド| ||<就任>オカ国ラジャ「ウト・ワット・シン」(~1735年没)

1689年-05:30|インド/デンマーク| ||<就任>デンマーク領東インド 諸島(トランカバル) 司令官「モーリッツ・ハルトマン」(~1690年)

1689年-04:00|ジョージア| ||<就任>ゲリア公「マミ3世デ・イティ」(1回目~1712年)

1689年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「ハサン・パシャ」(~1691年)

1689年-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「ムフシン・ブン・アフマト」(2度目~1690年4月)

1689年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Arnavut Koca Halil Pasha」(~1690年)

1689年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「サロス・アフメド・パシャ」(~16910313、在職中に死去)

1689年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Bozoklu Mustafa Pasha」(~1690年)

1689年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モノモタパ 総司令官「マヌエル・トマス・サントス・ピント」(~1692年)

1689年-01:00|フランス| ||<爵位改名>ポール公⇒モンモランシー公

1689年-01:00|フランス| ||<爵位改名>モンモランシー公「アンリ2世」⇒アンギャン公「アンリ1世」(~17090401死去)

1689年-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベイレリ「ホスナク・イスマイル・パシャ」(~16950203)

1689年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ総督「Francisco Bernardo Varona」(~1692年)

1689年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「フユク・ザファー・パシャ」(~1692年)

1689年-01:00|リビア/トルコ| ||<即位>オスマン帝国フェザーン・スルタン「トリホリタン総督ムハンマド・アル・ムクニ」⇒「テンマーム」⇒「ムハンマド3世」(~1690年)

1689年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||<即位>キバング 王国国王「マヌエル・アフオンソ・アフオン・ザ・スモール」(~1690年)

1689年-01:00|イタリア| ||<即位>トレント司教公「Giuseppe Vittorio Alberti di Enno」(~1695年)

1689年-01:00|リビア/トルコ| ||フェザーンはオスマン帝国に編入(~1690年)

1689年 00:00|イギリス| ||<死去>3代ウィンチルシー伯「ヘニッジ・フィンチ」

1689年 00:00|イギリス| ||<就任>4代ウィンチルシー伯「チャールズ・フィンチ」(~17120816死去)

1689年 00:00|イギリス| ||<就任>第10代アーガイル伯「アーチボルド・キャンベル」(⇒17010623初代アーガイル公・キンタイア=ロンドン侯・キャンベル=コウォール伯~17030925死去)

1689年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>カチー 司令官「ホセ・ビニエロ・ダ・カマラ」(~1690年)

1689年 00:00|イギリス| ||ジョン・ロックが「統治二論」を刊

1689年 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| ||<就任>イレブン・サザンズ 諸島キャプテン「Louis de Pastour de Costebelle」(~1693年)

1689年 04:00|アンティグア・ババゴア/イギリス| ||<就任>アンティグア副総督「トマス・フォルケ」⇒「ウィリアム・ド・ビン」⇒「ローランド・ウィリアムズ」(2回目~1692年)

1689年 04:00|アンギラ/イギリス| ||<就任>イギリス領アンギラ副総督「George Leonard」(~1735年死去)

1689年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| ||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「イクナオ・ペレス=カロ・イ・フェルナンデス・テ・ホセ・イト」(1回目~1698年)

1689年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<再任>イギリス領バリス植民地総督「トマス・シンクレー」(~1692年)

1689年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<再任>コネチカット植民地総督「ロバート・トリート」(2期目~1698年)

1689年 06:00|ホンジュラス/スペイン| ||<就任>コマケア県総督「サンチョ・オルトネス」(~1693年)

1689年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ 州市長兼副司令官「ホセ・デ・アリア・イ・フルート」(~1694年)

1689年 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領ニュー・メキシコ総督「Domingo Gironza Petriz Cruzate」(~1691年)

1689年1月 00:00|イギリス| ||<死去>初代ゲインズバラ伯「エドワード・ノエル」

1689年1月 00:00|イギリス| ||<就任>2代ゲインズバラ伯「リスリー・ハティスト・ノエル」(~16900921死去)

1689年1月2日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1688/12/23|<廃位>イングランド 王「ジェームズ2世」(~17010916死去67歳)ホイッグ党、トリー党らに離反されオランダの総督ウィリアムに追われてイギリスを離れる(名誉革命)

1689年1月16日 00:00|イギリス| ||<死去>3代クレア伯「ギルバート・ホルズ」

1689年1月16日 00:00|イギリス| ||<就任>4代クレア伯「ジョン・ホルズ」3代伯の長男(⇒16940514兼初代ニューカッスル=アボントン公~17110715死去ニューカッスル=アボントン公爵位消滅)

1689年1月21日-09:00|日本|富山県|元禄2年|越中売薬行商始まる

1689年1月21日-08:00|モンゴル| ||ジュンガル国のガルダンが外モンゴルを支配

1689年1月21日-09:00|日本| ||元禄2年1月|<刊行>井原西鶴、絵入り地誌「一目玉鐙」

1689年1月21日-09:00|日本| ||元禄2年1月|<刊行>井原西鶴「本朝櫻陰比事」

1689年2月 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領マルティニーク暫定知事「Claude de Roux de Saint-Laurent」(~3.31死去)

1689年2月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「呂聖齊」(~28日)

1689年2月23日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦2月13日|<即位>イングランド 王「メアリー2世」ジェームズ2世とアン・ハイトの女子(~16941228死去32歳),「ウィリアム3世(オラニエ公ウィレム3世)」ウィレム2世とメアリー・ヘンリエッタ・ステュアートの子(~17020308死去51歳)

1700迄 (2651件)

1689年3月1日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「権大運」(~16940424)
1689年3月5日-09:00|日本|茨城県つくば市|元禄2年閏1月14日|<交替>常陸谷田部藩16200石「細川興隆」隠居⇒長男「細川興栄」が継ぐ(検地で100石見直し16300石⇒享保13(1728)年11月23日隠居)
1689年3月5日-09:00|日本|岡山県高梁市|元禄2年閏1月14日|<交替>備中松山藩48000石「水谷勝宗」隠居⇒長男「水谷勝美」が継ぐ(⇒元禄6年10月6日(16931103)、31歳で死去無嗣断絶)
1689年3月11日-05:30|インド| |||<死去>マラッタ国最高統治者(ラジャ・チャトラパティ)「サンバ・ジー・ボ・ンスレー」(生年1657年)
1689年3月11日-05:30|インド| |||<就任>マラッタ国最高統治者(ラジャ・チャトラパティ)「ラジャラム1世」(~17000303没)
1689年3月12日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督「ヨハン・ファン・シヤルファイゼン」(~16960514)
1689年3月22日 00:00|アイルランド/イギリス| |||ユリウス暦:1689/3/12|<就任>アイルランド卿「ジェームズ2世」(~16900702)
1689年3月22日 00:00|アイルランド/イギリス| |||ユリウス暦:1689/3/12|イギリスを追われた前王ジェームズがアイルランドに上陸
1689年3月22日-09:00|日本|東京都世田谷区|元禄2年2月2日|<改易>武蔵喜多見藩2万石「喜多見重政」家中混乱・勤務懈怠/伊勢桑名に幽閉
1689年3月24日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦3月14日|スコットランド議会在、イングルント王ウィリアム3世とマリ2世をスコットランド王ウィリアム2世と女王として認める
1689年3月31日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<死去>フランス領マルティニーク暫定知事「Claude de Roux de Saint-Laurent」
1689年3月31日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Gabriel Jean Nicolas de Gabaret」(~1711.6)
1689年4月 00:00|イギリス| |||<就任>初代ポートランド伯「ウィリアム・ベントインク」(~17091123死去)
1689年4月 04:00|ガイアナ/オランダ| |||ポメルンをエセキに再統合
1689年4月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マリーランド植民地総督「ジョン・ケート」(~1690年)
1689年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ロリ」「マッテオ・マルテリ」
1689年4月6日 00:00|イギリス| |||<就任>カンバーランド公「ジョージ・オブ・デนมาร์ク」デนมาร์ク国王フレデリク3世の次男、アン女王の王配(~17081028死去)
1689年4月6日 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>セント・ユースティウス島司令官「Joseph d'Honon de Gallifet」(~16900728)
1689年4月6日 04:00|BES諸島/フランス| |||セント・ユースティウス島をフランスが占領(~16900728)
1689年4月8日 00:00|イギリス| |||<死去>イングルント王国国庫財務実行主席弁務官「ペラシス男爵ジョン・ペラシス」
1689年4月8日 00:00|イギリス| |||<就任>イングルント王国国庫財務実行主席弁務官「モンマス伯チャールズ・モータント」(~16900319)Whg
1689年4月9日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マルバウ伯「ジョン・チャーチル」(⇒1702年マルバウ公~17220616死去)
1689年4月9日 00:00|イギリス| |||<就任>初代モンタギュー伯「ラルフ・モンタギュー」(⇒17050414初代モンタギュー公・初代モンザーマ侯~17090309死去)
1689年4月9日 00:00|イギリス| |||<就任>ポルトン公「チャールズ・ボレット」ウインチェスター侯(~16990227死去)
1689年4月10日-09:00|日本|神奈川県三浦市|元禄2年2月21日|三崎奉行職を廃す
1689年4月10日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|元禄2年2月21日|走水奉行職を廃す
1689年4月15日-01:00|フランス/スペイン| |||フランスがスペインに宣戦布告
1689年4月17日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「ガビリエル・デ・クルレアレ」
1689年4月17日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Alfonso de Fuertes Abella」(~16900725)
1689年4月18日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領ニュージャージー総督「ダニエル・コックス」(~1692.3)
1689年4月18日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「サイモン・ブラット・ストリート」(~16920514)
1689年4月19日-01:00|スウェーデン| |||<死去>前スウェーデン王国国王「クリスティーナ」62歳(誕生16261208)
1689年4月19日-09:00|日本|宮城県児湯郡高鍋町|元禄2年2月30日|<交替>日向高鍋藩3万石「秋月種信」隠居⇒次男「秋月種政」が継ぐ(弟・種封に3千石を分知し27000石⇒宝永7(1710)年8月2日隠居)
1689年4月20日 06:00|アメリカ| |||ボストン市民が安全と平和維持の協議会を設立
1689年4月20日-09:00|日本| |||元禄2年3月|<刊行>井原西鶴「新吉原常々草」
1689年4月21日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄2年3月2日|幕府が奥詰衆を創設
1689年4月23日 00:00|イギリス| |||<死去>5代マー伯「チャールズ・アースキン」
1689年4月23日 00:00|イギリス| |||<就任>6代マー伯「ジョン・アースキン」(~17160217私権剥奪)
1689年4月25日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「ミゲル・アントニオ・デ・オルマザ・イ・ボンセ・デ・レオン」(~16910120)
1689年5月-04:00|ロシア| |||ロシアが第2次クリミア遠征
1689年5月7日-01:00|フランス/イギリス/カナダ| |||カナダでイギリスとイロコイ族同盟がフランス人と戦う
1689年5月9日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ジョンバーグ公「フレデリック・ジョンバーグ」(~16900711死去)
1689年5月12日-01:00|オーストリア/オランダ/イギリス| |||オランダとイギリスがアウクスブルグ同盟に加わり、フランスの領土拡大政策に對抗
1689年5月13日-09:00|日本|岐阜県郡上市|元禄2年3月24日|<死去>美濃八幡藩24000石「遠藤常春」⇒長男「遠藤常久」が継ぐ(⇒元禄6(1693)年3月晦日、7歳の幼少で死去無嗣断絶)
1689年5月16日-09:00|日本| |||元禄2年3月27日|<就任>関白「一条冬経」(~元禄3年正月13日)
1689年5月21日-09:00|日本|奈良県宇陀市|元禄2年4月3日|<死去>大和宇陀松山藩28235石「織田長頼」⇒6月6日、長男「織田信武」が継ぐ(⇒元禄7(1694)年10月30日、自殺)

1700迄 (2651件)

1689年5月23日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル司教レグエール・ド・モントセラト・ラフェット」(~16941019)
1689年5月31日 06:00|アメリカ| |||ニューヨークでライターの反乱
1689年5月31日-09:00|日本|奈良県奈良市|元禄2年4月13日|<死去>大和柳生藩1万石「柳生宗在」36歳⇒甥「柳生俊方」が継ぐ(⇒享保15(1730)年4月4日、58歳で死去)
1689年6月 00:00|サント・ペリンシパ/ポルトガル| |||<就任>サント・ペリンシパ植民地総督「Antonio Pereira de Lacerda」(~1693年)
1689年6月27日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|元禄2年5月11日|<立藩>駿河小島藩1万石「松平信孝」(⇒翌年10月17日、死去)
1689年7月2日-09:00|日本|東京都江東区|元禄2年5月16日|伊達家の臣・福井浅右衛門、江戸の三十三間堂で5306本を射て天下一となる
1689年7月17日-09:00|日本|東京都|元禄2年6月|「定形・定数外の屋形船の造船禁止」「辻相撲・踊りを禁止」「芸事をならった女性や歌舞伎役者の武家への出入り禁止」「前髪の若衆の抱え置き禁止」
1689年7月20日-09:00|日本|愛知県豊田市|元禄2年6月4日|<減封廃藩>三河足助藩1万石「本多忠周」奢侈荒淫、3000石減封⇒旗本7000石(後、交代寄合に復し、幕末まで続いた)
1689年7月20日-09:00|日本|神奈川県大和市|元禄2年6月4日|<減封廃藩>相模深見藩1万石「坂本重治」勤務不良、所領7800石収公⇒旗本に降格
1689年7月22日-09:00|日本|岡山県津山市|元禄2年6月6日|<交替>美作宮川藩18700石「関長政」隠居⇒甥「関長治」が継ぐ(⇒元禄10(1697)年8月、備中新見藩18000石へ転封廃藩)
1689年7月25日-01:00|フランス/イギリス| |||フランスがイギリスに戦線布告/イギリスはフ・ファルツ戦争に参加
1689年7月25日 04:00|アンティグア・バグーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カビネ諸島総司令官・総督「クリスティー・コトリン2世」(~16980720没)
1689年7月25日-09:00|日本| |||元禄2年6月9日|幕府が屋形船に対する規制を始め、風俗・遊興に対する制限を強化
1689年7月26日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Antonio Eril Vicentelo y Toledo」(~1697年)
1689年8月12日-01:00|バチカン| |||<死去>第240代ローマ教皇「インノケンティウス11世」78歳(誕生16110516)
1689年8月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Maximilian1世」
1689年8月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Meinrad2世」(~17151020死去)
1689年8月15日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス| |||フランスがセントクリストファー島全体を占領(~16900624)
1689年8月15日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「モンロー・ヴァレアル・デ・ラ・ペガ」(~1705年9月没)
1689年8月17日-09:00|日本|長崎県平戸市|元禄2年7月3日|<交替>肥前平戸藩61700石「松浦鎮信」隠居⇒嫡男「松浦昌」が継ぐ(弟「昌」に平戸新田藩1万石分与し51700石⇒正徳3(1713)年2月11日、隠居)
1689年8月17日-09:00|日本|長崎県平戸市|元禄2年7月3日|<立藩>平戸新田藩1万石「松浦昌」平戸藩より分与(⇒宝永3(1706)年5月7日、隠居)
1689年8月17日-09:00|日本|新潟県長岡市|元禄2年7月3日|<交替>越後与板藩1万石「牧野康道」隠居⇒養子「牧野康重」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年9月12日、信濃小諸藩15000石へ加増移封)
1689年8月31日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「オバルト・デ・ラ・トル」(~16910901)
1689年9月-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Damian de Esplana」(3期目~16940816)
1689年9月6日-01:00|セルビア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍セルビア司令官「ルートヴィヒ・ヴァイルヘルム・マルクグラーフ・フォン・バーデン」(~24日)
1689年9月6日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/オーストリア| |||オーストリアによるボスニア北東部占領(~16910910)
1689年9月6日-09:00|日本|長野県伊那市|元禄2年7月23日|<改易>信濃高遠藩32000石「鳥居忠則」勤務懈怠
1689年9月6日-04:00|ロシア/中国| |||ロシア暦8月27日：清・康熙28年7月24日|ロシアと清の間にネルチンスク条約が結ばれ、アムール川(黒竜江)流域をめぐる紛争が解決
1689年9月12日-04:00|ロシア| |||ロシア暦9月2日|ロシアでピョートル1世が、異母姉の摂政ソフィア・アレクセーヴナ(32)を追放し単独皇帝となる
1689年9月14日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|元禄2年8月|<加増>近江水口藩2万石「加藤明英」+5000石⇒25000石(⇒元禄8(1695)年5月、下野壬生藩25000石に転封)
1689年9月16日-09:00|日本|高知県四万十市|元禄2年8月3日|<改易>土佐中村藩3万石「山内豊明」不敬/宗家に吸収、3千石安堵
1689年9月23日-09:00|日本|石川県七尾市|元禄2年8月10日|<拝領>能登下村藩1万石「鳥居忠英」(⇒元禄8(1695)年5月15日、近江水口藩2万石へ加増移封)
1689年9月24日-01:00|セルビア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍セルビア司令官「ジョヴァンニ・ノルベルト・コンテ・ビッコミニ」(~同年)⇒「フリートリヒ・アンブロス・グラフ・ヴァウターニ」(~16910910)
1689年9月24日-01:00|セルビア/オーストリア| |||ニシュをオーストリアが占領(~16900908)
1689年9月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝ラウエンブルク公「ユリウス・フランツ」
1689年9月30日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ラウエンブルク公「ゲオルク・ヴァイルヘルム」リュネブルク侯(~17050828死去)
1689年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・ロリ」「ガスパール・カルビーニ」
1689年10月5日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・トマス島・セントジョン島総督「Johan Lorensen」(1期目~16920927)
1689年10月6日-01:00|バチカン| |||<就任>第241代ローマ教皇「アレクサンデル8世」(~16910201死去)

1700迄 (2651件)

1689年10月6日-01:00|パチカン| |||<就任>パチカン枢機卿國務長官「ジャン・バティスト・ルベニ」(~16910201)
1689年10月13日-09:00|日本|青森県弘前市|元禄2年9月|<減封>陸奥弘前藩4万7千石「津軽信政」黒石津軽家分家
津軽信俗家が断絶したため1000石減封⇒4万6千石(⇒宝永7(1710)年10月18日、死去)
1689年10月17日 06:00|カナダ/フランス/アメリカ| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「フロンテック伯爵ルイ・ド・ブアド」(~16981128)
1689年10月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラガンサ公ブラジル公・ウイラウ・イソザ・侯・バルネロス伯・オウラム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「ジョアン」ピーター2世国王の次男(~17061209ポルトガル・アルガルヴェ国王ジョアン5世~17500731死去)
1689年10月25日-01:00|北マケドニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍マケドニア司令官「エネア・シルヴィオ・ピッコロミニ」オーストリアがマケドニアを占領(~12.20)
1689年10月30日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「セウエリノ・デ・マンサネダ・トリナス・テ・スマラベ」(~16951002)
1689年11月10日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケプ・ルーリュ・ファズル・ムスタファ・パシャ」(~16910819)
1689年11月24日-02:00|南アフリカ| |||ステルが南アフリカ、ケープタウンで彗星C/1689X1発見
1689年12月6日 00:00|モロッコ| |||ラシュはモロッコに復元
1689年12月11日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島司令官「Henry Habert de Vauboulon」(~16901115)
1689年12月26日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦12月16日|イギリス、議会在「臣民の権利および自由を宣言し、王位継承を定める法律」いわゆる「権利章典」を発布
1690年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「ムフィディン」
1690年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ペンケレン副総督(マドラス総督に従属)「ジェームズ・Sowdon」(~1691年)
1690年-08:00|マレーシア| |||<就任>レバウ統治者(ウンダン・アルカ・レンバウ)「ダトウ・セディ・ラジャ・クル」(~1725年頃)
1690年-08:00|インドネシア| |||<即位>バンテン王国スルタン「ムハマト・ザイナルヒディン」(~1733年)
1690年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・マス・クラタン」(~1704年)
1690年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「サルディン」(~1710年)
1690年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王国第11代国王ラジャ・マス・クラタン(~1707年)
1690年-05:30|インド| |||<就任>ウタラ国ラジャ「ディグヤシムハデヴァ1世」(~1720年没)
1690年-05:30|インド| |||<就任>クルヌール国支配者(サワ)「ダウト・カーン」(~不明)⇒「イブラヒム・カーン」(~1724年)
1690年-05:30|インド| |||<就任>サンバルプール国ラジャ「チャトラサル」(~1725年)
1690年-05:30|インド| |||<就任>チャンパ国ラジャ「ウダイ・シン」(~1720年没)
1690年-05:30|インド| |||<就任>チョタ・ナグプール国支配者(ラジャ)「ラム・シャー」(~1715年)
1690年-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランカバル)司令官「クリスチャン・ボーク」(2度目~1694年)
1690年-05:30|インド| |||<就任>レウ国ラジャ「アニル・シン」(~1700年没)
1690年-05:30|インド/イギリス| |||カルカッタ(コルカタ)がイギリス領東インド社によって設立される
1690年-05:00|パキスタン| |||<就任>バハワルプー国エミール「バハードール・カーン2世」建国(~1702年没)
1690年-04:00|ジョージア| |||<復位>イメリ王「アーチル」(~1691年)
1690年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・モハンマド・タヒル・ワヒデ・カズウニ」(~1699年没)
1690年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「ベジル・カン・ハリル・パシャ」(~1692年)
1690年-03:00|イェメン| |||<即位>カシーリー国スルタン「Badr ibn Dscha'far al-Kathir」(~1707年)
1690年-03:00|ジブチ| |||<即位>ラハイト・スルタン「アタ・ロム・アハマト」
1690年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Abdioglu Mehmed Pasha」(~1691年)
1690年-01:00|スペイン| |||<就任>第8代アルバ公「アントニオ・アルバレス・デ・トレド・イ・フェルナデス・デ・リベラ」(~1701年)先代の子
1690年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Christian Everhard」(~17080630死去)
1690年-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>フランス領ルクセンブルク総督「ハーケル公アンリ」(~1697年)
1690年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザーン・スルタン「トリホリタン総督アリ・アル・ムニ」⇒「ムハンマド2世アンナサル」(2回目~1709年)
1690年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>キバング王国国王「アルバロ10世」(~1695年12月没)
1690年-01:00|フランス| |||<即位>ジヨウヌス公「Charles Francois de Lorraine」(~1693年)
1690年-01:00|フランス| |||タバコの浸出液から、農薬が開発される
1690年-01:00|フランス/インド| |||フランスがシャンデルゴールに商館を建設
1690年 00:00|コートジボワール/ブルキナファソ| |||<建国>コートジボワール北東部を中心とし、現在のブルキナファソの大部分を含むワタラ帝国としても知られるコン帝国
1690年 00:00|イギリス| |||<死去>3代ギョウエイ伯「アレクサンダー・ステュアート」
1690年 00:00|マン島/イギリス| |||<死去>マン島知事「Robert Heywood」
1690年 00:00|イギリス| |||<就任>4代ギョウエイ伯「アレクサンダー・ステュアート」(~9.26死去)
1690年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Joshua Johnson大佐」(~1693年暗殺される)
1690年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「トミンゴス・モンテロ・デ・カルヴァリョ」(~1691年)
1690年 00:00|セガール/フランス| |||<就任>ギニア会社事務局長「ルイ・モロー・ド・シャンボンノー」(2度目~16930101)
1690年 00:00|セガール| |||<就任>サアジ統治者(ファンカマ)「アマト・ウ・アワ・ジャロ」
1690年 00:00|イギリス| |||イギリスの思想家ジョン・ロックがロンドンで「統治二論」を刊行
1690年 00:00|イギリス| |||イギリスのペティが「政治算術」を著す(統計学のオゾン)
1690年 00:00|イギリス/フォークランド| |||イギリス人ジョン・ストロング船長、フォークランド諸島に上陸し英国領を宣言/東西のフォークランド島の間の海峡をフォークランド海峡と名づける

1700迄 (2651件)

1690年 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<死去>イレブ・サザンズ 諸島副王「chevalier de Rionville」
1690年 03:00|ブラジル| |||タバテを出発したバンデira, ミナスのカカアースで金鉱を発見
1690年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<死去>カ 島副司令官「Engel van Beverhoudt」
1690年 04:00|ケレタ/フランス| |||<就任>ケレタ 総督「ルイ・アンヌ・ド・ジエマック」(~1695年没)
1690年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>カ 島副司令官「Lucas Schorer」(1期目~1696年)
1690年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ホ 島副司令官「Jan Burggraeff」(1期目~1695年)
1690年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ミハエル・ペドロ・デ・ゲスマン・ダ・パロス」(~1695年)
1690年 05:00|ジャマイカ| |||ジャマイカのクレセントン県チャペルトンで黒人奴隷の反乱が発生. 首謀者は処刑されるが, 残党は山に逃げ込む
1690年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「セス・ソーゼル」(~1692年)
1690年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「トマス・ロイド」(~1693年)
1690年-04:00|ロシア| |||<即位>カラムイク・ハン国ハン「アユカ・カン」建国(~17240301没)
1690年1月2日-09:00|日本|東京都墨田区|元禄2年11月22日|幕府天文方安井(渋川) 春海, 江戸本所に天文台設立
1690年1月4日 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<死去>フランス領サン・バルテルミー島司令官「Henri Charles de Vaultier」
1690年1月4日 04:00|サン・バルテルミー/イギリス| |||<就任>イギリス領セント・バーソロミュー島司令官「Timothy Thornhill」卿(~26日)
1690年1月4日 04:00|サン・バルテルミー/イギリス| |||イギリスがセント・バーソロミュー島占領, フランスの入植者を強制送還(~26日)
1690年1月23日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「ヨーゼフ1世」レオポルト1世の息子(⇒17050505皇帝~17110417)
1690年1月29日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールト=コースト総裁「ジョエル・スミス」(~16940325)
1690年1月31日-09:00|日本|京都府綾部市|元禄2年12月21日|<死去>丹波山家藩1万石「谷衛広」46歳⇒次男「谷衛憑」が継ぐ(⇒享保2(1717)年10月22日、隠居)
1690年2月9日-07:00|ベトナム| |||ユリウス暦:1690/2|ベトナムの阮氏がメコン川の左岸地帯を併合
1690年2月9日-09:00|日本| ||元禄3年1月|<刊行>遠近道印と斐川師宜の合作「東海道分間絵図」
1690年2月21日-09:00|日本|京都府京都市|元禄3年1月13日|<就任>関白「近衛基熙」(~元禄16年正月14日)
1690年2月22日-01:00|フランス| |||<死去>シャルル・ルヴラン, フランスの画家(70歳, 1619年2月24日生)
1690年2月28日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「デ・イコ・ラミス・スクイブル」(~9. 16没)
1690年3月11日-09:00|日本| ||元禄3年2月1日|町人の家紋に鶴禁止令
1690年3月16日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Roger Kenyon」(~1692年)
1690年3月17日-09:00|日本|東京都文京区|元禄3年2月7日|孔子を祭る湯島聖堂(昌平坂学問所)が完成
1690年3月19日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国庫財務実行主席弁務官「ジョン・ラザー」(~11. 15) Whg
1690年3月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューイングランド 自治領総督「サイモン・ブラッドストリート」(~1692年)
1690年4月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフムフシ2世・イブン・フェイシ(~1691年10月)
1690年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョアン・アントニオ・ベルツィ」「メルキオール・ハンマース」
1690年4月1日 00:00|イギリス| |||<死去>2代アングルシー伯「ジェームズ・アンスリー」
1690年4月1日 00:00|イギリス| |||<就任>3代アングルシー伯「ジェームズ・アンスリー」先代の息子(~17020121死去)
1690年4月15日-02:00|ルーマニア| |||<死去>トランシルヴァニア大公「ミハエル・アパフィ・アパナジ・ファルヴァイ」
1690年4月15日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「ミハエル2世アパフィ・アパナジ・ファルヴァイ」(~16960601)
1690年4月15日 00:00|イギリス| |||<就任>初代スカパー伯「リチャード・ラムリー」(~17211217死去)
1690年4月18日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「シャルル5世(4世)」兼カラブリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「カルロ」
1690年4月18日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「レオポルト1世(レオポルト・ヨーゼフ)」兼カラブリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「レオポルト」(~17290327死去)
1690年4月24日-07:00|日本|石川県金沢市|元禄3年3月16日|<金沢元禄3年の連日の大火>丑の刻(午前2時ごろ)、犀川堅町の徒士(下級武士)の家から出火し辰の下刻(午前9時ごろ)には鎮火/この火災で900軒余りが焼けた
1690年4月25日 01:00|日本|石川県金沢市|元禄3年3月17日|<金沢元禄3年の連日の大火>巳の刻(午前10時ごろ)、今度は別の場所の左近橋之西にある医師宅から出火し北の町端まで延焼、申の刻(午後4時ごろ)には鎮火/確認できた死者6人のほかでできなかった死者が多くあった/焼失した家屋や寺社が合計6639軒に達した/内訳は侍屋敷411軒、下級武士の家951軒、町家4809軒、社家や門前の家106軒、百姓家291軒、寺院68、神社3. そのほか橋が56か所、城門1か所と続く堀が58間(105m)、土蔵3棟などが焼失
1690年5月1日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国秘密評議会議長「キルステン・ローグ・エティル・ローグ」伯爵ウルリッヒ・フリードリヒ(~16990825)
1690年5月4日-09:00|日本|千葉県富津市|元禄3年3月26日|<加増>上総佐貫藩12000石「柳沢吉保」+2万石⇒32000石(⇒元禄5(1692)年11月14日、3万石を加増され62000石)
1690年5月5日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Gaspar de Arredondo y Valle」(1期目~1692年)
1690年5月12日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「James Kendall」(~1694年)
1690年5月16日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ダントナルト 伯「ジョン・コラン」
1690年5月16日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ダントナルト 伯「ウィリアム・コラン」先代の息子(~17051122死去)
1690年5月27日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョヴァンニ・レガレツィ, イタリアの作曲家・オルガニスト(生年1626年)
1690年5月29日-05:30|インド/フランス| |||シャンデルゴールをフランスが所有
1690年6月4日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|元禄3年4月27日|<交替>相模玉縄藩2万石「松平正信」隠居⇒次男「松平正久」が嗣ぐ(⇒元禄16(1703)年2月10日、上総大多喜藩2万石に転封廃藩)

1700迄 (2651件)

1690年6月8日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア対立大公「イル・ト・コリ伯爵ケスマルカイ」(~10. 25)
1690年6月13日-09:00|日本| ||元禄3年5月7日|<死去>本因坊道的、囲碁棋士(生年1669年)
1690年6月19日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「キャト・ワダラー・ジョンズ」(~1694年4月)
1690年6月23日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ミゲル・デ・アルメイダ」(~16910109没)
1690年6月27日-09:00|日本|山口県周南市|元禄3年5月21日|<死去>周防徳山藩45000石「毛利元賢」⇒兄「毛利元次」が継ぐ(⇒正徳6(1716)年4月13日、改易)
1690年6月30日 00:00|イギリス| |||<就任>初代リンスター公「メナート・ジョンバーグ」(⇒16931017兼ジョンバーグ 公~17190716死去断絶)
1690年7月4日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サラメント新植民地ポルトガル総督「Francisco Napier de Lencastre」(~1699年)
1690年7月5日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|元禄3年5月29日|<交替>日向国佐土原藩3万石「島津久寿」隠居⇒養子「島津惟久」が継ぐ(「久寿」に3000石分与し27000石⇒享保8年5月29日(17230701)、隠居)
1690年7月9日-09:00|日本|熊本県宇土市|元禄3年6月4日|<死去>肥後宇土藩3万石「細川行孝」54歳⇒8月1日、三男「細川有孝」が継ぐ(⇒元禄16(1703)年9月6日、隠居)
1690年7月10日-09:00|日本| ||元禄3年6月5日|幕府が餌刺し・鳥刺し・獵師以外に鳥もちを売ることを禁じる
1690年7月10日-01:00|フランス/イギリス| ||ユリウス暦6月30日|トーヴァー海峡のピーチ岬の戦いで、フランス艦隊がイギリス・オランダ連合艦隊を破る
1690年7月11日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ジョンバーグ 公「フレデリック・ジョンバーグ」
1690年7月11日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ジョンバーグ 公「チャールズ・ジョンバーグ」初代公爵の次男(~16931017死去)
1690年7月11日-01:00|フランス/アイルランド/イギリス| ||ユリウス暦7月1日|イギリス国王ウィリアム3世の軍が、ホーン湖畔の戦いで、前国王ジェームズ2世のアイルランド・フランス連合軍を破る
1690年7月16日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||イギリスがセントクリストファー島全体を占領(~16990113)
1690年7月21日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「グレゴリオ・カラファ」
1690年7月22日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「カルロ・カラファ・ダ・ラコナ」(~24日)
1690年7月22日-01:00|フランス/アイルランド/イギリス| ||ユリウス暦:1690/7/12|オーケリムの戦いで英軍がアイルランド・フランス連合軍を破る
1690年7月22日-09:00|日本|愛知県豊橋市|元禄3年6月17日|<死去>三河吉田藩4万石「小笠原長祐」⇒10月10日、弟「小笠原長重」が継ぐ(⇒元禄10(1697)年4月19日、武蔵岩槻藩5万石に加増転封)
1690年7月24日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「アドリアント・ウィグナール」(~16970204没)
1690年7月25日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ファウスト・クルサット」(~17011208)
1690年7月26日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国秘密評議会議長代行「ジュエリング 男爵イェンス・ジュエル・ティル・フォールスレヴ・ゴール」(~12. 31)
1690年7月28日 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユースティウス島知事「Sir Timothy Thornhill」(~1693年死去)
1690年7月28日 04:00|BES諸島/イギリス| |||セント・ユースティウス島をイギリスが占領(~1696. 4)
1690年8月2日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領ジャマイカ 総督「インチキン伯爵ウィリアム・オブ・ライオン」(~16920116没)
1690年8月5日-09:00|日本| ||元禄3年7月|<刊行>蒔絵師源三郎の絵入り諸職百科誌「人倫訓蒙図彙」
1690年8月13日 01:00|日本|東京都文京区|元禄3年7月9日|上野忍ヶ岡の林羅山の孔子廟を五代将軍・徳川綱吉が湯島に移させる
1690年8月26日-09:00|日本|東京都中央区|元禄3年7月22日|<死去>初代河原崎権之助(河原崎座座主兼役者)
1690年9月1日-01:00|スペイン| |||<死去>アンブリアス伯「Pere4世」
1690年9月1日-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Caterina」(~1697年)
1690年9月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「判事:シドニー子爵ヘンリー・シドニー/トマス・コンングスビー」(~1692年)/チャールズ・ボーター卿(1回目、16901224~)」(~16920904)
1690年9月8日-01:00|イタリア/トルコ| |||ベネチア艦隊司令ダニエレ・ド・ルフインとバルトロメオ・コンタリニ、数に優勢なトルコ艦隊をメンテノ運河で破る
1690年9月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ=ノイブルク公・プファルツ選帝侯「フィリップ・ヴァイルヘルム」
1690年9月12日-01:00|ドイツ| |||<即位>プファルツ=ノイブルク公・プファルツ選帝侯「ヨハン・ヴァイルヘルム」(~17160608死去)
1690年9月16日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「商工会議所上院+マヌエル・デ・ルガルテ・コスタ」(~1692年5月)
1690年9月18日-01:00|アルバニア/イタリア| |||グアローナをヴェネチアが占領(~16910306)
1690年9月21日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ゲインズバラ伯「リスリー・バティスト・ノエル」
1690年9月21日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ゲインズバラ伯「バティスト・ノエル」(~17140417死去)
1690年9月25日 06:00|アメリカ| |||ボストンで、ベンジャミン・ハリスがアメリカ初の新聞「パブリック・オピニオン」を発行するが、翌日イギリス国王の許可を得ていないとして発行を停止させられる
1690年9月26日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ギョウエイ伯「アレクサンダー・ステュアート」
1690年9月26日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ギョウエイ伯「ジェームズ・ステュアート」(~17460216死去)
1690年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オットー・オ・レオナルド・ツリ」「ロレンツォ・ジャンギ」
1690年10月2日-05:30|インド| |||<就任>ナワガル国統治者(ジャム・サハブ)「ラクハジ2世タチ」(~17081013没)
1690年10月3日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領東ニュージャージー 総督「ロバート・バークレイ」
1690年10月6日-09:00|日本|佐賀県唐津市|元禄3年9月5日|<死去>肥前唐津藩7万石「松平乗春」⇒11月10日、長男「松平乗邑」が継ぐ(⇒翌年2月9日、志摩鳥羽藩6万石に転封)
1690年10月8日-01:00|ハンガリー/セルビア| |||オスマン朝軍の大反攻で大量のセルビア人がハンガリーへ移住

1700迄 (2651件)

1690年10月9日 00:00|イギリス| |||<死去>初代グレートブリテン公・初代ユーストン伯「ヘンリー・フィッツロイ」
1690年10月9日 00:00|イギリス| |||<就任>2代グレートブリテン公「チャールズ・フィッツロイ」(⇒17230207兼3代アール・オブ・リンカン伯~17570506死去)
1690年10月11日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アントニオ・ルイス・ゴンサルベス・マラ・コウチーニョ」(~16940522)
1690年10月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マデラ総督「Rodrigo da Costa」(~16940722)
1690年10月30日-09:00|日本| ||元禄3年9月29日|幕府が朝鮮人参の売買規則を出す
1690年11月14日-09:00|日本|茨城県水戸市|元禄3年10月14日|<交替>常陸水戸藩28万石「徳川光圀」隠居⇒甥「徳川綱條」が継ぐ(元禄14(1701)年5月25日、35万石へ高直し)
1690年11月15日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国国庫財務実行主席弁務官「リアルトンのゴッドルフイン男爵」トニー・コト・ルフイン(2期目~16970501) Tor
1690年11月16日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島司令官「Michel Firelin」(~16930811)
1690年11月17日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|元禄3年10月17日|<死去>駿河小島藩1万石「松平信孝」⇒甥「松平信治」が継ぐ(⇒享保9(1724)年3月29日、52歳で死去)
1690年11月18日-09:00|日本|東京都|元禄3年10月18日|<死去>嵐三右衛門/56才(座主兼役者)
1690年11月26日-09:00|日本| ||元禄3年10月26日|幕府が捨て子を禁じる
1690年12月1日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<死去>イギリス領セントヘレナ総督「ジョン・ブラッケマ」
1690年12月1日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ジョシュア・ジョンソン」(~16930422死去)
1690年12月8日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ヨナス・トリスキス」(16910507まで代行~16950429)
1690年12月23日-09:00|日本| ||元禄3年11月23日|残寿「死霊解脱物語聞書」出版
1690年12月27日-09:00|日本|大阪府富田林市|元禄3年11月27日|<死去>富田林藩33000石「内藤重頼」63歳⇒甥「内藤清枚」が継ぐ(⇒翌年2月9日、信濃高遠藩33000石へ移封)
1691年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Nicolaas Schaghen」(~1696年死去)
1691年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ペンタゴン副総督(マダガスカル総督に従属)「ジェームズ・ Fleetwood」(~1695年)
1691年-08:00|インドネシア| |||<即位>ランバンゴン君主「Pangeran Pati」(~同年)⇒「Mancanagara and Sasranegara」(~1692年)
1691年-05:30|インド| |||<就任>アヴダク国統治者「ヘッダ・クマラ・ラガヴァ」(~1735年)
1691年-05:30|インド| |||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・アリ2世」(~1704年)
1691年-05:30|インド| |||<就任>カナヌール国統治者「アリ・ラジャ」アリ2世アディ(~1704年)
1691年-05:30|インド| |||<就任>ダンガルプール国統治者(マハラジャ)「クマン・シン」(~1700年没)
1691年-05:30|インド| |||<就任>パトラク国ラジャ「アバヤ・パール」(~1707年没)
1691年-05:30|インド| |||<就任>ヒンドル国ラジャ「アチュタ・シン・ナレンドラ」(~1701年)
1691年-05:00|モルデイグ| |||<死去>クテ・ム朝スルタン「Kuda Muhammad Maniranna Loka」殺害される
1691年-05:00|モルデイグ| |||<即位>クテ・ム朝スルタン「Muhammad Mohyeddine Naakiree Sundhura」(~1692年)
1691年-05:00|パキスタン| |||<即位>カトケル朝国王「Muhammad Ghulam」
1691年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメレティ王「アレクサンドル4世」(~1695年)
1691年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「アフマト・ハシヤ・ハシラカン・ハシヤ」(~1692年)
1691年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ワリス(総督)「Topal Huseyin Pasha」(~同年)
1691年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gurju Mehmed Pasha III」(~1692年)
1691年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「サティ3世ギレイ」(~同年)⇒「サファ・ギレイ」(~1692年)
1691年-02:00|リトアニア/ドイツ| |||タウロゲンとゼー・領はプロシヤに割譲(~17930929)
1691年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「マヌエル・アフォンソ・ジ・ンガ・ア・ソルンケ」(~16920923没)
1691年 00:00|イギリス| |||<就任>5代アバゴン伯「チャールズ・ハミルトン」先代の弟(~1701.6死去)
1691年 00:00|イギリス| |||<就任>初代リンスター公「メイナード・ジョン・バーグ」初代ジョン・バーグ公の長男(⇒16931017兼3代ジョン・バーグ公~17190716死去)
1691年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチウ司令官「サントス・デ・ウイゲイナル・カスターニョ」(1回目~16920107)
1691年 00:00|カナダ/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルグ・ゴールド・コースト司令官「ヤン・テン・フーフ」(~1693年)
1691年 00:00|モリタニア/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク領アルギン総督「ラング・レヒト・デ・オン」(~1694年)
1691年 00:00|カナダ/イギリス| |||イギリスがメタル・クロス砦をデイクスコフに設立
1691年 05:00|ハイチ| |||エスパニョーラ島全域にわたり、71年に続く大規模な黒人反乱発生
1691年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「ヒミリア・ブラストン」(~1692年)
1691年1月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Pierre Eleonore de La Ville」(3期目~1700.1)
1691年1月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督代行「ジャン・ジャック・デュマ」(~1691年10月)
1691年1月4日-09:00|日本| ||元禄3年12月6日|元美濃郡上藩士高尾権太夫、「仕官の口を世話する」と口先ばかりの鈴木七兵衛(松平和泉守家来)を恨み、鈴木と家来6人を斬り殺し、自分も斬死
1691年1月5日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト長官「ヨルゲン・マイヤー」(~1692年7月)
1691年1月7日-09:00|日本|京都府京都市|元禄3年12月9日|<京都元禄3年の大火>禁裡の西側に、東西に走る下立売通と南北に走る新町通が交差している個所あたりから出火、南北二丁、東へ六丁余り焼失/一千余戸が焼失
1691年1月9日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「統治委員会(フェルナンド・マルティネス・マスカレニャス・デ・ラ・ソカストル/フレイ・アゴスティーニョ・デ・アヌンシオン(1回目)/ルイス・ゴンサルベス・コッタ(同年没)」(~16930528)
1691年1月11日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「アイザック・リシェル」(~16930810)

1700迄 (2651件)

1691年1月14日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョージ・フォックス、イギリス出身のクエーカーの創始者(生年1624年)
1691年1月20日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「マテオ・デ・ラ・マタ・イ・ホンセ・デ・レオン」(~1703年8月)
1691年1月23日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ドミンゴ・テラン・デ・ロス・リオス」(~16920305)
1691年1月23日-09:00|日本|千葉県鴨川市|元禄3年12月25日|<交替>安房東条藩1万石「西郷延員」隠居⇒養子「西郷寿員(重員)」が継ぐ(⇒元禄5(1692)年2月7日、下野上田藩1万石に移封)
1691年1月24日-09:00|日本|京都府京都市|元禄3年12月26日|<就任>京都所司代「松平信興」(⇒1691(元禄4年閏8月12日))
1691年1月29日-09:00|日本|茨城県常陸大宮市|元禄4年|<創建>陰陽神社
1691年1月29日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|元禄4年|<交替>伊予吉田藩3万石「伊達宗純」隠居⇒次男「伊達宗保」が継ぐ(⇒元禄6年10月2日(16931030)死去)
1691年1月29日-09:00|日本|栃木県日光市|元禄4年|滝の湯発見(⇒鬼怒川温泉)
1691年1月29日-09:00|日本| ||元禄4年1月|<刊行>井原西鶴「枕久二世物語」
1691年1月29日-09:00|日本|京都府京都市|元禄4年1月1日|<死去>仮名草子作者・浅井了意(80)
1691年2月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Francois Alexandre d'Alesso」(~7月死去)
1691年2月1日-01:00|パチカン| |||<死去>第241代ローマ教皇「アレクサンデル8世」[1610年04月22日生~](享年80)
1691年2月1日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「フェルナント・ロペス・デ・ウルシ・イ・オルバネ」(~16931123)
1691年2月7日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和12年1月10日|<死去>広南国主「義主・阮福刈」
1691年2月7日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和12年1月10日|<即位>広南国主「明主」(~17250601死去)
1691年2月8日-09:00|日本| ||元禄4年1月11日|<加増>出羽上山藩2万5000石「土岐頼殷」大坂城代に転じて1万石⇒3万5000石
1691年2月11日-09:00|日本|大阪府大阪市|元禄4年1月14日|<就任>大坂城代「土岐頼殷」(⇒正徳2(1712)年5月15日)
1691年2月22日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「デ・イエゴ・デ・バルガス」(~実質16920914~1697年)
1691年3月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「Sa'adet2世 Geray」(~1692.1)
1691年3月1日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督「サミュエル・アレン」(~16990731)
1691年3月2日-09:00|日本|山梨県都留市|元禄4年2月3日|<加増>甲斐谷村藩18000石「秋元喬朝」+下野都賀郡内5000石⇒23000石(⇒元禄7(1694)年12月10日、河内八上郡内7000石加増し3万石)
1691年3月3日-01:00|イタリヤ| |||ベネチア、ヴェネチアとイオニアを放棄
1691年3月6日-09:00|日本|東京都文京区|元禄4年2月7日|湯島聖堂の昌平坂学問所が完成(上野忍ヶ岡の林家の聖堂を湯島台に移築)
1691年3月8日-09:00|日本|佐賀県唐津市|元禄4年2月9日|<移封>志摩鳥羽藩7万石「土井利益」⇒肥前唐津藩7万石(⇒正徳3(1713)年閏5月25日、死去)
1691年3月8日-09:00|日本|長野県伊那市|元禄4年2月9日|<移封>富田林藩33000石「内藤清枚」⇒信濃高遠藩33000石(⇒正徳4(1714)年4月16日、死去)
1691年3月8日-09:00|日本|三重県鳥羽市|元禄4年2月9日|<移封>肥前唐津藩7万石「松平乗邑」⇒志摩鳥羽藩6万石(⇒宝永7(1710)年1月26日、伊勢国亀山藩6万石に移封)
1691年3月9日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄4年2月10日|江戸麹町から出火/数町延焼
1691年3月13日-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「サロス・アフメド・パシャ」
1691年3月13日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハジ・ネッサー・モラル・アリ・パシャ」(~1695年)
1691年3月14日-09:00|日本|千葉県いすみ市|元禄4年2月15日|<死去>上総八幡藩1万石「堀直良」⇒長男「堀直宥」が継ぐ(⇒元禄11(1698)年3月11日、越後椎谷藩に移封、廃藩)
1691年3月27日-09:00|日本| ||元禄4年2月28日|生類令追加「場末の瘦犬の飼育」「闘犬発見のときは水をかけて引き分ける」
1691年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アルフォンソ・トシーニ」「バルタザッサーレ・ティニ」
1691年4月2日-09:00|日本|広島県広島市|元禄4年3月4日|長雨、洪水のため広島領、全壊家屋161軒
1691年4月6日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アグスティン・デ・ロペス・イ・ロレンザナ」(~17000205)
1691年4月21日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク伯「ジョージ・ハワード」
1691年4月21日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯「ヘンリー・ハワード」(~17091210死去)
1691年4月23日-01:00|フランス| |||<死去>ジャン=アンリ・ダンゲルベール、フランスのバロック音楽の作曲家、宮廷チェンバロ奏者(生年1629年)
1691年5月1日-04:00|モリスシャス/フランス| |||<就任>ドミニカ島総督「フランソワ・レガート・ド・ラ・フージェール」(~16930521)
1691年5月10日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グранаダ大統領・総督・総司令官代行「フランシスコ・セルモロ・デ・ラ・フエンテ」(~16940210)
1691年5月23日-01:00|フランス| |||<死去>アドリアン・オズー、フランスの天文学者(生年1622年)1666年にジャン・ピカルとともに天体の位置を測定するために2本の髪の毛を用いて糸線マイクロメーターを開発
1691年5月25日-09:00|日本| ||元禄4年4月28日|幕府が日蓮宗悲田派(不受不施派)を禁じ、安房小湊誕生寺、碑文谷法華寺などを天台宗支配とする
1691年5月28日-08:00|中国/モンゴル| ||清・康熙30年5月|清の康熙帝がトロンノールで諸部の会盟を主催し、ハルハ部を服属

1700迄 (2651件)

1691年6月23日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第20代スルタン「スレイマン2世」(生年1642年)
1691年6月27日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第21代スルタン「アフメド2世」先代の弟、18代イブラヒムの子(〜16950206死去)
1691年6月27日 00:00|イギリス/アメリカ| |||米国マサチューセッツが王領となる
1691年7月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<死去>フランス領アンティル総督「Francois Alexandre d'Alesso」
1691年7月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督代理「Charles de Pechpeyrou-Comminges」(〜11月)
1691年7月12日-01:00|バチカン| |||<就任>第242代ローマ教皇「インノケンティウス12世」(〜17000927死去)
1691年7月14日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿国務長官「ファブリス・スパーダ」(〜17000927)
1691年7月17日-09:00|日本|長崎県五島市|元禄4年6月22日|<死去>肥前福江藩12530石「五島盛暢」⇒長男「五島盛佳」が継ぐ(⇒享保13(1728)年8月11日隠居)
1691年7月22日-01:00|フランス/アイルランド/イギリス| ||ユリウス暦7月12日|ウィリアム3世のイギリス軍が、オランダの戦いでアイルランド・フランス連合軍を破る
1691年7月27日-09:00|日本| ||元禄4年7月3日|<刊行>向井去来・宮城凡兆編の句集「猿蓑」(俳諧七部集の1つ)
1691年7月27日-09:00|日本| ||元禄4年7月3日|日蓮宗悲田派の僧、伊豆に流される
1691年8月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝ゴータ＝アルテンブルク公「フリードリヒ1世」
1691年8月2日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ゴータ＝アルテンブルク公「フリードリヒ2世」(〜17320323死去)
1691年8月8日-09:00|日本|山梨県甲州市|元禄4年7月15日|<死去>甲斐徳美藩1万石「伊丹勝政」⇒長男「伊丹勝守」が継ぐ(⇒元禄11(1698)年9月15日、発狂自殺/所領収公改易)
1691年8月14日-09:00|日本|広島県広島市|元禄4年7月21日|(10日、18日)暴風雨・洪水、広島領の流失全壊家屋2645軒、死者16人
1691年8月19日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国大宰相「キョプリュリュ・ムスタファ・パシャ」(生年1637年)
1691年8月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>アーレンベルク公「フィリップ・カール・フランツ」
1691年8月19日-01:00|ドイツ| |||<即位>アーレンベルク公「レオポルト・フィリップ」(〜17540304死去)
1691年8月19日-01:00|ドイツ/ハンガリー/トルコ| |||ハンガリーのスラカマンの戦いで、バーテン公ルクヴィエ率いる神聖ローマ帝国軍が、オスマン軍を破る
1691年8月19日-09:00|日本| ||元禄4年7月26日|<移封>美濃高須「小笠原貞信」⇒越前勝山22777石/以後信辰、信成、信胤、信房、長教、長貴、長守と続く(〜明治4年)
1691年8月19日-09:00|日本|福井県勝山市|元禄4年7月26日|<移封>美濃高須藩22777石「小笠原貞信」⇒越前勝山藩22000石(⇒元禄15(1702)年7月18日、隠居)
1691年8月24日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「アラバチュ・アリ・パシャ」(〜16920321)
1691年8月24日-09:00|日本| ||元禄4年8月17日|六郷川の橋をやめて「渡船場」とする/船賃は1人3文、荷物1駄2文、垂懸荷も同じ
1691年9月4日-01:00|イタリア| |||<就任>シエナ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・バチスタ・カッタネ」(〜16930905)
1691年9月9日-09:00|日本|茨城県古河市|元禄4年8月17日|<死去>熊沢蕃山(73歳、元和5(1619)生)陽明学者
1691年9月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「ヨハン・ゲオルク3世」
1691年9月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「ヨハン・ゲオルク4世」(〜16940427死去)
1691年9月14日-09:00|日本|東京都文京区|元禄4年8月22日|幕府僧覚彦に湯島の地を給し靈雲寺を建立せしむ
1691年9月18日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント伯「チャールズ・フェイン」
1691年9月18日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント伯「ウィリアム・フェイン」先代の弟(〜16931229死去)
1691年9月22日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン選帝侯「ヴェッティン家アルブレヒト系」ヨハン・ゲオルク4世(〜16940427)
1691年9月22日-09:00|日本|住友別子鉱山|元禄4年閏8月1日|住友、別子銅山の稼行開始(愛媛県)
1691年9月24日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Willem van Outhoorn」(〜17040815)
1691年10月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「サイード2世・イブン・サード」(1回目〜1694年10月)
1691年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロドヴィコ・マネンティ・ベルツツィ」(マリノ・ベニ)
1691年10月1日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督「ジャン＝バティスト・デュカス」(1回目〜1697年3月)
1691年10月3日-09:00|日本|大阪府|元禄4年閏8月12日|<死去>摂津・河内国内32000石「松平信興」⇒養子「松平輝貞」が継ぐ(⇒元禄5(1692)年2月23日、壬生藩に移封)
1691年10月17日 00:00|イギリス/アメリカ| |||マサチューセッツがイギリス王領となる
1691年10月17日-09:00|日本|京都府京都市|元禄4年閏8月26日|<就任>京都所司代「小笠原長重」(⇒1697(元禄10年04月19日))
1691年11月-01:00|モントネグロ/トルコ| |||オスマン帝国がツェティニエを占領(〜1702年)
1691年11月1日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「コンサダ・コスタ・デ・アルカソバ・カルネイロ・デ・メネズ」(〜16941103)
1691年11月14日-09:00|日本|京都府京都市|元禄4年9月25日|<死去>土佐光起、絵師(生年1617年)大和絵の最大流派
1691年11月15日-01:00|オランダ| ||ユリウス暦12月20日|<死去>アルベルト・カイフ、オランダ人画家(生年1620年)
1691年11月24日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Charles de La Roche-Courbon」(3期目〜1696年)
1691年12月11日-09:00|日本|宮崎県延岡市|元禄4年10月22日|<改易>日向延岡藩5万石「有馬清純」領内混乱
1691年12月13日-09:00|日本| ||元禄4年10月24日|生類(蛇・犬・猫・鼠など)に芸を仕付けて見世物にすることを禁止(生類憐みの令)
1691年12月14日-01:00|オーストリア/ルーマニア| |||レオポルト文書によりトランシルバニアがオーストリア皇帝に服属

1700迄 (2651件)

1691年12月23日-09:00|日本|京都府京都市|元禄4年11月4日|<死去>医師・儒学者黒川道祐
1691年12月30日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦12月20日|<死去>ロバート・ボイル、アイルランド出身のイギリスの貴族、物理学者 (64歳、16270125生)ボイルの法則を発見した
1691年12月31日-09:00|日本|京都府京都市|元禄4年11月12日|<死去>京都・京都の豪商灰屋紹益 (82)
1692年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Cornelis van der Duin」(~1696年)
1692年-08:00|インドネシア| ||<即位>ブランバンガン君主「Mancanapura (Dalem Agung)」(~1697年)
1692年-07:00|カンボジア/ベトナム| ||チャム人が阮氏の支配を逃れベトナムからカンボジアへ逃亡
1692年-05:30|インド| ||<就任>アッカト国支配者「スルフィカル・カーン・ヌラト・ユング」建国 (~1703年)
1692年-05:30|インド| ||<就任>ヒラフル国ラジャ「アジメール・チャンド」 (~1741年没)
1692年-05:30|インド| ||<就任>ランプル国ラジャ「ラマチャンドラ・ナレンドラ」 (~1727年)
1692年-05:30|インド| ||<即位>カルナータカ太守「スルフィカル・カーン」 (~1703年退位)
1692年-05:00|モルデイヴ| ||<即位>デヴァドゥ朝スルタン「Mohamed4世 Kula Ran Mani」 (~同年)
1692年-05:00|モルデイヴ| ||<即位>ハマウィ朝スルタン「Muhammad Shamsuddeen1世 Mikaaalha Madhaadheettha」 (~同年)
1692年-04:00|オマーン| ||<即位>ヤーリハ 王朝イマム「サイフ・イブン・スルタン」 (~17111015)
1692年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「セルコス・アフマト・ケトダ」 (2回目 ~1694年)
1692年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>ハスラ・ワリス「アフマト・ハシヤ」 (~1693年)
1692年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ワリス (総督)「Buyuk Cafer」 (1期目 ~同年)
1692年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス (総督)「Celebi Ismail Pasha」 (~1693年)
1692年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・テ・クマ、モモタパ 総司令官「トメ・デ・ソウザ・コレイア」 (~1693年没)
1692年-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「セリム1世ギレイ」 (3期目 ~1699年)
1692年-01:00|ドイツ| ||<死去>ロイス=シュライツ伯「Heinrich1世」
1692年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ総督「Sebastian Gonzalez de Andia y Irarrazabal Alvarez de Toldeo Enriquez de Guzman」 (~1695年)
1692年-01:00|オランダ/スペイン| ||<就任>スペイン領ネーデルラント 総督「Maximilian2世 Emanuel of Bavaria」 (~1706年)
1692年-01:00|ドイツ| ||<就任>ハノーファー選帝侯「エルスト」プランスシュヴァイク=カレンベルク公ゲオルクの息子 (~1698年死去)
1692年-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー総督「クアフルスト・マキシリアン2世フォン・ハイルン」 (1回目 ~17010323)
1692年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ガジ・メフメト・ハシヤ」 (~1697年)
1692年-01:00|ドイツ| ||<就任>ロイス=シュライツ伯「Heinrich11世」 (~1726年死去)
1692年 04:00|アンティグア・バプーダ/イギリス| ||<就任>アンティグア副総督代行「ジョン・パリー」 (~1697年)
1692年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| ||<就任>ネイビス副総督「サミュエル・ガードナー」 (~1699年)
1692年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領メリーランド 植民地総督「ライオネル・コプリー」 (~1693.9死去)
1692年 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「レコリオ・デ・サラス・パローナ」 (~1697年)
1692年 06:00|ニカラガ/スペイン| ||<就任>ニカラガ総督「カプリアル・ロドリゲス・ブラホー・デ・オロス」 (~1696年)
1692年1月-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア汗国ハン「Safa Geray」 (~10月)
1692年1月3日-09:00|日本| ||元禄4年11月15日|幕府が鳶・鳥の巣を卵を産む前に落とすこと、卵・雛があればそのままとすることを命じる (生類憐みの令)
1692年1月5日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ総督「カニャタ・エルサ侯爵トマス・マリノ・デ・ボベダ」 (~1700年12月)
1692年1月7日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>カチュー司令官「ホセ・ビニョロ・ダ・カマ」 (1回目 ~16940315)
1692年1月10日-01:00|リベントウタイン| ||<就任>ファトウキーツ執行官「レオンハルト・フレ・フォン・シェンシュタイン」 (~16940305没)
1692年1月16日 00:00|イギリス| ||<死去>2代インチキン伯「ウィリアム・オブ・ライオン」
1692年1月16日 00:00|イギリス| ||<就任>3代インチキン伯「ウィリアム・オブ・ライオン」 (~17191224死去)
1692年1月16日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サントアゴ 総督代行「ジョン・ホイト」 (~8.22没)
1692年1月19日-09:00|日本|広島県三次市|元禄4年12月2日|<交替>備後三次藩5万石「浅野長照」隠居⇒養子「浅野長澄」が継ぐ (⇒享保3 (1718) 年8月4日、死去)
1692年2月12日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|元禄4年12月26日|<死去>但馬出石藩43500石「小出英安」55歳⇒翌年3月11日、長男「小出英益」が継ぐ (⇒翌年10月10日、26歳で死去)
1692年2月14日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|元禄4年12月28日|<移封>日向延岡藩53000石「有馬清純」⇒越後糸魚川藩5万石 (無城大名に格下げ⇒元禄8 (1695) 年5月、越前丸岡藩5万石へ移封)
1692年2月17日-08:00|中国| ||清・康熙31年|<即位>ヤルカント・ハン「アクハ・シュ・ハン (ムハンマド・ムミン)」 (~1700年)
1692年2月17日-09:00|日本| ||元禄5年1月|<刊行>井原西鶴「世間胸算用」
1692年2月17日-09:00|日本| ||元禄5年1月|<刊行>「諸国新百物語」
1692年2月23日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦2月13日|グレンコーの虐殺/イギリス国王ウィリアム3世への忠誠を拒否するスコットランド人が弾圧される
1692年3月 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領東西ニュージャージー 総督「アントニー・ハミルトン」 (~1697年)
1692年3月7日-09:00|日本| ||元禄5年1月20日|幕府が迷子犬には母犬をつけ、母子ともに愛護することを命じる (生類憐みの令)
1692年3月18日 00:00|イギリス/アメリカ| ||ペンシルヴァニアがイギリス王領となる
1692年3月20日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ダンバートン伯「ジョージ・ダグラス」
1692年3月20日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ダンバートン伯「ジョージ・ダグラス」 (~1749年死去断絶)
1692年3月22日-09:00|日本| ||元禄5年2月5日|幕府が前から飼養していた鳥で羽や足が傷ついていて放せないものを報告させる (生類憐みの令)

1700迄 (2651件)

1692年3月23日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メルヒッヅ・ソル・ハチ・アリ・パシャ」(~16930317)
1692年3月24日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Jose de Zuniga y la Cerda」(~1697年)
1692年3月24日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|元禄5年2月7日|<移封>安房東条藩1万石「西郷寿員(重員)」⇒
下野上田藩1万石(⇒翌年12月9日、行状が悪く、領地を半減され大名ではなくなる)
1692年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ」「シオ・アントニオ・ファットーリ」
1692年4月6日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「William Sacheverell」(~1695年)
1692年4月9日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ジェルジ・バンフィ・ロソツィ伯爵」(~17071115没)
1692年4月9日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|元禄5年2月23日|<移封>摂津・河内国内32000石「松平輝貞」⇒
下野壬生藩32000石(⇒元禄7(1694)年8月27日、1万石加増され42000石)
1692年4月9日-09:00|日本|宮崎県延岡市|元禄5年2月23日|<加増移封>下野壬生藩2万石「三浦明敬」⇒日向延岡藩
23000石(⇒正徳2(1712)年7月、三河刈谷藩23000石に移封)
1692年4月10日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||「カンデ」国のジャントウイム王とポルトガル政府とのあいだに「恒久平和」協
定、「カリ戦争」が終結
1692年4月11日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サカラワ植民地総督「フィリップ・ラドウェル」(~1693.5)
1692年4月11日-09:00|日本|福井県越前市|元禄5年2月25日|<移封>出羽上山藩35000石「土岐頼殷」上山城は破壊
⇒越前野岡藩35000石(⇒正徳2(1712)年4月、駿河田中藩35000石に移封)
1692年4月16日-09:00|日本| ||元禄5年3月|<完成>菱川師宣「歌舞伎図屏風」
1692年4月23日 00:00|イギリス| |||<死去>カール伯「エドワード・ハワード」
1692年4月23日 00:00|イギリス| |||<就任>カール伯「チャールズ・ハワード」2代伯の長男(~17380501死去)
1692年4月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|元禄5年3月8日|<再建>東大寺大仏殿開眼供養(~4月8日)
1692年4月30日-09:00|日本|和歌山県田辺市|元禄5年3月15日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直
清」⇒三男「安藤直名」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年12月、隠居)
1692年5月 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ 総督「商工会議所のマヌエル・アントニオ・ニエイロ」(~1694年)
1692年5月14日 00:00|イギリス| |||イギリスの農業雑誌で前年の天気を掲載するコーナー始まる世界初の天気予報だと
されている『より良き農業と商業を目指して』
1692年5月15日-09:00|日本|岐阜県郡上市|元禄5年3月30日|<死去改易>美濃郡上藩24000石「遠藤常久」無嗣
1692年5月19日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Diego Bartolome Bravo de Anaya」(~16
931223)
1692年5月27日-09:00|日本|宮崎県延岡市|元禄5年4月12日|<死去>有馬康純、前日向国延岡藩藩主(生年1613年)
1692年5月29日-01:00|フランス/オランダ/イギリス| |||ユリウス暦5月19日|イギリス・オランダ 連合艦隊が、ドーヴァー海峡のラ・オーグの
海戦でフランス軍を破る
1692年6月 06:00|アメリカ| |||セラムの魔女裁判で約20人を処刑
1692年6月6日-03:00|スーダン| |||<即位>フンブ・スルタン国スルタン「バティ3世アル・アッマル・イブン・ウサ2世」(~17160413)
1692年6月7日 05:00|ジャマイカ| |||ポート・ロイヤルを大地震が襲う。三回の揺れの後、町の大半が海底に沈む/その後津
波が襲来し、死者3千
1692年6月8日 07:00|メキシコ| |||スペイン領メキシコで都市貧困層が暴動をおこす
1692年6月20日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケー国王「マニ・タナ」(~16941220)
1692年6月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>メレンブルク=シュヴェーレン公「クリスティアン・ルートヴィヒ1世」
1692年6月21日-01:00|ドイツ| |||<即位>メレンブルク=シュヴェーレン公「フリートリヒ=グイルヘルム1世」クリスティアン・ルートヴィヒ1世の甥(~
17130731死去)
1692年6月23日-09:00|日本| ||元禄5年5月9日|幕府が府内の新地寺院146か寺を古跡とし、新たに寺院を建立す
ることを禁じる
1692年6月23日-09:00|日本|茨城県|元禄5年5月9日|<再興>常陸・下野国内1万石「遠藤胤親」(遠藤家養子⇒元禄11
(1698)年3月7日、近江三上藩1万石へ移封)
1692年6月24日-09:00|日本| ||元禄5年5月10日|幕府、富突請・百人講を禁止
1692年6月25日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄5年5月11日|幕府が午後6時以後、酔った者の江戸城門の通行を
禁じる
1692年6月27日-09:00|日本|石川県加賀市|元禄5年5月13日|<死去>加賀大聖寺藩7万石「前田利明」⇒7月9日、長男
「前田利直」が継ぐ(弟「利昌」に1万石を分与し支藩である大聖寺新田藩を立藩⇒宝永7(1710)年12月13日、死去)
1692年7月-05:00|モルデイフ| |||<即位>モルデイフ・スルタン「ムハンマド2世」(~17010116没)
1692年7月 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド=コースト長官代行「ニコライ・フェンズマン」(2回目~9.8)
1692年7月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島・コルヴァ島ドナリア長官「Martinho de Mascarenhas」(
~1723年)
1692年7月10日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元禄5年5月26日|三条大橋が倒壊
1692年7月16日-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「サヴァ1世」(~1697年)
1692年7月18日-01:00|イタリア| |||ベネチア海軍司令長官ドメニコ・モチェーゴ、カンデリアに上陸。カブラの包囲を外側から取り
囲む。失敗
1692年8月9日-09:00|日本|岩手県盛岡市|元禄5年6月27日|<交替>陸奥盛岡藩10万石「南部重信」隠居⇒長男「南部
行信」が継ぐ(⇒元禄7(1694)年8月21日、弟「政信」に新田5000石、弟「勝信」に新田3000石を分与⇒元禄15(1702)
年10月11日、死去)
1692年8月9日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|元禄5年6月27日|<交替>下総生実藩1万石「森川重信」隠居⇒長男
「森川俊胤」が継ぐ(⇒享保17(1732)年閏5月11日、隠居)

1700迄 (2651件)

1692年8月9日-09:00|日本|長崎県対馬市|元禄5年6月27日|<交替>対馬国府中藩22800石「宗義真」隠居⇒弟「宗義倫」が継ぐ(⇒元禄7年9月27日(16941114)、死去)
1692年8月12日-01:00|フランス| |||のちにパリ1区の「ヴァンドーム広場」に設置される「ルイ14世の銅像」が鑄造される
1692年8月12日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和13年7月|大越でキリスト教を禁止、教会、教書を焚く
1692年8月20日-09:00|日本|石川県加賀市|元禄5年7月9日|<立藩>加賀大聖寺新田藩1万石「前田利昌」大聖寺藩から分与(⇒宝永6(1709)年2月18日、切腹廃藩)
1692年8月22日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントピア總督代行「ジョン・ホーテン」(~16930309)
1692年9月 06:00|アメリカ| |||コットン・マザーが「目に見えぬ世界の不思議」を刊
1692年9月1日-09:00|日本|福島県白河市|元禄5年7月21日|<改易>陸奥白河藩13万石「松平忠弘」家臣騒擾事件により/のち出羽山形へ転封
1692年9月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「シドニー子爵ヘンリー・シドニー」(~16930703)
1692年9月5日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|元禄5年7月25日|高野山の内紛に断/行人ら680人流罪/高野山の行人1000余人を追放
1692年9月7日-09:00|日本|福島県白河市|元禄5年7月27日|<加増移封>出羽山形藩10万石「松平直矩」⇒陸奥国白河藩15万石(⇒元禄8年4月25日(16950606)死去)
1692年9月8日 00:00|カナデンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールト＝コスト長官「ハーディング・ヒーターセン」(~1693年)
1692年9月8日-09:00|日本|山形県上市市|元禄5年7月28日|<移封>飛騨高山藩38000石「金森頼時」⇒出羽上山藩38000石(⇒元禄10(1697)年6月、美濃郡上藩38900石へ移封)
1692年9月23日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||年末|<死去>コンゴ 王国マニココ「マヌエル・アフォンソ・ンジンガ・ア・ソルンケ」
1692年9月23日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||年末|<即位>コンゴ 王国マニココ「ペドロ4世サム・アムベナ」(~1704年)
1692年9月26日-09:00|日本|山形県山形市|元禄5年8月16日|<再封>出羽山形藩10万石「松平忠弘」(⇒11月25日、隠居)
1692年9月27日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Frans Delavigne」(~16940913)
1692年10月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「Selim1世 Geray」(3期目~16990325)
1692年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「イセント・ホネリ」「ピエトロ・フランチェニ」
1692年10月12日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョヴァンニ・バティスタ・ヴァーリ、イタリアのヴァイオリニスト・歌手・作曲家(生年1632年)
1692年10月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランデンブルク＝アンハルト辺境伯「クリスティアン・アルブレヒト」
1692年10月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク＝アンハルト辺境伯「ゲオルク・フリードリヒ2世」(~17030329死去)
1692年10月22日-04:00|モリシャス/フランス| |||<就任>モリシャス島総督「ロベール・ド・イタティ」(~17031125)
1692年10月22日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「セバスティアン・フェリックス・デ・メンディエラ」(1回目~16961204)
1692年11月10日-09:00|日本| ||元禄5年10月3日|幕府が子犬の飼育、狂犬の繋ぎ留めを命じる(生類憐みの令)
1692年11月15日 00:00|イギリス| |||<死去>リンカーン伯「エドワード・クリントン」
1692年11月15日 00:00|イギリス| |||<就任>リンカーン伯「フランス・クリントン」(~16930904死去)
1692年11月17日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|元禄5年10月10日|<死去>但馬出石藩43500石「小出英益」26歳⇒養子「小出英長」が継ぐ(自領500石を本家に併合し44000石⇒元禄7(1694)年12月17日、30歳で死去)
1692年11月22日-09:00|日本|愛知県岡崎市|元禄5年10月15日|<死去>三河岡崎藩4万石「水野忠春」⇒次男「水野忠盈」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年8月4日、死去)
1692年11月27日-01:00|イタリア| |||ベネチア共和国、フランチェスコ・モロシニ、ドージェ職を受ける
1692年12月8日-09:00|日本|京都府京都市|元禄5年11月1日|京都内裏から出火、全焼/公卿邸・社多く類焼
1692年12月19日-09:00|日本|茨城県笠間市|元禄5年11月12日|<加増移封>下野足利藩2万石「本庄宗資」⇒常陸笠間藩4万石(⇒元禄7(1694)年4月、1万石加増され5万石)
1692年12月19日-09:00|日本|岐阜県郡上市|元禄5年11月12日|<移封>常陸笠間藩5万石「井上正任」⇒美濃郡上藩5万石(⇒翌年9月2日、隠居)
1692年12月21日-09:00|日本|千葉県富津市|元禄5年11月14日|<加増>上総佐貫藩32000石「柳沢吉保」+3万石⇒62000石(⇒元禄7(1694)年1月7日、武蔵国川越藩72000石へ加増移封)
1692年12月30日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Juan Fernandez Franco de Medina」(~1697年)
1693年-05:30|インド| |||<就任>カラハティ国ラジャ「ジュガサイ・デオ3世」(~1721年)
1693年-05:30|インド| |||<就任>コホ・ヒール国ラジャ「ラッパ・ナヤン」(~1714年没)
1693年-05:30|インド| |||<就任>ハソリ国ラジャ「ティラージ・パール」(~1725年没)
1693年-05:30|インド| |||<就任>ファルタン国統治者(タイク)「ジャノジ・ニンパルカル」(~1748年)
1693年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「ハッサン・アガ・ジャマル」⇒「ハサン・ハシャ」⇒「カヒ・チ・ハシル・ハハー」(~1694年)
1693年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Ibshir Mustafa Pasha」(~1694年)
1693年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クア、モモタパ 総司令官代行「フランシスコ・コレア・デ・メスキータ」(~1694年)
1693年-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リガ 大司教・リヴァント公「ハウル・フロックハゲン」(~17090114没)
1693年-01:00|ドイツ| |||<就任>イゼンブルク＝ビューディングゲン伯「ヨハン・エルンスト2世」(~1708年)
1693年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「アリ・ハシャ」

1700迄 (2651件)

1693年-01:00|フランス| |||<就任>ルテン伯「Philippe de France」(~1701年)
1693年-01:00|フランス| |||<即位>ジヨウユース公「Jean Paul de Lorraine」(~同年死去)⇒「Francois Marie de Lorraine」(~16940119死去)
1693年-01:00|オランダ/インド| |||オランダがインドのポンドシュリーを占領
1693年-01:00|フランス| |||フランスで飢饉、94年にかけて餓死者が多数
1693年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<死去>イギリス領セントヘレナ総督「Joshua Johnson大佐」暗殺される
1693年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Richard Keling大佐」(~1697年)
1693年 00:00|トゴ| |||<就任>ゲニガバ 統治者(フィオ)「トグベ・フォロ・ベベ1世」(~1722年頃)
1693年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Antonio Pereira de Berredo」(~1694年死去)
1693年 00:00|カナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト長官「アサメニ」(反乱中、クリスチャンボークで~1694年5月)
1693年 00:00|カナ/ドイツ| |||<就任>フランドンブルガール・コースト司令官「ヤコブ・テン・フーフ」(~1695年)
1693年 00:00|カナ/デンマーク| |||先住民がクリスチャンボークを占領(~1694年5月)
1693年 00:00|イギリス| |||イギリスで国債制度を導入
1693年 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>イレブソン・サザンズ 諸島知事「Jacques-Simon de Belleorme」(~1702年)
1693年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||サンパウロのバンデイラが、ミナシエライスのリオ・ダス・ペリヤスで金鉱発見
1693年 04:00|BES諸島/イギリス| |||<死去>セント・ユースティウス島知事「Sir Timothy Thornhill」
1693年 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユースティウス島知事「Jan Langmet」(~同年)⇒「William Mussenden」(~1696.4)
1693年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「ウィリアム・マーカム」(~1699年)
1693年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「トマス・ローレンス」(~同年)⇒「ニコラス・グリーンベリー」(~16940726)
1693年 06:00|ロシア/スペイン| |||<就任>コマカア県総督「アントニオ・デ・オセグーラ・イ・ケベト」(~1698年)
1693年1月1日 00:00|セカール/イギリス| |||<就任>キニア会社事務局長「ジョン・ブッカー」イングラント 軍司令官(~7月)
1693年1月1日 00:00|セカール/イギリス| |||セカールをイングラントが占領(~7月)
1693年1月1日-09:00|日本|山形県山形市|元禄5年11月25日|<交替>出羽山形藩10万石「松平忠弘」隠居⇒養子「松平忠雅」が継ぐ(⇒元禄13(1700)年1月11日、備後福山藩10万石へ移封)
1693年1月6日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国先代(19代)スルタン「メフメト4世」
1693年1月9日-09:00|日本|大分県臼杵市|元禄5年12月4日|<交替>豊後杵築藩32000石「松平英親」隠居⇒長男「松平重栄」が継ぐ(⇒宝永5(1708)年11月23日、隠居)
1693年1月11日-01:00|イタリア| |||イタリアのシリア島で地震(M7.4)死者8万人
1693年1月21日-09:00|日本|山形県村山市|元禄5年12月16日|<死去>出羽村山藩1万石「本多利長」58歳⇒翌年2月18日、甥「本多助芳」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年6月13日、越後糸魚川藩へ移封)
1693年2月5日-09:00|日本| |||元禄6年1月|<刊行>井原西鶴「浮世栄華一代男」
1693年2月5日-09:00|日本| |||元禄6年1月|<発行>「古今四場居色競百人一首」鳥居清信画
1693年2月8日 00:00|セカール/イギリス| |||ゴレ島をイングラントが占領(~7月)
1693年2月8日 06:00|アメリカ| |||米国ウィリアム・アントニー・メー大学創設
1693年2月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヨハン・カスパー・ヘルムホルツの作曲家・オルガニスト(生年1627年)
1693年2月18日-09:00|日本|滋賀県彦根市|元禄6年1月14日|近江佐和山、大火/1500戸焼ける
1693年3月8日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ラン伯「チャールズ・バトラ」(~17581217死去)
1693年3月9日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントアゴ 総督「サー・ウィリアム・ピーストン」(1699年まで代行~17020122)
1693年3月13日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「サード・ブン・ザイト」(2度目~1694年8月)
1693年3月17日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「コンスタンティン・カンテミル」
1693年3月17日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ホズクル・ムスタファ・パシャ」(~16940313)
1693年3月19日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ドゥミトラク・コンスタンティン・カンテミル」(~4月)
1693年4月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「ベンジャミン・フレッチャー」⇒「ウィリアム・マーカム」(~1699.10)
1693年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ロリ」「マッテオ・マルテッリ」
1693年4月5日-01:00|フランス| |||<死去>シャテルロー公「アンヌ・マリー・ルイーズ・ド・オルアン」
1693年4月5日-01:00|フランス| |||<就任>モンパシエ公「Philippe de France」オルアン公(~17010609死去)
1693年4月22日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<死去>イギリス領セントヘレナ総督「ジョシュア・ジョンソン」
1693年4月22日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「リチャード・キリング」(~16971130死去)
1693年4月23日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン・ゲオルゲ・トウカ」(~6.24)
1693年4月28日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「マヌエル・デ・フスタマンテ・イ・レボロ」(~16980508)
1693年5月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「トマス・スミス」(~16941116死去)
1693年5月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ローテンブルク方伯「エルスト1世」
1693年5月2日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝ローテンブルク方伯「ヴィルヘルム1世」(~17251120死去)
1693年5月4日-09:00|日本|岐阜県郡上市|元禄6年3月29日|<死去改易>美濃八幡藩24000石「遠藤常久」7歳、無嗣断絶
1693年5月25日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの女流作家ラファエット夫人(1634-)小説「クレグの奥方」などを残した

1700迄 (2651件)

1693年5月28日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「アンジョア侯爵ペドロ・アントニオ・デ・ノロニャ・アルバ・カキ・エ・スザ」(~16980920)

1693年5月29日-09:00|日本|愛知県名古屋市|元禄6年4月25日|<交替>尾張名古屋藩61万9500石「徳川光友」隠居⇒27日、次男「徳川綱誠」が継ぐ(⇒元禄12年6月5日(16990701)、急死)

1693年6月1日-09:00|日本|茨城県那珂市|元禄6年4月28日|<死去>常陸額田藩2万石「松平頼元」⇒嫡子「松平頼貞」が継ぐ(⇒元禄13(1700)年9月25日、陸奥守山藩2万石に移封)

1693年6月3日-09:00|日本| ||元禄6年4月30日|幕府が猪・鹿・狼の害があっても空砲で追い払うことを命じる(生類憐みの令)

1693年6月7日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのバン代行「アレクサンダル・ミクリッチ・フクロノヴェチキ・ビスクップ・ザグレバチキ」「スチェパン・イェラッチ・ブジムスキ」(1回目~16930826)

1693年6月19日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ 領セイロン総督「トマス・ファン・リー」(1期目~16950129)

1693年6月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|元禄6年5月16日|奈良正倉院が開封される(8/7閉封)

1693年6月26日-09:00|日本|大阪府堺市|元禄6年5月23日|<死去>和泉陶器藩1万石「小出有重」病死⇒8月3日、次男「小出重興」が継ぐ(⇒元禄9(1696)年6月13日、16歳で死去)

1693年6月27日 00:00|イギリス| ||ロンドンで世界初女性向け週刊誌「ザ・レディスマーキュリー」創刊

1693年7月 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>ギニア会社事務局長「ジャン・ブルギニオン」(~1696年3月)

1693年7月 00:00|セネガル/フランス| |||ゴレ島のフランス統治が復活

1693年7月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「判事:チャールズ・ホーター卿(2回目~16930728)/シリウイシ卿/テュクスベリーのカーネル男爵ヘンリー・カーネル(16930728~)/ウィリアム・ダunsコム(16930728~)」(~16950527)

1693年7月15日-09:00|日本|福島県須賀川市|元禄6年6月13日|<改易>陸奥大久保藩1万石「本多政利」領内混乱、出羽庄内に幽閉

1693年7月26日-01:00|スウェーデン| |||<死去>ウルリカ・エリノラ・アヴ・ダンマルク、スウェーデン王カル11世の王妃、スウェーデン女王ウルリカ・エリノラの母(生年1656年)

1693年8月4日-01:00|フランス| |||フランスの修道士ドン・ペリニオンが発泡ワインシャンパン発明

1693年8月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙32年7月3日|李朝朝鮮が銅銭を私鑄したものを死刑と定める

1693年8月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ侯「John George2世」

1693年8月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・デッサウ侯「Leopold1世」(~17470407死去)

1693年8月10日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ジョン・ゴダード大佐」(~1698年)

1693年8月10日-09:00|日本|群馬県富岡市|元禄6年7月9日|<死去>上野七日市藩1万石「前田利広」49歳⇒長男「前田利慶」が継ぐ(⇒元禄8(1695)年9月7日、死去)

1693年8月11日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島司令官代理「des Prades + Lemayeur」(~1694年)

1693年8月26日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのバン「アダム・クワ・ハッティヤニー」(~17030826死去)

1693年8月28日-09:00|日本|福井県吉田郡永平寺町|元禄6年7月27日|<死去>越前松岡藩5万石「松平昌勝」58歳⇒三男「松平昌平」が嗣ぐ(⇒享保6(1721)年12月11日、宗家福井藩を継ぎ松岡藩は本家に併合されて廃藩)

1693年9月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領メリーランド 植民地総督「ライオネル・コブリー」

1693年9月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド 植民地総督「エドマント・アントワ」(~同年)

1693年9月 07:00|メキシコ| ||秋「バルガス」の遠征隊、サタフェに向かう/先住民との激しい戦いの後、征服に成功

1693年9月4日 00:00|イギリス| |||<死去>リンカーン伯「フランス・クリントン」

1693年9月4日 00:00|イギリス| |||<就任>リンカーン伯「ヘンリー・クリントン」(~17280907死去)

1693年9月5日-09:00|日本|京都府舞鶴市|元禄6年8月6日|<死去>丹後田辺藩35000石「牧野富成」⇒甥「牧野英成」が継ぐ(⇒元文2(1737)年10月2日、隠居)

1693年9月6日-05:30|インド/オランダ/フランス| |||オランダがフランス領ポントシェリーを占領(~16990913)

1693年9月9日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランセスコ・イングリ」(~16950909)

1693年9月9日-09:00|日本|大阪府大阪市|元禄6年8月10日|<死去>井原西鶴、浮世草子、人形浄瑠璃作者、俳人(52歳、生年1642年)「好色一代男」の作者

1693年9月14日-09:00|日本|大阪府豊中市|元禄6年8月15日|<死去>摂津麻田藩1万石「青木重成」⇒次男「青木重矩」が継ぐ(⇒正徳3(1713)年閏5月22日、隠居)

1693年9月15日-09:00|日本| ||元禄6年8月16日|幕府が釣り・釣り船を禁じる(生類憐みの令)

1693年9月21日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「ラウレアノ・デ・トレス・イ・アヤ」(~1699年)

1693年9月30日-09:00|日本|岡山県倉敷市|元禄6年9月1日|<死去>備中岡田藩10343石「伊東長貞」⇒長男「伊東長救」が継ぐ(⇒享保8(1723)年3月5日隠居)

1693年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」「メルキオール・ハンマーズ」

1693年10月1日-09:00|日本|岐阜県郡上市|元禄6年9月2日|<交替>美濃郡上藩5万石「井上正任」隠居⇒次男「井上正岑」が継ぐ(弟「正長」に3千石分与し47000石⇒元禄10(1697)年6月10日、丹波亀山藩47000石に転封)

1693年10月9日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄6年9月10日|幕府が鷹狩を廃止、江戸鷹匠町を小川町と改称

1693年10月12日-09:00|日本|東京都文京区|元禄6年9月13日|江戸餌差町を富坂町と改称

1693年10月17日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ジョンバーグ公「チャールズ・ジョンバーグ」

1693年10月17日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ジョンバーグ公「メイト・ジョンバーグ」初代リンスター公(~17190716死去)

1693年10月30日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|元禄6年10月2日|<死去>伊予吉田藩3万石「伊達宗保」⇒12月7日、従弟「伊達村豊」が継ぐ(⇒元文2(1737)年6月30日、死去)

1693年11月3日-09:00|日本|岡山県高梁市|元禄6年10月6日|<死去改易>備中松山藩48000石「水谷勝美」31歳、無嗣断絶/叔父に3000石安堵

1700迄 (2651件)

1693年11月23日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ジャン・デ・パリオス・イ・リル」(2回目~16951112)

1693年12月3日-09:00|日本|福島県いわき市|元禄6年11月7日|<死去>陸奥湯長谷藩15000石「遠山政亮」⇒翌年1月23日、養子「遠山政徳」が継ぐ(⇒元禄16(1703)年5月13日、30歳で死去)

1693年12月10日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|元禄6年11月14日|<交替>伊予宇和島藩72000石「伊達宗利」隠居⇒養子の「伊達宗賛」(⇒元禄9(1696)年7月4日新田分を高直して10万石格)

1693年12月21日-09:00|日本|茨城県古河市|元禄6年11月25日|<改易>下総古河藩8万石「松平忠之」発狂/弟「信通」が名跡を継ぐ

1693年12月21日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|元禄6年11月25日|<加増移封>大和興留藩1万石「松平(藤井)信通」⇒備中庭瀬藩3万石(⇒元禄10(1697)年9月15日、出羽上山藩3万石に移封)

1693年12月23日 04:30|ペルー/スペイン| |||<就任>スペイン領ペルー総督「Francisco de Berrotaran y Gainza」(1期目~16990409)

1693年12月24日-09:00|日本|埼玉県比企郡鳩山町|元禄6年11月28日|<拝領>武蔵赤沼藩16000石「内藤正勝」(⇒翌年8月7日、死去)

1693年12月27日-09:00|日本| ||元禄6年12月|<刊行>井原西鶴「西鶴置土産」

1693年12月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント伯「ウィリアム・フェイン」

1693年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント伯「ウィリアム・フェイン」先代の子(~16980519死去)

1694年-07:00|ラオス| |||<死去>ランサン王「シリナ・ボンサ」

1694年-07:00|ラオス| |||<即位>ランサン王「ティアン・タ」(~1695年、6ヶ月で退位)

1694年-05:30|インド| |||<就任>ジャイプーラ国「ラム・シン・シム・ストゥンカ」1世(~1708年没)

1694年-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランカバル)司令官「クラウス・フォクト」(~17010519)

1694年-05:30|インド| |||<就任>ラージコット国統治者(タクル・サーヒブ)「メフラムジ2世バマニジ」(~1720年没)

1694年-05:30|インド| |||<即位>ラダック国王(チョス・ギヤル・チェン・ポ)「ニマ・ナムギヤル」(~1729年)

1694年-05:00|パキスタン| |||<即位>カトール朝国王「Shah Alam」

1694年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第17代ハン「チヤク」アルの子(~1697年)

1694年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ハジ・アフメド・ケイリ・パシャ」(~1695年)

1694年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「シェイク・マニ・マガミス」(~1697年)

1694年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Dursun Mehmed Pasha」(~同年)

1694年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Shahin Mehmed Pasha」(~1695年)

1694年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クマ、モモタパ 総司令官「ステイブ・ン・ホセ・ダ・ガマ」(~1696年)

1694年-02:00|エジプト| |||この年エジプトで疫病・飢饉が発生

1694年-02:00|ルーマニア| |||ブカレストに聖サヴァ・アカデミー設立

1694年-01:00|フランス| |||<就任>サンポール伯「マリー」(~17051117、エドワード1世・ド・ムランの寡婦エリザベート・テレーズ・ド・ロレーヌ(ジョージウス公フランソワ・マリー・ド・ロレーヌの娘)にサンポール伯領を売却)

1694年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Antonio Pereira de Berredo」

1694年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Chamber Senate」(~16950722)

1694年 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「ジェームス・セル」先代の息子(~17281009)

1694年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「サントス・デ・ウイゲイナル・カスターニョ」(~1696年)

1694年 00:00|モリタニア/ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク領アルグン総督「ヤン・リール」(1回目~1712年)

1694年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督代行「フランシスコ・デ・ビタ・マリエロ」(~1696年)

1694年 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<死去>セントクロア総督「de La Saulaye」

1694年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「Edwin Stede」(2期目~16940817)

1694年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラプラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「アントニオ・マルティネス・ルナン・デ・バルガス」(~1699年)

1694年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領メリーランド植民地総督「トマス・ローレンス」(~同年)⇒「エドマント・アントロス」(~5月)

1694年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州市長兼副司令官「ホセ・カルボ・デ・ウラ」(~1699年)

1694年1月3日-09:00|日本|東京都|元禄6年12月8日|隅田川に新橋を架け新大橋と命名

1694年1月4日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|元禄6年12月9日|<廃藩>下野上田藩1万石「西郷寿員(重員)」行状が悪く、領地を半減され大名ではなくなる

1694年1月6日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|元禄6年12月11日|摂津尼崎で400軒焼ける

1694年1月7日 00:00|イギリス| |||<死去>初代マクス・フィールド伯「チャールズ・ジェラート」

1694年1月7日 00:00|イギリス| |||<就任>2代マクス・フィールド伯「チャールズ・ジェラート」(~17011105死去)

1694年1月12日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||トミンゴス・ホセ・ベリョ、ペルナンブコ総督ペルナルト・ビエイラ・デ・メロの手勢を加え掃討軍を組織。パルマ王國の首都マコを攻撃

1694年1月16日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「フランチェスコ・モロシニ」

1694年1月19日-01:00|フランス| |||<死去>ジョウユース公「Francois Marie de Lorraine」

1694年1月19日-01:00|フランス| |||<即位>ジョウユース公「Anne de Lorraine」(~1714年~1720年)

1694年1月25日-09:00|日本|島根県安来市|元禄7年|<加増>出雲広瀬藩2万石「松平近栄」+残りの召上げ領地1万石還付⇒3万石に復帰(⇒元禄15(1702)年3月23日、隠居)

1700迄 (2651件)

1694年1月26日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元禄7年1月2日|<死去>近江小室藩12460石「小堀政恒」⇒3月6日、四男「小堀政房」が継ぐ(⇒正徳3(1713)年10月16日死去)

1694年1月31日-09:00|日本|茨城県古河市|元禄7年1月7日|<移封>武蔵川越藩7万石「松平信輝」⇒下総古河藩7万石(⇒宝永6(1709)年6月18日、隠居)

1694年1月31日-09:00|日本|埼玉県川越市|元禄7年1月7日|<加増移封>上総佐貫藩62000石「柳沢吉保」⇒武蔵国川越藩72000石(⇒元禄10(1697)年7月1日、2万石加増され92000石)

1694年2月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|元禄7年1月11日|<死去>浄瑠璃文弥節の創始者岡本文弥(62)

1694年2月6日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||掃討軍の攻撃によりパルマス王国は壊滅

1694年2月10日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「ギル・デ・カブレラ・イ・ダ・パロス」(2回目~17030621)

1694年2月21日-09:00|日本| ||元禄7年1月28日|幕府が犬の喧嘩を引き分けること、痩せ大がいたら飼育することを命じる(生類憐みの令)

1694年2月25日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「シルヴェストロ・ヴァリエル」(~17000707死去)

1694年3月2日-09:00|日本|山口県萩市|元禄7年2月7日|<死去>長州藩369000石「毛利吉就」急死⇒養子「毛利吉広」が継ぐ(⇒宝永4(1707)年10月13日、35歳で死去)

1694年3月13日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「サルメ・アリー・ハシャ」(~16950422)

1694年3月15日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュ司令官「サントス・デ・ウイデ・イガル・カスターニョ」(2回目~1706年)

1694年3月20日 00:00|イギリス| |||<就任>初代リーズ公「トマス・オズボーン」(~17120726死去)

1694年3月25日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ジョン・スタファースト」(~16960609)

1694年3月26日-09:00|日本| ||元禄7年3月|<刊行>井原西鶴「西鶴織留」

1694年4月 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「ニコラス・トロット」(~1697年3月)

1694年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ロリ」「カスパー・レ・カルビーニ」

1694年4月2日-01:00|フランス| |||<死去>ロングヴィル公「Jean Louis Charles」

1694年4月18日 00:00|イギリス| |||<死去>ハミルトン公・クライス・デール侯・アラン・ラナーク伯「ウィリアム・ダグラス=ハミルトン」

1694年4月24日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「南九萬」(~16960906)

1694年4月24日-09:00|日本| ||元禄7年4月|「奥の細道」完成

1694年4月24日-09:00|日本|埼玉県行田市|元禄7年4月|<加増>武蔵忍藩9万石「阿部正武」+1万石⇒10万石(⇒宝永元(1704)年9月17日、隠居)

1694年4月24日-09:00|日本|茨城県笠間市|元禄7年4月1日|<加増>常陸笠間藩4万石「本庄宗資」+1万石⇒5万石(⇒元禄12(1699)年8月16日、死去)

1694年4月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「ヨハン・ゲオルク4世」

1694年4月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「フリードリヒ・アウグスト1世」強健王(~17330201死去)ポーランド王アウグスト2世

1694年4月30日 00:00|イギリス| |||<昇格>シュルズベリー伯「チャールズ・タルボット」⇒シュルズベリー公(~17180201死去)ウォーターフォード伯

1694年5月 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官「トマス・ヤコブセン」(~1698年5月)

1694年5月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「フランス・ニコルソン」(~1698年)

1694年5月5日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1694/4/25|長びくフランスとの戦いに対して戦費の調達を円滑にするため、イングランド銀行が設立される/国債の引き受けが主な業務

1694年5月7日-09:00|日本|三重県伊賀市|元禄7年4月14日|伊賀上野、大火、1000余戸焼亡

1694年5月11日 00:00|イギリス| |||<就任>ベットフォード公・ダグイストック侯「ウィリアム・ラッセル」(~17000907死去)

1694年5月11日-09:00|日本|京都府京都市|元禄7年4月18日|幕府の援助により、応仁元年(1467)以来中絶していた賀茂祭(葵祭)が再興

1694年5月12日 00:00|イギリス| |||<昇格>第4代デヴォンシャー伯「ウィリアム・キャウエンデイツシュ」⇒デヴォンシャー公兼ハートinton侯(~17070818)

1694年5月14日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ニューカッスル=アボーン=タイン公「ジョン・ホーズ」4代クレア伯(~17110715死去ニューカッスル=アボーン=タイン公爵位消滅)

1694年5月14日-09:00|日本|茨城県土浦市|元禄7年4月21日|<加増>常陸土浦藩65000石「土屋政直」⇒75000石(⇒正徳元(1711)年12月、1万石加増され85000石)

1694年5月14日-09:00|日本|神奈川県小田原市|元禄7年4月21日|<加増>相模小田原藩10万3000石「大久保忠朝」+1万石⇒11万3000石(⇒元禄11(1698)年10月16日、隠居)

1694年5月14日-09:00|日本|千葉県佐倉市|元禄7年4月21日|<加増>下総佐倉藩61000石「戸田忠昌」+1万石⇒71000石(⇒元禄12(1699)年9月10日、老中在職のうちに没)

1694年5月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヨハン・ミヒャエル・バッハ、ドイツの作曲家(生年1648年)

1694年5月18日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|元禄7年4月25日|別子銅山大火災、142人焼死

1694年5月20日-09:00|日本|東京都品川区|元禄7年4月27日|品川東海寺焼失

1694年5月22日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ジョアン・デ・レカストル」(~17020703)

1694年5月25日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ペーリャ公「フランシスコ」(~17420721死去)ペドロ2世の息子

1694年5月29日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|元禄7年5月6日|<死去>三井高利、商人、三井中興の祖(72歳、生年1622年)

1694年6月2日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||フェルナン・カリヨ、セタン支配者ジャントウイム王討伐に乗り出すが失敗

1694年6月10日-09:00|日本|香川県丸亀市|元禄7年5月18日|<死去>讃岐丸亀藩61512石「京極高豊」(40歳、生年165

1700迄 (2651件)

5年)⇒6月18日、次男「京極高或」が継ぐ(庶兄「高通」に多度津藩1万石分知立藩し51512石⇒享保9年6月22日(17240810)、33歳で死去)

1694年6月19日 10:00|日本| ||元禄7年5月27日|<元禄7年能代地震>卯の下刻(19時ごろ)、能代地方にマグニチュード7.0の強い揺れ/野代を中心に、森岡、檜山、駒形、飛根など42か村に被害。429人死亡/家屋倒潰1500戸、同焼失100戸。土蔵崩潰44棟、同焼失136棟/野代では、地震直後に火災が起こり、総戸数1132戸のうち倒潰350戸、焼失719戸、破損53戸と、合計1122戸が潰滅し、わずか10戸が損傷を免れたのみ

1694年6月21日-09:00|日本| ||元禄7年5月29日|幕府が捨て犬を禁じる(生類憐みの令)

1694年6月27日-01:00|フランス/ジャマカ| ||ドゥ・カセ提督の率いるフランス艦隊がジャマカを攻撃。北部/東部の海岸を襲撃し、50の砂糖農場、50の農園を破壊(~7.23)黒人奴隷1,300人を連れ去る

1694年7月12日-09:00|日本|大分県臼杵市|元禄7年閏5月20日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉景通」56歳⇒弟「稲葉知通」が継ぐ(⇒宝永3(1706)年4月15日、55歳で死去)

1694年7月19日-01:00|フランス/ジャマカ| ||フランス軍1,500人がケレンドン県のカライル湾に上陸。奴隷を含む農民200人が反撃。三日後、農民の抵抗闘争にさらに数百名が加わり、フランス軍を駆逐

1694年7月22日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マデラ総督「Pantaleao de Sa e Melo」(~16980427)

1694年7月25日-09:00|日本|東京都中央区|元禄7年6月4日|<死去>菱川師宣、浮世絵師(77歳、生年1618年)「見返り美人」ほか

1694年7月29日-03:30|イラン| ||<死去>サファヴィー朝シャー「サフィ2世スライマン」

1694年8月-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「アブドゥッラー2世・イブン・ハム」サイドと共同統治(~12月)

1694年8月6日-03:30|イラン| ||<即位>サファヴィー朝シャー「スルターン・フサイン」(~17221023退位~17261115死去)

1694年8月6日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1694/7/27|<創立>イングランド銀行(英国)

1694年8月8日-09:00|日本|香川県丸亀市|元禄7年6月18日|<立藩>讃岐多度津藩1万石「京極高通」丸亀藩より分知(⇒享保20年9月24日(17351108)、隠居)

1694年8月11日-09:00|日本|栃木県大田原市|元禄7年6月21日|<死去>下野大田原藩11400石「大田原典清」⇒長男「大田原純清」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年5月23日、死去)

1694年8月15日 06:00|アメリカ| ||ニューヨーク等がイロコイ族とオランダ平和条約を締結

1694年8月16日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| ||<就任>マリアナ諸島知事「Jose de Quiroga y Losada」(3期目~16960726)

1694年8月16日-09:00|日本|東京都墨田区|元禄7年6月26日|<死去>鍼術の杉山和一(85)

1694年8月17日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「Francis Russell」(~16960807死去)

1694年8月21日-09:00|日本| ||元禄7年7月|<刊行>夜食時分「好色萬金丹」

1694年8月21日-09:00|日本| ||元禄7年7月|幕府が傷ついた犬を見つけた者が毛色・傷のようすを記録し、犬医師に治療させることを命じる(生類憐みの令)

1694年8月22日-09:00|日本|神奈川県小田原市|元禄7年7月2日|小田原で津波/人家多数水没

1694年8月26日-09:00|日本|栃木県栃木市|元禄7年7月6日|<廃藩>下野大宮藩2万石「堀田正虎」宗家陸奥福島藩を相続/宗家に吸収

1694年8月26日-09:00|日本|福島県福島市|元禄7年7月6日|<死去>陸奥福島藩10万石「堀田正仲」⇒弟「堀田正虎」が継ぐ(⇒元禄13(1700)年1月11日、出羽山形藩に移封)

1694年9月1日-09:00|日本| ||元禄7年7月12日|幕府が、犬皮による鞆の製造・販売を禁じる(生類憐みの令)

1694年9月6日-01:00|イタリア| ||<死去>モナ・レヅィヨ公「フランチェスコ2世」

1694年9月6日-01:00|イタリア| ||<即位>モナ・レヅィヨ公「リカルド3世」(~17371026死去)

1694年9月7日-01:00|イタリア| ||イタリア・トスカナ地震(M6.4)、死者180

1694年9月8日-01:00|イタリア| ||イタリア南部で地震(M6.4~6.8)、死者4820

1694年9月13日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| ||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Johan Lorensen」(2期目~17020610)

1694年9月16日-09:00|日本| ||元禄7年7月27日|幕府が歌舞伎役者・前髪の少年・踊り子が女性の家に入出入りすることを禁じる

1694年9月25日-09:00|日本|埼玉県比企郡鳩山町|元禄7年8月7日|<死去>武蔵赤沼藩16000石「内藤正勝」⇒長男「内藤正友」が嗣ぐ(⇒元禄16(1703)年8月14日、信濃岩村田藩16000石へ移封)

1694年9月26日-01:00|ノルウェー/デンマーク| ||<就任>ノルウェー総督代行「グエーデル・ヤールスベルク伯爵グスタフ・ヴィルヘルム」(1回目⇒1699年、総督~1700年)

1694年9月29日-01:00|ドイツ| ||<死去>フェルテンツ伯「Leopold Louis, Count Palatine of Veldenz」

1694年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ベラルディーノ・レオナルディ」「ロレンツォ・ジャンギ」

1694年10月15日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|元禄7年8月27日|<加増>下野壬生藩32000石「松平輝貞」+1万石⇒42000石(⇒翌年5月10日、高崎藩52000石へ加増移封)

1694年10月23日-09:00|日本| ||元禄7年9月5日|幕府が市中で飼育する金魚の数の報告を命じる(生類憐みの令)

1694年10月25日-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ大司教「ジョセフ・クレマン」(~17231112没)

1694年11月3日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「エンリケ・ジャック・ド・マゼラン」(~16971109)

1694年11月14日-09:00|日本|長崎県対馬市|元禄7年9月27日|<死去>対馬国府中藩22800石「宗義倫」⇒弟「宗義方」が継ぐ(⇒享保3(1718)年9月5日、死去)

1694年11月16日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<死去>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「トマス・スミス」

1700迄 (2651件)

1694年11月16日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ジョセフ・ブレイク」(~16950817)
1694年11月17日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督「ウィリアム・フィップス」(~16920516)
1694年11月24日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「サミュエル・カーペンター」(~16980903)
1694年11月27日-09:00|日本| ||元禄7年10月11日|<死去>柳生巖包、剣術家、新陰流第五世(70歳、生年1625年)
1694年11月28日-09:00|日本|大阪府大阪市|元禄7年10月12日|<死去>松尾芭蕉、大坂で(51歳、生年1644年)俳諧師、「奥の細道」作者
1694年11月30日-01:00|イタリア| |||<死去>イタリアの組織学者マルチェロ・マルビーギ(162803.10~)「顕微鏡検査の父」哺乳動物の血液に関する研究/赤血球の発見
1694年12月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「サード・ヒン・ザイト」(第3治世~1702年3月)
1694年12月4日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督代理「ウィリアム・ストトン」(~16990526)
1694年12月11日-01:00|イタリア| |||<即位>ハルマ公(ファルネーゼ家)「フランチェスコ」ラヌッチョ2世の息子(~17270226死去49歳)
1694年12月16日-09:00|日本|奈良県宇陀市|元禄7年10月30日|<死去>大和宇陀松山藩28235石「織田信武」自殺⇒翌年2月5日、長男「織田信休」が継ぐ(⇒同年4月10日、丹波柏原藩2万石に減移封)
1694年12月17日 00:00|イギリス| |||<昇格>第2代ツイート・デール伯「ジョン・ヘイ」⇒初代ツイート・デール侯(~16970811死去)
1694年12月20日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウー王国王「サンダ・トゥリヤ1世」(~16960804)
1694年12月22日-09:00|日本| ||元禄7年11月6日|<死去>初代伊藤宗看、将棋指し(生年1618年)三世名人
1694年12月28日 00:00|イギリス| |||<死去>メアリー2世、ウィリアム3世の共同統治者としてのイングランド女王(生年1662年)
1694年12月28日-09:00|日本|静岡県掛川市|元禄7年11月12日|<交替>遠江国掛川藩35000石「井伊直武」隠居⇒長男「井伊直朝」が継ぐ(⇒宝永元(1705)年11月14日、改易)
1695年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン副総督(マドラス総督に従属)「チャールズ・Barwell」(~1696年)
1695年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「オウテイ1世」(~1696年没)
1695年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「ゲドゥン・チョンフェル」(~1701年没)
1695年-05:30|インド| |||<就任>キューラ国「ダリッパ・シン」(~1741年没)、摂政「ラニ・ヒラス・デヴァイ」(~1705年)
1695年-05:30|インド| |||<就任>トリプーラ国ラジャ「ラトナ・マーニーヤ2世」(2回目~1712年没)
1695年-05:30|インド| |||<就任>ニルガリ国ラジャ「コインダ・ダス・マルトラージ・ハリヤンダン」(~1712年)
1695年-05:30|インド| |||<就任>ラトナム国ラジャ「チャトラサル」(~1706年)
1695年-05:30|インド| |||<即位>パラトブル王国君主「チューラマン」(~17210922)
1695年-05:00|パキスタン| |||<就任>カラット国カーン「メフラブ・カーン1世」(~1697年)
1695年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||<就任>ペルシャ・アフガニスタン総督「スルタン・アブドラ・カーン・アフダリ」(~1708年)
1695年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>イリス・スルタン「アリ・スルタン2世」(~1738年)
1695年-04:00|ジョージア| |||<復位>イメリ王「アーチル」(~1696年)
1695年-04:00|ロシア| |||ロシアのピョートル大帝がアゾフに遠征
1695年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「アリ・ハッシャ」(1回目~1696年)
1695年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクコ・ワリス(総督)「Buyuk Cafer」(2回目~同年)
1695年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silihdar Osman Pasha」(~1696年)
1695年-02:00|トルコ| |||オスマン朝がマリキヤ・ネ制を部分的に導入
1695年-02:00|ボツワナ| |||ボツワナに、ツワナ人が移住を開始
1695年-02:00|モザンビーク| |||マニカがカンガミールによって征服される
1695年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Melchor de Avellaneda Sandoval Rojas y Ramiro」(~1698年)
1695年-01:00|リトアニア| |||<就任>ファドゥーツ執行官「ヘルハルト・アベック」(~1697年)
1695年-01:00|フランス| |||<就任>ホワティエ伯「Francis」(~1715年)
1695年 00:00|イギリス| |||<死去>8代バカン伯「ウィリアム・アースキン」
1695年 00:00|イギリス| |||<就任>9代バカン伯「デヴィッド・アースキン」(~1745年死去)
1695年 00:00|カナダ/ドイツ| |||就任>ブランデンブルグ・ゴールド・コースト司令官「キスプレヒト・ファン・ホークフェルト」(~1697年)
1695年 03:00|ブラジル| |||ブラジルのミナス・ジェライス金鉱が発見
1695年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||ポルトガルが逃亡奴隷の集住地ハルマレスに派兵し、これを破壊
1695年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト副総督「トマス・Delavall」(~1702年)
1695年 04:00|グレートブリテン/フランス| |||<就任>グレートブリテン総督代行「ジャン＝レオン・フルニエ・カルト・プラーティヌ」(1回目~1696年)
1695年 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督代理「Joseph d'Honon de Gallifet」(~1696.1)
1695年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Isaac Lamont」(~1699年)
1695年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「パナマ司教デ・イコ・ラトロン・デ・グベラ」(~1696年)
1695年 07:00|メキシコ| |||チアパス州トゥクトゥラの先住民が反乱
1695年1月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「de Lauriere」(~8.21)
1695年1月1日-09:00|日本|東京都|元禄7年11月16日|<死去>神道家・吉川惟足
1695年1月6日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレーズヴィヒ・ホルシュタイン公「クリスチャン・アルブレクト」
1695年1月6日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレーズヴィヒ・ホルシュタイン公「フレデリク4世」(~17020719死去)
1695年1月7日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1694/12/28|<死去>イングランド王「メアリー2世」32歳(誕生16620510)ウィリアム3世の単独統治となる
1695年1月22日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄7年12月8日|<就任>老中格「側用人・柳沢吉保」
1695年1月24日-09:00|日本|山梨県都留市|元禄7年12月10日|<加増>甲斐谷村藩23000石「秋元喬朝」+河内八上郡

1700迄 (2651件)

内7000石⇒3万石(⇒元禄13(1700)年3月7日、下野足利郡都賀郡内・河内丹南丹北郡四郡内1万石加増し4万石)
1695年1月29日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督代理「ハールス・ファン・ロー」(~7.30)
1695年1月31日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|元禄7年12月17日|<死去>但馬出石藩44000石「小出英長」30歳⇒翌年2月14日、長男「小出英及」が継ぐ(⇒元禄9(1696)年10月22日、死去無嗣断絶)
1695年2月3日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リビア・ベイルベイル「デ・スタリ・メフメト・パシャ」(2回目~17010801)
1695年2月6日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第21代スルタン「アフメト2世」
1695年2月6日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第22代スルタン「ムスタファ2世」先代の甥、19代メフメト4世の子(~17030822廃位~17040108死去)
1695年2月9日-01:00|イタリア| |||ベネチア、スパルマトーリ岬の海戦
1695年2月13日-09:00|日本| ||元禄8年1月18日|<刊行>西川如見「華夷通商考」
1695年2月13日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|元禄8年|尾張藩第二代藩主光友の隠居所として徳川園造営
1695年2月13日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和16年|<就任>順城鎮藩王「Po Saktirai da putih」(~1727年)
1695年2月13日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和16年|<即位>パンドウランガ王「Po Saktiraydapatih」(~1727年死去)
1695年2月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヨハン・アンブロジウス・バッハ、ドイツの音楽家(生年1645年)
1695年2月21日-01:00|イタリア| |||ベネチア、海を戦わないで放棄
1695年2月28日-02:00|ラトビア/ポーランド| |||<就任>ポーランド・リウヴォニア総督「ヤン・フウター」(~16960224没)
1695年3月2日-09:00|日本|東京都|元禄8年1月18日|江戸・幕府が定火消を5組増加し、15組とする
1695年3月18日-09:00|日本|東京都港区|元禄8年2月4日|江戸大火により、高松藩芝邸延焼
1695年3月22日 05:00|日本|東京都|元禄8年2月8日|<江戸四谷元禄8年御門前大火>昼八つ時(14時ごろ)、出火場所は四谷御門前の伝馬町が塩町のあたり/強風に巻き上がった炎は土ぼこりとともにつぎつぎと家・屋敷を襲い、大名屋敷から寺でら、聖坂、品川、田町などと町家を灰にして、細川越中守の二本榎木屋敷前や泉岳寺門前などでようやく炎の勢いがおとろえて鎮火、6万7450軒焼失
1695年3月26日-09:00|日本|岐阜県高山市|元禄8年2月12日|幕府飛騨国高山城を破却
1695年3月28日 00:00|イギリス| |||<死去>初代クイーンズベリー公「ウィリアム・ダグラス」
1695年3月28日 00:00|イギリス| |||<就任>2代クイーンズベリー公「ジェームズ・ダグラス」(~17110706死去)
1695年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「オノリオ・オノリ」「フランチェスコ・アンジェリ」
1695年4月4日-09:00|日本| ||元禄8年2月21日|幕府が子犬の川への投げ捨て、瘦せ犬の飼育、武家屋敷地・寺社境内・近郊農地での鳶・鳥の巢の除去、珍しい魚・鳥・獣の捕獲を禁じる(生類憐みの令)
1695年4月5日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハリファックス侯「ジョージ・サギル」
1695年4月5日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハリファックス侯「ウィリアム・サギル」(~17000831死去)
1695年4月13日-01:00|フランス| |||<死去>フランス古典主義文学の詩人ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ(生年1621年)代表作品に「寓話」などがある
1695年4月13日-09:00|日本| ||元禄8年3月|<刊行>女子用の教訓書「女実語教・女童子数」
1695年4月13日-09:00|日本| ||元禄8年3月|<刊行>西川如見の外国地誌「華夷通商考」
1695年4月14日-09:00|日本|長野県諏訪市|元禄8年3月2日|<死去>信濃高島藩3万石「諏訪忠晴」57歳⇒三男「諏訪忠虎」が継ぐ(⇒享保16(1731)年7月2日、69歳で死去)
1695年4月29日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「アレクサンドラス・ポグイラス・サピエガ」(1回目、16980714まで代行~17031127)
1695年5月3日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「エルマス・メフメト・パシャ」(~16970911)
1695年5月5日-09:00|日本|福井県坂井市|元禄8年3月23日|<改易>越前丸岡藩43300石「本多重益」家臣間の騒動の責めを問われ
1695年5月13日-09:00|日本|龍谷大学|元禄8年4月|東中筋学林町に学林講堂・衆寮を再建
1695年5月15日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ストラモア=キング・ホーン伯「パトリック・ライオン」
1695年5月15日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ストラモア=キング・ホーン伯「ジョン・ライオン」先代の息子(~17120510死去)
1695年5月18日-08:00|中国| ||清・康熙34年4月6日|山西、臨汾地震/M7.8、死者5万2,600人
1695年5月20日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元禄8年4月8日|<死去>下野宇都宮藩9万石「奥平昌章」⇒次男「奥平昌成」が継ぐ(⇒享保2(1717)年2月11日、豊前中津10万石に加増移封)
1695年5月22日-09:00|日本|兵庫県丹波市|元禄8年4月10日|<減移封>大和宇陀松山藩28235石「織田信休」⇒丹波柏原藩2万石(⇒享保7(1722)年11月29日、死去)
1695年5月24日-09:00|日本|香川県高松市|元禄8年4月12日|<死去>松平頼重、前讃岐高松藩藩主(生年1622年)
1695年5月27日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「テュクスベリー」のハル男爵ヘンリー・ハル(~16960518)
1695年6月3日-09:00|日本|大阪府高槻市|元禄8年4月22日|<死去>摂津高槻藩36000石「永井直種」⇒6月19日、甥「永井直達」が継ぐ(⇒宝永3(1706)年7月30日、死去)
1695年6月6日-09:00|日本|福島県白河市|元禄8年4月25日|<死去>陸奥国白河藩15万石「松平直矩」⇒次男「松平基知」が継ぐ(⇒正徳2(1712)年3月、弟「知清」に白河新田藩1万石分与⇒享保14年8月14日(17290906)死去)
1695年6月11日 00:00|イギリス| |||<就任>初代タンカーガイル伯「フォード・グレイ」(~17010624死去)
1695年6月12日 05:00|日本|静岡県富士宮市|元禄8年5月|重須塔中8ヶ坊・黒門・三門等焼失
1695年6月12日-09:00|日本|群馬県高崎市|元禄8年5月1日|<加増移封>上野高崎藩56000石「安藤重博」⇒備中松山藩65000石(⇒元禄11(1698)年8月9日、死去)
1695年6月12日-09:00|日本|福井県坂井市|元禄8年5月1日|<移封>越後糸魚川藩5万石「有馬清純」⇒越前丸岡藩5万石(⇒元禄15年12月10日(17030126)、死去)
1695年6月15日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Nicholas Sankey」(~1701年)

1700迄 (2651件)

1695年6月15日 04:00|グアドループ/フランス| |||<死去>グアドループ 知事「Pierre Hencelin」
1695年6月15日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Charles Auger」(~1702年)
1695年6月21日-09:00|日本|群馬県高崎市|元禄8年5月10日|<加増移封>下野壬生藩42000石「松平(大河内)輝貞」
⇒上野高崎藩52000石(⇒元禄14(1701)年、1万石加増され62000石)
1695年6月26日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|元禄8年5月15日|<加増移封>能登下村藩1万石「鳥居忠英」⇒近江水口
藩2万石(⇒正徳2(1712)年2月26日、下野壬生藩3万石に加増移封)
1695年6月26日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|元禄8年5月15日|<移封>近江水口藩25000石「加藤明英」⇒下
野壬生藩25000石(⇒正徳2年1月2日(17120208)、死去)
1695年7月-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「ハジ・アブ・メ・1世」(~1698年12月)
1695年7月4日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルル司教ジュリア・カーノ・テーバー」(~17140117)
1695年7月4日-09:00|日本|東京都|元禄8年5月23日|幕府、野犬対策に窮し、四ツ谷・大久保の地に大規模な犬小屋
を建てる
1695年7月8日-01:00|オランダ| |||<死去>クリスティアン・ホイヘンス、オランダの数学者、物理学者、天文学者(66歳、16290414生)
望遠鏡を製作し土星の輪を発見
1695年7月8日-09:00|日本| ||元禄8年5月27日|幕府が「熊・猪・狼のたぐいは傷つけぬよう棒で追い払え」「犬・猫
が鳥獣と噛み合うときは引き分ける」を命じる(生類憐みの令)
1695年7月22日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Jose Pereira Sodre」(~16960108死
去)
1695年7月25日-09:00|日本|大分県竹田市|元禄8年6月15日|<死去>豊後岡藩70440石「中川久恒」⇒長男「中川久通
」が継ぐ(⇒宝永7年2月28日(17100327)死去)
1695年7月27日 00:00|ガンビア/フランス| |||フランスがガンビア支配(フランス領ガンビア) (~1699年4月)
1695年8月9日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「トマス・ファン・リー」(2度目~16970222)
1695年8月15日-09:00|日本|宮城県石巻市|元禄8年7月6日|<立藩>陸奥中津山藩3万石「伊達村和」仙台藩から分与
(⇒元禄12(1699)年10月28日、改易)
1695年8月15日-09:00|日本|宮城県仙台市|元禄8年7月6日|<分与>陸奥仙台藩62万石「伊達綱村」伊達村和に中津
山藩3万石分与⇒59万石(⇒元禄12(1699)年10月28日、中津山藩3万石還付され62万石))
1695年8月17日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サカラワ植民地総督「ジョン・アーチーイル」(~16961029)
1695年8月21日 04:00|米領グァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「de Boissiraime」(~1698年死去)
1695年8月24日-09:00|日本|岐阜県|元禄8年7月15日|<死去>修験僧円空(64歳、生年寛永9(1632))/各地で10万休
の仏像を彫刻した修験僧
1695年8月25日-09:00|日本| ||元禄8年7月16日|幕府が、旗本が自分の知行所年貢米を担保に借金する郷借を禁
じる
1695年9月8日-09:00|日本| ||元禄8年8月|歌舞伎役者等の女性宅出入り禁止
1695年9月16日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「ヘンティネリ・ネグロネ」(~16970916)
1695年10月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「フェビ・イスマイル・パシャ」(~1697年、地元兵士によ
って退位させられた)
1695年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロドヴィコ・マネンティ・ベルツツィ」「マルクアントニオ・チェッリ」
1695年10月2日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ウァート侯爵デ・イコ・コルト・バ・イ
ラツ・デ・ラ・ベガ」(~1702年9月)
1695年10月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>メレンブルク＝ギュストロー公「ゲスタフ・アドルフ」
1695年10月14日-09:00|日本|群馬県富岡市|元禄8年9月7日|<死去>上野七日市藩1万石「前田利慶」⇒弟「前田利英
」が継ぐ(⇒宝永5(1708)年2月15日、死去)
1695年10月16日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ストラフォード 伯「ウィリアム・ウェントワース」
1695年10月17日-09:00|日本| ||元禄8年9月10日|元禄小判流通開始/金銀貨幣を改鑄/これまでの慶長小判など
を改鑄(元の字金銀の初め)
1695年10月25日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄8年9月18日|将軍綱吉が知足院を護持院と改称し、住持隆光を
大僧正に任じる
1695年10月26日-09:00|日本| ||元禄8年9月19日|幕府が古い金銀と新鑄金銀(元の字金銀)の混用を通達
1695年11月3日-09:00|日本| ||元禄8年9月27日|元禄丁銀通用開始/慶長丁銀に次ぐ江戸時代2番目の秤量貨幣
1695年11月7日-09:00|日本|東京都|元禄8年10月1日|幕府が喫煙しながら市中を往来することを禁じる
1695年11月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「ホセ・デ・スカルス・デ・ラス
カラ・イ・ジョバー」(~16960326)
1695年11月17日-09:00|日本| ||元禄8年10月11日|幕府が捨て子・捨て犬の禁止を命じる(生類憐みの令)
1695年11月20日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||ズンビ、1年半にわたる抵抗のあと密告にあい、おいつめられ同志20
名とともに絶壁から投身自殺
1695年11月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンリー・パーセル、イギリスの作曲家(生年1659年)
1695年11月21日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元禄8年10月15日|<死去>大和国郡山藩12万石「本多忠平」64歳⇒
12月12日、弟「本多忠常」が継ぐ(⇒宝永6(1709)年4月17日、49歳で死去)
1695年11月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|元禄8年10月16日|鉄砲で鳥を撃った大坂城番与力・同心11人、切腹/
子は流罪
1695年12月-05:30|インド| |||インド、マラーター軍がチトラ・ウラ近くでムガル軍を破る
1695年12月-01:00|アングラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||年末|<死去>キバング 王国国王「アルバロ10世」

1700迄 (2651件)

1695年12月-01:00|アソラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||年末|<即位>キバング 王国国王「ピョートル4世サム・ムベナ」(~17090215)

1695年12月7日-09:00|日本|東京都|元禄8年11月2日|幕府が市中に日傭座を4か所設置し、日傭人足に鑑札を月22文で渡す

1695年12月17日-09:00|日本|岩手県盛岡市|元禄8年11月12日|盛岡藩、夫・舅ら4人を毒殺した女房を火刑に処する

1695年12月18日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「大公副官トクト・シエ・ト・ウバウ・イェルダ・フェ・レット」(~1696年1月)

1695年12月18日-09:00|日本|東京都中野区|元禄8年11月13日|武蔵中野に犬小屋を設ける/犬小屋の地垣内16万坪、落成/江戸中の犬を収容開始、たちまち10万匹

1695年12月22日-09:00|日本| ||元禄8年11月17日|幕府：捨て子・捨て犬の禁止を命じる

1695年12月30日 00:00|イギリス| ||<死去>サミュエル・モラント、イングランドの外交官、スパイ、発明家、数学者(生年1625年)

1696年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<死去>アンボン島オランダ 総督「Nicolaas Schaghen」

1696年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ 総督代理「Cornelis Stull」(~1697年)

1696年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>ペンケレン副総督(マダガスカル総督に従属)「マシュー・Mildmay」(~1699年)

1696年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Salomon Le Sage」(~1700年死去)

1696年-07:00|カンボジア| ||<死去>カンボジア王国国王「オウテイ1世」

1696年-07:00|カンボジア| ||<即位>カンボジア王国国王「チェッタ4世」(2回目~1699年)

1696年-07:00|ラオス| ||<即位>ランサン王「ナン・タート」(~1698年死去)

1696年-05:45|ネーデルラント| ||<死去>バクタラ王「ジャスマティジ・タミラマ」

1696年-05:45|ネーデルラント| ||<即位>バクタラ王「ジャヤプ・パティンドラマ」(~1722年4月没)

1696年-05:30|インド| ||<就任>バシャル国統治者(ラ)「ビジェイ・シン」(~1708年)

1696年-05:30|インド| ||<就任>ブンディ国統治者(オ・ラジャ)「フド・シン」(~1730年)

1696年-05:30|インド| ||<就任>ラカール国統治者(タル・サヒブ)「コハル・シン・シシマルジ」(~1714年)

1696年-05:00|パキスタン| ||<即位>カタル朝国王「Shah Muhammad Shafi」

1696年-05:00|パキスタン| ||<即位>カルハ朝君主「Mian Nasir Muhammad Kalhoro」(~1701年)

1696年-04:00|ジョージア| ||<即位>イメリ王「ジョージ5世」(~1698年)

1696年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「ハサン・バシャ」(1回目~1698年)

1696年-03:00|ケニア/ポルトガル/オマーン| ||オマーンがモンバサを攻略し、ポルトガルを撃退

1696年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドリア(総督)「Cerkes Osman Pasha」(~同年)⇒「Kanicali Osman」(~同年)

1696年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silihdar Buuqli Mustafa Pasha」(~1697年)

1696年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・テ・クマ、モモタバ 総司令官「フランシスコ・ホセ・ダ・コスタ」⇒「ルイス・デ・メロ・サンパ・イ」(~1699年)

1696年-02:00|フィンランド| ||フィンランドで飢餓、人口の4分の1から3分の1が餓死

1696年-01:00|アルバニア/イタリア| ||サレノ島をヴェネツィアが統治(イオニア諸島の一部)(~1797年)

1696年-01:00|フランス/ドイツ| ||フランス軍がハイデルベルグ城を破壊

1696年 00:00|イギリス| ||<死去>4代ダラウジー伯「ジョージ・ラムゼイ」

1696年 00:00|イギリス| ||<死去>4代ロクスバラ伯「ロバート・カー」

1696年 00:00|カリヤ諸島| ||<死去>ランサローテ島領主「Juan Francisco」

1696年 00:00|イギリス| ||<就任>5代ダラウジー伯「ウィリアム・ラムゼイ」(~1710年死去)

1696年 00:00|イギリス| ||<就任>5代ロクスバラ伯「ジョージ・カー」(⇒17070425初代ロクスバラ公~1710227死去)

1696年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ司令官「ホセ・ビニョ・ダ・カマ」(2回目~1699年)

1696年 00:00|カリヤ諸島| ||<就任>ランサローテ島領主「Manuel」⇒「Lionor de Estrada」(~17180922死去)

1696年 03:00|ブラジル| ||ミナス・ジェライス(何でも鉱山という意味)州のポルバ・ガト(現サウ)で砂金発見/ゴールド・ラッシュ到来

1696年 04:00|ケレタ/フランス| ||<就任>ケレタ 総督「ベレアト・サンテヤン」(~1698年4月)

1696年 04:00|BES諸島/イギリス| ||<就任>サバ島副司令官「Adriaan Runnels, Jr.」(~1698年)

1696年 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ大審問院総督・長官「カニージャス伯爵ペドロ・ロイス・エンリケス・デ・グスマン」(1回目~1699年)

1696年 06:00|ニカラガ/スペイン| ||<就任>ニカラガ 総督「ペドロ・ジョゼ・ロモリス・デ・コルメリス・イ・カルコ」(~1705年)

1696年1月-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「アンティオコス・カンテミル」(1回目~17000914)

1696年1月-01:00|スペイン/メキシコ| ||ペテン州ツァル湖畔ツァルのツァル族、ウツアのひきいるスペイン軍により制圧

1696年1月 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| ||セントクロアは放棄された(~1735年)

1696年1月3日 00:00|イギリス| ||<就任>初代オークニー伯「ジョージ・ダグラス=ハミルトン」(~17370129死去)

1696年1月3日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|元禄8年11月29日|<交替>肥前佐賀藩32万石「鍋島光茂」隠居⇒長男「鍋島綱茂」が継ぐ(⇒宝永3年12月2日(17070105)、死去)

1696年1月3日-09:00|日本|千葉県野田市|元禄8年11月29日|<交替>下総関宿藩73000石「牧野成貞」隠居⇒養子「牧野成春」が継ぐ(⇒宝永2(1705)年、10月晦日、三河吉田藩8万石に加増移封)

1696年1月5日-09:00|日本|岩手県盛岡市|元禄8年冬|陸奥盛岡藩92000石(藩主：南部行信)、南部大飢饉、餓死者4万余を出す

1696年1月8日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<死去>サントメ植民地総督「Jose Pereira Sodre」

1696年1月8日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Joao da Costa Matos + Chamber Se

1700迄 (2651件)

nate) (~1697. 10)

1696年1月29日-04:00|ロシア| |||<死去>ロシア皇帝「イワン5世」(29歳、1666年8月27日生)

1696年1月30日-09:00|日本|東京都中央区|元禄8年12月26日|江戸数寄屋橋門外から出火、築地木挽町まで焼ける
/山村座、森田座焼失

1696年1月31日-01:00|ベルギー| |||<就任>ブイヨン公「エマニュエル・テオドール」(~17300516没)

1696年2月-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ジャ「スカルファ・ルド・ラ・シン」(~1714年没)

1696年2月3日-09:00|日本|青森県|元禄9年1月|津軽藩領で伝染病が流行し、数万人の死者を出す

1696年2月27日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王代行「ファン・デ・オルガ・イ・モンタネス」(1回目~12. 13)

1696年2月27日-09:00|日本|東京都中央区|元禄9年1月25日|江戸鞆町から出火、大火になる

1696年3月 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>セネガル会社セネガル局長・司令官代行「ジャン・ブルギニョン」(~1697年)

1696年3月1日-09:00|日本|鳥取県|元禄9年1月28日|幕府が日本人の竹島出漁を禁止

1696年3月3日-08:00|中国/モンゴル| ||清・康熙35年2月|康熙帝が清軍とハルハ部を率いてジュンガル部のガルトンを征討

1696年3月5日-09:00|日本|大阪府|元禄9年2月2日|幕府が堺奉行を廃止し大坂町奉行支配とする

1696年3月5日-09:00|日本|京都府京都市|元禄9年2月2日|幕府が伏見奉行を廃止し京都町奉行支配とする

1696年3月7日-01:00|イタリヤ| |||<即位>トレント司教公「Johann Michael Graf von Spaur」(~17250422)

1696年3月11日-09:00|日本|福岡県久留米市|元禄9年2月8日|<久留米元禄9年の大火「白石火事」>庄島立丁の観音
寺角に住む塗師の白石仁右衛門宅から出火、田町から池町、細工町と延焼、さらに炎は城下の中心、米屋町、鍛冶
屋町、魚屋町、呉服町、両替町をつぎつぎと灰にした/炎は東に伸びて、片原町より長町十丁目まで、中町筋紺屋
町より三本松町、原古賀町、西福寺門前までをひとなめにした/また、櫛原侍小路より十間屋敷侍小路を残らず
焼き、寺町も全焼、鉄砲小路、櫛原村の入り口まで残らず焼き尽くした/城内でも炎は、狩塚御門と橋を焼き、余
吾、石野、渡瀬殿各屋敷より東侍屋敷へと延焼して残らず焼いた/飛び火で東櫛原では45軒が焼失/今町と魚屋
町の半分、原古賀町三丁目から西は焼け残ったが、後はすべて全焼/被害は、武家屋敷、町家、在家信者の家、寺社
とも3700軒余が焼失

1696年3月17日-02:00|ラトビア/ポーランド| |||<就任>ポーランド・リウオニア総督「オットー・フレデリック・フェルクツァン」(~17051127
没)

1696年3月25日-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国フリースラント州総督「オリエ公ヨハン・ウィレム・フリーゾ」デ・イーツ侯ヘン
ドリッカ・カミール2世の子(~17110714死去23歳)

1696年3月25日-09:00|日本|静岡県静岡市|元禄9年2月22日|清水奉行職を廃し駿府町奉行に統合

1696年3月27日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「カプリエル・サンチェス・デ・ベロス
ペ」(1回目~17000219)

1696年4月-05:30|インド| |||<就任>コタ国支配者(マハラ)「ラム・シン1世」(~17070618没)

1696年4月 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユースティウス島司令官「Gilles Pietersz」⇒「Johannes Salomonsz
」(~17000810)

1696年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ」「ジオー・アントニオ・ファットリ」

1696年4月19日-01:00|フランス/オランダ| |||オランダの大尉Hア・ウィック・クレシュ・デ・ヒレゴームによってサンボール島が発見され、ゼー
ウルフ・エラントと名付けられた

1696年4月19日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|元禄9年3月18日|<死去>大和高取藩20500石「植村家言」⇒甥「植
村家敬」が継ぐ(⇒享保16(1731)年8月21日、死去)

1696年4月20日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1696/4/10|イギリスで航海条例を集成

1696年4月21日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「アントニオ・ゴメス・メナ」(~16971111)

1696年4月29日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|元禄9年3月28日|<拝領>武蔵国金沢藩1万石「米倉昌尹」(⇒元
禄12(1699)年1月、下野皆川藩15000石へ加増移封)

1696年5月4日 00:00|イギリス| |||(英)旧鑄貨の流通禁止

1696年5月10日-09:00|日本|大阪府堺市|元禄9年4月9日|<死去改易>和泉陶器藩1万石「小出重興」16歳(⇒8月12日
、無嗣改易)

1696年5月14日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ 領スリナム(オランダ 西インド 会社) 総督「ハウルス・ファン・デル・グーイーン」(~17
070302)

1696年5月18日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ボイル男爵・フレシントン子爵マロー・ボイル/ウィリア
ム・ウォルズリー」(~6. 2)

1696年5月23日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|元禄9年4月23日|<鹿児島元禄9年の大火>夜中の子の刻(午前0時
ごろ)、上浜町にある上和泉屋町の助右衛門の貸家から出火、侍屋敷54か所、家数にして854軒、町屋敷213か所、
家数にして550軒、土蔵10棟、御堂3か所が焼失/崎山八兵衛方の下人(雇用人)万七の放火とわかった

1696年5月31日-08:00|中国/モンゴル| ||清・康熙35年5月|康熙帝率いる清軍がチャオモトでガルトン・ハン軍を破る

1696年6月2日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ボウイス侯「ウィリアム・ハーバート」

1696年6月2日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ボウイス侯「ウィリアム・ハーバート」(~17451022死去)

1696年6月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「チャールズ・ポーター卿」(3回目~12. 8)

1696年6月9日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールドコースト総裁「ヤン・ヴァン・セブ・ンボイセン」(~17020516)

1696年6月17日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大公「アレクサンドラス・ボグダス・サビエガ」大元帥」(~16970915)

1696年6月17日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<死去>ポーランド・リトアニア共和国王「ヤン3世シギスムント」(66歳、生年1629年)

1696年6月17日-09:00|日本|岡山県津山市|元禄9年5月18日|<死去改易>美作津山新田藩2万石「森長武」嗣子病弱、
宋家美作津山藩に戻す

1696年6月25日-09:00|日本|長野県飯山市|元禄9年5月26日|<死去>信濃飯山藩4万石「松平忠俱」大坂で病死⇒孫「

1700迄 (2651件)

松平忠喬が継ぐ(⇒宝永3(1706)年1月28日、遠江掛川藩4万石に移封)
1696年6月28日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|元禄9年5月29日|<死去>河内狭山藩11000石「北条氏治」⇒弟「北条氏朝」が継ぐ(⇒享保20(1735)年9月30日、死去)
1696年6月29日-08:00|中国| |||青海各部がジンガルより離反
1696年7月25日-09:00|日本|福島県いわき市|元禄9年6月27日|磐城小名浜で地震/津波などにより2450人が死亡
1696年7月26日-10:00|グアム/北マリア諸島/スペイン| |||<就任>マリア諸島暫定知事「Jose Madrazo」(~17000915)
1696年7月27日 00:00|イギリス| |||<就任>トリバートン伯「ジョン・マレー」(⇒17030506兼2代アッル侯・4代トリバートン伯・3代アッル伯⇒17030630初代アッル公・初代トリバートン侯・初代ストラステイ=ストラステール伯~17241111死去)
1696年7月28日-04:00|ロシア/トルコ| |||ロシア暦7月18日|ロシアの新艦隊が、オスマン帝国領のアゾフ海を征服
1696年7月29日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「マウントラス伯爵チャールズ・カート」(~16970206)、「トモダ 伯爵ハンリー・ハミルトン・ムーア」(~17010404)
1696年8月1日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島司令官「Joseph Bastide」(~16980606)
1696年8月1日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|元禄9年7月4日|<高直し>伊予宇和島藩72000石「伊達宗賛」新田分を加え10万石格(⇒宝永8年2月18日(17110405)死去)
1696年8月1日-09:00|日本|福岡県柳川市|元禄9年7月4日|<交替>筑後柳河藩109200石「立花鑑虎」隠居⇒次男「立花鑑任」が継ぐ(⇒翌年6月14日、叔父「立花貞晟」に5000石分与し104200石)
1696年8月4日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウ=ウ=国王「ナウラ」(~18日)
1696年8月7日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<死去>イギリス領バルバドス元帥兼総督「Francis Russell」
1696年8月7日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「Francis Bond」(~16980903)
1696年8月7日-09:00|日本| ||元禄9年7月9日|幕府が元の字金銀による慶長金銀との交換促進のため、新鋳後の慶長金銀通用停止を予告する/また私鑄銭を禁じる
1696年8月10日-09:00|日本|山口県岩国市|元禄9年7月13日|<死去>周防岩国藩6万石「吉川広紀」⇒8月26日、長男「吉川広達」が継ぐ(⇒正徳5(1715)年6月19日、死去)
1696年8月14日 06:00|アメリカ/フランス| |||<ベ・マキッドの戦い>北米ウィリアム王戦争でフランスとインディアン軍がニューイングランド軍に勝利
1696年8月18日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウ=ウ=国王「マビヤ」篡奪者(~16970513)
1696年9月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳尚運」(~16991207)
1696年9月15日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド王「アウグスタス2世モツィシ」ザ・ケン選帝侯(~17060901退位~17330201死去62歳)
1696年9月19日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Thomas-Claude Renard de Fuchsamberg」(~1700年死去)
1696年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョ・アントニオ・ベッルツィ」「オットー・オレオナルディ」
1696年10月14日-01:00|チュニジア| |||<死去>ムラート朝ベイ「ムハンマド2世アルムラディ」
1696年10月14日-01:00|チュニジア| |||<即位>ムラート朝ベイ「ラマタン2世」(~1699.3死去)
1696年10月29日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領サスカワナイ植民地総督「ジョセフ・ブレイク」(~17000907死去)
1696年10月31日-09:00|日本| ||元禄9年10月6日|幕府が鳥見役を廃止
1696年11月1日-09:00|日本| ||元禄9年10月7日|幕府が傷ついた鳥の治療を定める(生類憐みの令)
1696年11月16日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|元禄9年10月22日|<死去改易>但馬出石藩44000石「小出英及」無嗣断絶
1696年11月25日-09:00|日本|東京都中央区|元禄9年11月|『子子子子子』《女鳴神》初演、荻野澤之丞、中村座
1696年11月25日-09:00|日本|宮城県石巻市|元禄9年11月1日|陸前石巻、北上川の河口に高浪が押し寄せ、そこを港として停泊していた船300余隻が大波をかぶり乗船していた船頭や水主(船員)が溺死したばかりでなく、浜も波の下に沈んだ
1696年11月30日-09:00|日本|福島県いわき市|元禄9年11月6日|<死去>陸奥泉藩2万石「内藤政親」病死⇒三男「内藤政森」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年7月4日、上野安中藩に移封)
1696年12月4日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ファン・ロドリゲス・コタ」(~17020627)
1696年12月4日-09:00|日本|京都府京都市|元禄9年11月10日|<死去>109代明正天皇(74歳、生年1624年)
1696年12月10日-09:00|日本|千葉県勝浦市|元禄9年11月16日|<死去>上総勝浦藩11000石「植村忠朝」⇒翌年2月10日、嫡男「植村正朝」が継ぐ(弟「忠元」に1千石を分知し1万石⇒享保14(1729)年10月27日、死去)
1696年12月13日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「モクテマとトゥーラ伯爵セルカメント・イ・パリアダレス」(~17011104)
1696年12月13日-09:00|日本|愛媛県上浮穴郡久万高原町|元禄9年11月19日|松山藩領浮穴郡久万町、大火で190軒焼失
1697年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島ラダ総督「Willem van Wijngaarden」(~1701年)
1697年-08:00|インドネシア| |||<即位>チルボン・ガレハナ君主「Pangeran Arya Cirebon, Kamaruddin」(~1723年)
1697年-08:00|インドネシア| |||<即位>チルボン・クスパハン君主「Sultan Sepuh2世 Jamaluddin」(~1723年)
1697年-08:00|インドネシア| |||<即位>プランバガン君主「Pangeran Putra (Danureja)」(~1736年)
1697年-05:30|インド| |||<建国>マリア国
1697年-05:30|インド| |||<就任>カンガラ国ラジャ「アラム・チャンドラ2世」(~1700年没)
1697年-05:30|インド| |||<就任>シルム国ラジャ「マトニー・プーラカシュ(マッ・プーラカシュ)」(~1703年没)
1697年-05:30|インド| |||<就任>シロヒ国統治者(ラオ)「チャタル・シンク」(~1705年没)
1697年-05:30|インド| |||<就任>ポール国統治者(パント・サフ)「ジャンカル・ナヤン」建国(~1707年没)

1700迄 (2651件)

1697年-05:30|インド| |||<就任>マニッポール国ラジャ「ヒンバール・チャロンハ」(~1709年没)
1697年-05:30|インド| |||<就任>ラージガル国支配者(ラウト)「アム・シン」(~1740年)
1697年-05:00|パキスタン| |||<就任>カッタ国カン「サマダー・カーン」(~1714年)
1697年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァン国第19代ハン「ウアリ」(~1698年)
1697年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Morali Hasan Pasha」(~同年)
1697年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Ahmad Pasha Hacigirai」(~1698年)
1697年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督代行「ケシ・ハサン・パシャ」(~1698年)
1697年-02:00|レバノン| |||シハブ家のバシル・フサインがレバノンの首領に選ばれる
1697年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||マニをヴェネツィアが占領(~1715年)
1697年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Luis Francisco de la Cerda」(~17110126死去)
1697年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファドゥーツ執行官「ヨハン・フランツ チェグラー」(~1699年)
1697年-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||<就任>フランス領ルクセンブルグ総督「ロクマリア侯ルイ・フランソワ・デュ・パルク」(~同年)
1697年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「サリ・アフメト・パシャ」(~1698年)
1697年-01:00|ドイツ| |||<昇格>シュヴァルツブルク＝ルートルシュタット伯「アルブレヒト・アントン」⇒シュヴァルツブルク＝ルートルシュタット侯(~17101215死去)
1697年-01:00|フランス/ハイチ| |||ハイチはフランスの領有となり、フランスの重要な植民地となった
1697年-01:00|フランス/コロンビア| |||フランス海軍のルイ・ド・ジャン提督、大型船をふくむ20隻の艦隊でカトゥヘを襲撃。サント・ミンゴ総督のデューカスも海賊650名を率い参加
1697年-01:00|スペイン/グアテマラ| |||ユカタン南部のペテン・イツァル湖畔のタヤル(現フローレス)、マルティン・ウルス・イ・アリスメンディの率いるスペイン軍により制圧
1697年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Stephen Poirier大佐」(~1707年)
1697年 00:00|セネガル| |||<就任>ケール統治者(タンメル)「ラウト・スカベ」(~1719年)
1697年 00:00|イギリス| |||<就任>コヴェントリー伯「トマス・コヴェントリー」(~16990715死去)
1697年 00:00|カナダ/ドイツ| |||<就任>ブランデンブルグ＝コールト＝コスト司令官「ヤン・ファン・ラール」(~1698年)
1697年 00:00|イギリス| |||ウィリアム・ダンピアが「新世界周航記」を刊
1697年 04:00|セントクリストファー・ネビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「ジェームス・ノートン」(~1701年)
1697年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督代理「Tomas Franco」(~1698年)
1697年 06:00|グアテマラ| |||グアテマラで大衆蜂起。武力により鎮圧される
1697年1月-01:00|スペイン/メキシコ| |||最後のマ族抵抗の地、ペテン州イツァル湖畔タヤルのイツァル族、ウルスのひきいるスペイン軍により制圧
1697年1月1日-09:00|日本|福島県会津若松市|元禄9年12月9日|<改姓>陸奥会津藩23万石「保科正容」松平姓を賜る⇒「松平正容」(⇒享保16年9月10日(17311010)、死去)⇒容貞、容頌、容住、容衆、容敬、容保が相続
1697年1月16日-09:00|日本|東京都台東区|元禄9年12月24日|下野佐野の小松原次郎右衛門、痴話喧嘩の果てに吉原の遊女八橋を惨殺/吉原百人斬りとして喧伝される
1697年1月23日-09:00|日本|群馬県高崎市|元禄10年|少林山達磨精舎創建(→少林山達磨寺)<黄檗宗>
1697年1月23日-09:00|日本|東京都中央区|元禄10年1月|『参会名古屋』で『暫』『不破』『勘当』<浮世塚比翼稲妻>初演・【合作・中村明石清三郎、三升屋兵庫《市川團十郎の筆名》】初代市川團十郎、(十八番)
1697年2月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メラ総督「Domingo de Canal y Soldevila」(~1703年)
1697年2月4日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「アドリアント・ウィグナール」
1697年2月5日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「カスパー・カネロ」(~7日)
1697年2月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ゴールウェイ伯爵アンリ・ド・マス」(~17010404)
1697年2月6日-09:00|日本|東京都|元禄10年1月15日|<死去>歌人・俳人の北村湖春(50)
1697年2月7日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「モン・ペレロ」(~17200110没)
1697年2月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アルバーマル伯「アールト・ジョースト・ヴァン・ケッセル」(~17180530死去)
1697年2月14日-09:00|日本|京都府京都市|元禄10年1月23日|<死去>茶人・(4代)千宗室(76)裏千家の祖
1697年2月21日-08:00|中国/モンゴル| ||清・康熙36年2月|康熙帝が清軍を率いてジュンガルへ第3次遠征に出発
1697年2月22日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「ケリット・ド・ヒーレ」(~17021126死去)
1697年3月 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「ニコラス・ウェップ」(~1699年没)
1697年3月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督代行「ラント・卿ジャック・イグオン」(~5月)
1697年3月3日-09:00|日本|京都府宮津市|元禄10年2月11日|<移封>下野宇都宮藩9万石「奥平昌成」⇒丹後宮津藩9万石(~享保2(1717)年2月11日、豊前中津藩10万石へ加増移封)
1697年3月3日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元禄10年2月11日|<移封>丹後宮津藩99000石「阿部正邦」⇒下野宇都宮藩10万石(⇒宝永7(1710)年閏8月15日、備後福山藩10万石へ移封)
1697年3月3日-09:00|日本|兵庫県朝来市|元禄10年2月11日|<移封>武蔵国岩槻藩48000石「松平(藤井)忠周」⇒但馬国出石藩48000石(⇒宝永3(1706)年1月28日、信濃国上田藩58000石へ加増移封)
1697年3月7日-09:00|日本| ||元禄10年2月15日|幕府が鶯、烏の巢の撤去などについて再令し、また行方不明の犬の搜索をやめ、迷い犬の飼養を命じる(生類憐みの令)
1697年3月7日-09:00|日本|静岡県富士宮市|元禄10年2月15日|<再建>重須本門寺本堂
1697年3月10日-04:00|ロシア| |||<即位>ロシア摂政「ケンヤース・フォートル・ユリエヴィチ・ロモダノフスキー」(~16980824)
1697年3月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>ニコラス・ブルンス、ドイツの作曲家(生年1665年)
1697年3月26日-03:00|イラク/イラン| |||<就任>パースのペルシャ総督「サイード・ファジャラ」⇒「アリ・マルダニ・カーン」(~1699年)
1697年3月26日-03:00|イラク/イラン| |||ペルシャによるパース占領(~17010309)

1700迄 (2651件)

1697年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バティスト・トシーニ」「マリノ・ベニ」
1697年4月2日-09:00|日本|広島県山県郡安芸太田町|元禄10年閏2月11日|山県郡加計市町全焼
1697年4月4日-08:00|中国| ||清・康熙36年3月13日|<死去>ジュンガル・ホンタイジ「カルダン」清がジュンガル部と外モンゴルを服属させる
1697年4月4日-08:00|中国| ||清・康熙36年3月13日|<即位>ジュンガル・ホンタイジ「ツェワン・ラブダン」(~1727年、死去)
1697年4月5日-01:00|スウェーデン/トイ/フィンランド| |||<死去>スウェーデン王・フィンランド公「カル11世」兼ツァー・アイフルリッケン公「カル1世」41歳(誕生16551104)
1697年4月5日-01:00|スウェーデン/トイ/フィンランド| |||<即位>スウェーデン王・フィンランド公「カル12世」兼ツァー・アイフルリッケン公「カル2世」(~17181130死去36歳)
1697年4月6日-01:00|オランダ| |||<就任>メーゲン伯「ヨハン・ヴィルヘルム・フ・ファルツグ・ラフ・ハイ・ライン」フ・ファルツ選帝侯(~17160608没)
1697年4月14日-01:00|フランス| |||<死去>仏の詩人ラ・フォンテーヌ「寓話詩」
1697年4月14日 00:00|イギリス| |||<就任>ラグラン伯「ジョン・ハミルトン」(⇒17390313兼3代セルカーク伯(先代の弟)~17441203死去)
1697年4月20日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マーチ伯「ウィリアム・ダークラス」(~1705年)
1697年4月27日-09:00|日本|京都府京都市|元禄10年3月7日|<死去>絵師・狩野永納
1697年5月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント島総督代行「コント・ド・ボワスラメ」(~6月)
1697年5月1日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国国庫財務実行主席弁務官「チャールズ・モンタギュー」(1期目~16991125)Whg
1697年5月2日-01:00|トイ| |||<死去>リッパ＝デ・モルト伯「ジーン・ハインリヒ」
1697年5月2日-01:00|トイ| |||<就任>リッパ＝デ・モルト伯「フリート・リヒ・アドルフ」(~17180718)
1697年5月7日 00:00|イギリス| |||<就任>初代オフォード伯「エドワード・ラッセル」(~17271126死去断絶)
1697年5月16日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムンガウー国王「カマンダット」篡奪者(~16980605)
1697年5月17日-09:00|日本|長野県飯田市|元禄10年3月27日|<死去>信濃飯田藩2万石「堀親常」⇒養子「堀親賢」が継ぐ(⇒正徳5年11月28日(17151223)、死去)
1697年5月30日-09:00|日本|福井県丹生郡越前町|元禄10年4月11日|<立藩>越前葛野藩3万石「徳川頼方」5代將軍徳川綱吉より拝領(後1万石加増され4万石⇒宝永2(1705)年10月6日、紀州藩を相続し廃藩)
1697年5月31日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ホルトン公爵チャールズ・ホーレット(1回目)」(~17010404)
1697年6月 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カナリア諸島総司令官「Pedro de Ponte Llerena del Hoyo y Calderon」(~1701年)
1697年6月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミシゴ総督「ジャン・バティスト・デュカス」(2回目~1699年)
1697年6月3日-01:00|ポーランド| |||<死去>オレシツァ公「シルフィウス2世フリート・リヒ」
1697年6月3日-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「クリスティアン・ウルリヒ1世」(~17040405死去)、「カル」(~1745年)
1697年6月3日-09:00|日本|福井県越前市|元禄10年4月15日|<立藩>越前高森藩3万石「徳川頼職」5代將軍徳川綱吉より拝領(⇒宝永2(1705)年6月18日、紀伊和歌山藩を相続し幕府へ返領)
1697年6月7日-09:00|日本|京都府京都市|元禄10年4月19日|<就任>京都所司代「松平信庸」(⇒1714(正徳4年9月6日))
1697年6月7日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|元禄10年4月19日|<加増移封>三河吉田藩4万石「小笠原長重」⇒武蔵岩槻藩5万石(⇒宝永2(1705)年8月27日、1万石加増され6万石)
1697年6月7日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄10年4月19日|<就任>老中「小笠原長重」(~宝永2年8月27日))
1697年6月19日-09:00|日本|東京都中央区|元禄10年5月|「竹抜き五郎」<兵根元曾我>初演[作・三升屋兵庫]五郎、成田不動明王・初代市川團十郎、通力丸・市川九蔵(初舞台)中村座
1697年6月19日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|元禄10年5月1日|火事により大坂道頓堀南側芝居小屋焼失
1697年6月30日 03:00|ブラジル| |||モリス・ナバロの部隊がセルタに侵入、ジャグアリベのジャントウイム王捕獲を試みる
1697年7月2日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Pedro Rodriguez Cubero」(~1703年)
1697年7月2日-09:00|日本|茨城県笠間市|元禄10年5月14日|<死去>常陸宍戸藩1万石「松平頼雄」68歳⇒甥「松平頼道」が継ぐ(⇒享保6(1721)年6月3日、65歳で死去)
1697年7月6日-09:00|日本|兵庫県三田市|元禄10年5月18日|<死去>摂津三田藩36000石「九鬼副隆」⇒7月22日、養子「九鬼隆久」が継ぐ(⇒享保2(1717)年4月16日、隠居)
1697年7月19日-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ダニエル1世」(~17350104死去)
1697年7月27日-09:00|日本|愛知県豊橋市|元禄10年6月10日|<移封>丹波亀山藩5万石「久世重之」⇒三河吉田藩5万石(⇒宝永2(1705)年10月晦日、下総関宿藩に再封)
1697年7月27日-09:00|日本|京都府亀岡市|元禄10年6月10日|<移封>美濃郡上藩47000石「井上正岑」⇒丹波亀山藩47000石(⇒元禄15(1702)年9月、常陸下館藩5万石へ加増移封)
1697年7月28日-09:00|日本|岐阜県郡上市|元禄10年6月11日|<移封>出羽上山藩38000石「金森頼時」⇒美濃郡上藩38900石(⇒元文元年5月23日(17360701)、死去)
1697年7月30日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄10年6月13日|<就任>大老「井伊直該」(~元禄13年3月2日)
1697年7月31日-09:00|日本|福岡県柳川市|元禄10年6月14日|<分与>筑後柳河藩109200石「立花鑑任」、叔父「立花貞晟」に5000石分与⇒104200石(⇒享保6年5月13日(17210607)死去)
1697年8月 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>セネガル会社セネガル局長・司令官「アントレ・ブリエ」(~17020412)
1697年8月1日-09:00|日本|山形県米沢市|元禄10年6月15日|米沢藩藩主上杉綱憲が藩校(後の「興譲館」)創立

1700迄 (2651件)

1697年8月6日-09:00|日本|岡山県津山市|元禄10年6月20日|<死去>美作津山藩18万6500石「森長成」⇒養子「森衆利」が継ぐ(⇒8月2日、改易)

1697年8月11日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ツィートデール侯「ジョン・ヘイ」

1697年8月11日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ツィートデール侯「ジョン・ヘイ」(~17130420死去)

1697年8月16日-09:00|日本| ||元禄10年6月30日|幕府が新金の二朱判を鑄造・発行

1697年8月17日-09:00|日本| ||元禄10年7月|<刊行>宮崎安貞「農業全書」江戸と京都で

1697年8月17日-09:00|日本|東京都中央区|元禄10年7月|「嫩」初演・中村座、初代市川團十郎(十八番)「寿曾我対面」初演[合作・中村明石清三郎、三升屋兵庫(初代市川團十郎)]

1697年8月17日-09:00|日本|埼玉県川越市|元禄10年7月1日|<加増>武蔵国川越藩72000石「柳沢吉保」+2万石⇒92000石(⇒元禄15(1702)年3月9日、2万石加増され112000石)

1697年8月25日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄10年7月9日|将軍家の祈祷寺院である護持院五智堂・護国寺観音堂が落成

1697年9月-01:00|フランス/スペイン/ハイチ| ||リウウィック/ライスウェイク条約締結。スペインはエスパニョラ島西半をフランスに割譲。サン・ドマング(ハイチ)となる

1697年9月1日-01:00|イタリヤ| ||ベネチア、アントニス海軍作戦成功

1697年9月5日-09:00|日本|福岡県久留米市|元禄10年7月20日|<領土返還>筑後久留米藩20万石「有馬頼元」+旧松崎藩1万石⇒21万石(⇒宝永2(1705)年7月20日、死去)

1697年9月11日-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| ||サファウィゲン(34)率いるオーストリア軍が、ゼンタの戦いで Mustafa 2世(33)のオスマン軍を破る

1697年9月11日-09:00|日本| ||元禄10年7月26日|「御蔵米地方直し令」(500俵以上の蔵米取の旗本を知行取へと変更)発布(元禄地方直)

1697年9月15日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア大公「アウグスタス2世」(~17040216)

1697年9月16日-09:00|日本|岡山県津山市|元禄10年8月2日|<改易>美作津山藩18万6500石「森衆利」江戸に出府途中、伊勢で発狂

1697年9月16日-09:00|日本|岡山県新見市|元禄10年8月2日|<移封>美作宮川藩18700石「関長治」廃藩⇒備中新見藩18000石(⇒享保10(1725)年3月5日、隠居)

1697年9月17日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「アムカザート・ケフ・リュリュ・ヒュセイ・パシャ」(~17020904)

1697年9月19日-01:00|イタリヤ| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランセスコ・マリア・サリ」(~16990526在任中死去)

1697年9月20日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| ||<即位>ルクセンブルグ公「カルロス4世」(2回目~17001101没)

1697年9月20日-01:00|フランス/ドイツ/オランダ/スペイン/スウェーデン/イギリス| ||オランダのレイスウェイクでフランスとアウクスブルグ同盟がライプツイク条約締結、大同盟戦争(アウクスブルグ同盟戦争、ファルツ継承戦争)終結/スペインはフランスに占領されたカタルニャとルクセンブルグなどの地域を回復し長くフランス領だったロレーヌ公国は一旦神聖ローマ帝国の封土としてロレーヌ公レオポルトに返還/ルイ14世はウィリアム3世をイングランドの王と認めた/スウェーデンはプロファルツ家の継承地プロファルツツグ・アイツリッケン公領をフランスより主権奪回(ツグ・アイツリッケン、帝国諸侯領)/プロファルツ選帝侯はフィリップ・ヴィルヘルムの息子ヨハン・ヴィルヘルムが継承

1697年9月20日-01:00|フランス/スペイン/インド/カナダ/ハイチ| ||フランスはストラズブルとサン・ドマング(ハイチ)を獲得し南インドのポンディシェリとカナダのノバスコシアを回復

1697年9月23日-09:00|日本|三重県津市|元禄10年8月9日|<死去>伊勢久居藩5万石「藤堂高通」⇒10月5日、養子「藤堂高堅」が継ぐ(自領3000石を合わせ53000石⇒正徳5(1715)年6月14日、死去)

1697年9月29日-09:00|日本|宮城県仙台市|元禄10年8月15日|<竣工>仙台藩:元禄潜穴(品井沼の水を松島湾に排水し鳴瀬川の逆水を防いで水害をなくし新たに新田を開くことが工事の目的)

1697年10月 00:00|サントメ・プリンセペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Manuel Antonio Pinheiro da Camara」(~1702. 2)

1697年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」「メルキオール・ハンマース」

1697年10月7日-09:00|日本|岡山県津山市|元禄10年8月23日|<死去>備後福山藩10万1000石「水野勝種」⇒10月22日、七男「水野勝岑」が継ぐ(⇒翌年5月5日、死去、無嗣改易)

1697年10月12日-09:00|日本|徳島県阿南市|元禄10年8月28日|<死去>平島公方「平島義景」死去⇒嫡男「平島義辰」が継ぐ(~享保13年5月12日(17280619)死去)

1697年10月13日 00:00|イギリス| ||<就任>初代ジャージ-伯「エドワード・ヴァリアース」(~17110825死去)

1697年10月29日-09:00|日本|山形県上山市|元禄10年9月15日|<移封>備中庭瀬藩3万石「松平(藤井)信通」⇒出羽上山藩3万石(⇒享保7(1722)年9月22日、死去)

1697年10月30日-01:00|オーストリア/フランス| ||フランスがオーストリアとの和平条約を結び、ファルツ戦争が終結

1697年11月-05:30|インド| ||<就任>コチン国統治者(マハラジャ・ガング・ダラ・コヴィラディ・カリカ)「ラマヴァルム5世」(~1701年没)

1697年11月9日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「リス・シーザー・デ・メネズ」(~17011205)

1697年11月11日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルデ 総督「商工会議所上院+ジョアン・コインブラ・ソレイロ」(~16980413)

1697年11月15日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| ||<就任>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官「オーテル伯ジャン・フレデリック」(~1713年)

1697年11月25日-09:00|日本| ||元禄10年10月12日|関東で地震/鎌倉八幡鳥居など多数倒壊

1697年11月30日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<死去>イギリス領セントヘレナ総督「リチャード・キリング」

1697年11月30日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ステファン・ホワレ」(~17070908死去)

1697年11月30日 05:00|日本|東京都|元禄10年10月17日|<江戸大塚-麴町元禄10年の大火>羊の刻(14時ごろ)大塚

1700迄 (2651件)

にある日蓮宗善心寺の門前から出火し小日向から筑土へと周辺の武家屋敷を次々と焼失、大塚町から安藤対馬守の下屋敷を残らず灰にし、その後炎は茗荷谷へと延び、次々と近隣の武家屋敷へと延焼/筑土八幡から牛込まで炎が延びたところ、麴町、番町あたりからまた出火し、田安、飯田町、代官町の武家屋敷及び周辺の町家、見附門とことごとく灰となり、芝麻布あたりで鎮火/被害は旗本屋敷363軒を含む侍屋敷825軒、与力13軒、同心38軒、寺29か所及び周辺の町家

1697年12月2日-09:00|日本|岡山県井原市|元禄10年10月19日|<再興>備中西江原藩2万石「森長継」森家改易に伴う隠居料(⇒翌年7月11日、死去)

1697年12月2日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|元禄10年10月19日|<移封>美作津山新田藩15000石「森長俊」⇒播磨三日月藩15000石(⇒正徳5(1715)年7月27日、隠居)

1697年12月8日-08:00|中国| ||清・康熙36年10月25日|<即位>ダライ・ラマ「6世ツァンヤン・ギヤツォ」(~17060627死去)

1697年12月13日-09:00|日本|京都府京都市|元禄10年11月|「江戸土産七化け」水木辰之助、京都萬太夫座/七変化の始まり

1698年-09:30|オーストラリア/ニュー・ラント | |||海賊出身のダン・ビ・アがオーストラリア・ニュー・ラント を探検航海

1698年-08:00|インドネシア | |||<即位>テリ・スルタン「Tuanku Panglima Paderap」(~1728年)

1698年-07:00|ラオス | |||<死去>ランサン王「ナン・タート」

1698年-07:00|ラオス/タイ | |||<即位>ランサン王「セティラス2世」(⇒1706年、ランサン王国分裂しヴィエンチャン王)

1698年-06:00|ブータン | |||<就任>ブータン精神的支配者・国家元首「クンガ・ギャルツェン」(~1712年)

1698年-05:30|インド | |||<国名変更>カタル国⇒ハルバガル国(新しい首都にちなんで)

1698年-05:30|インド/オランダ | |||<就任>オランダ領インド総督「デイルク・ケーマンス」(~1705年)

1698年-05:30|インド | |||<就任>カッチ国統治者(マハオ)「フラマルジ1世」(~1715年没)

1698年-05:30|インド | |||<就任>コラハ国統治者(サルケル)「カンボジ1世アングリア」建国(~17290704没)

1698年-05:30|インド | |||<就任>ムガル帝国ガミール総督「ファジール・カーン」(~1701年)

1698年-05:30|インド | |||<就任>モルイ国統治者(タル・サヒブ)「カンヨー・シンジ・ラジ」建国(~1733年没)

1698年-05:30|インド/デンマーク | |||<就任>ネマルスナゴール(ゴンドラバウ)、シャンデルナゴールの南東はデンマーク領土(~1718年9月/1714年12月~1718年12月放棄)

1698年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン | |||<即位>ヒヴァ・ハン国第20代ハン「シャー・ニヤーズ」(~1702年死去)

1698年-05:00|ウズベキスタン | |||<即位>ヒヴァ・ハン国ハン「Shah Niyoz Khan」(~1702年死去)

1698年-04:00|ジョージア | |||<復位>イメリティ王「アーチル」(~1699年)

1698年-04:00|ロシア | |||モスクワで銃兵隊の反乱がおこるが鎮圧される

1698年-03:00|イラク/トルコ | |||<就任>バグダット・ワリス「イスマイル・ハシヤ」(~1700年)

1698年-02:00|シリア/アラブ/トルコ | |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Eyuplu Hasan Pasha」(~同年)

1698年-02:00|エジプト/トルコ | |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「フィリ・フェイン・ハシヤ」(~1699年)

1698年-02:00|ラトヴィア | |||<就任>ケurlant・ゼムガレン公国摂政「フェルディナント」(~1709年11月;1701年8月よりダンツィヒ亡命)

1698年-02:00|シリア/アラブ/トルコ | |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Biykli Mehmed Pasha」(1期目~1699年)

1698年-01:00|ドイツ | |||<死去>ハノーファー選帝侯「エルスト」

1698年-01:00|スペイン | |||<就任>アストリアス公(スペイン国王の推定相続人)「ホセ・フェルナンド」カルロス2世の姉マルガリータ・テレザの孫(~16990206)

1698年-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン領セウタ総督「Francisco del Castillo Fajardo」(~1702年)

1698年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ | |||<就任>ボスニア総督「タルバナン・ガジ・ムスタファ・ハシヤ」⇒「コセ・ハリル・ハシヤ」(~1702年)

1698年 00:00|セカール | |||<就任>サアジ統治者(ファンカマ)「シーガ・ド・ウア・ジヤロ」(~1725年)

1698年 00:00|カナダ/ドイツ | |||<就任>ブランデンブルグ・ゴールド=コスト司令官「オットー・スルメ」(~1699年)

1698年 00:00|イギリス/インド | |||イギリス東インド会社がムガル朝からカルカッタ等を購入

1698年 04:00|アンティグア・バグーダ/イギリス | |||<就任>アンティグア副総督「ジョン・イマーズ」(1698年まで代行~1715年)

1698年 04:00|BES諸島/イギリス | |||<就任>サバ島副司令官「James Hassell」(~1700年)

1698年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン | |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「ギル・コロソ・カタラン」(~1699年)

1698年 06:00|アメリカ/イギリス | |||<就任>コネチカット植民地総督「フィッツ・ジョン・ウインスロップ」(~17071127死去)

1698年 06:00|ホンジュラス/スペイン | |||<就任>コマヤグア県総督「アントニオ・デ・アヤラ」(~1702年)

1698年 06:00|アメリカ/スペイン | |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「フランシスコ・ケルボ・イ・バルデス」(~1702年)

1698年1月-05:30|インド | |||帝国軍はシェンを落とした。マラータ王ラーンジャーラムはデカンへと戻り、サターラーを王都とした

1698年1月12日-09:00|日本|長崎県長崎市|元禄10年12月|長崎会所が設けられる

1698年1月13日-09:00|日本 | ||元禄10年12月2日|<刊行>人見必大「本朝食鑑」

1698年1月15日 00:00|イギリス | |||<死去>初代バーリントン伯・第2代ヨーク伯「リチャード・ホイル」

1698年1月15日 00:00|イギリス | |||<就任>第2代バーリントン伯・第3代ヨーク伯「チャールズ・ホイル」(~17040209死去)

1698年1月22日-02:00|ラトヴィア | |||<死去>ケurlant・ゼムガレン公「フリードリヒ・ガミール・ケラー」

1698年1月22日-02:00|ラトヴィア | |||<就任>ケurlant・ゼムガレン公「フリードリヒ・ヴィルヘルム・ケラー」(~17110121死去/1701~1710年バロイト亡命)

1698年1月23日-01:00|ドイツ | |||<死去>カレンベルク侯「エルスト・アウグスト」

1698年1月23日-01:00|ドイツ | |||<就任>ハノーファー選帝侯「ゲオルク1世」エルスト・アウグストの息子(⇒1714年、連合王国の君主に推戴されてハノーヴァー朝を開き、ハノーヴァーは同君連合体制となる⇒1727年死去)兼カレンベルク侯「ゲオルク・ルートヴィヒ」(~17050828)

1700迄 (2651件)

1698年2月11日-09:00|日本|大阪府和泉市|元禄11年|<移封>武蔵国野本藩13500石「渡辺基綱」⇒和泉国大庭寺藩13500石(⇒享保12(1727)年4月18日、和泉国伯太藩13500石に陣屋移転)
1698年2月11日-08:00|中国| ||清・康熙37年|<即位>ハミ郡ハーン「ウハ・イト・ツァー」(~1709年、死去)
1698年2月11日-08:00|中国| ||清・康熙37年|クルは清(チン)帝国「アッハル」(中国人は「ハミ」と呼んだ)(~1757年)
1698年2月11日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正和19年|広南「グエン」氏、メコン河にいたるまでの「コチン」を併合
1698年2月11日-09:00|日本| ||元禄11年1月|洪川春海「天文瓊統」を著す
1698年2月11日-09:00|日本|京都府京都市|元禄11年1月|<初演>中村七三郎作「傾城浅間嶽」が布袋屋座で大当たり、120日間の長期興行となる
1698年2月24日-09:00|日本|岡山県津山市|元禄11年1月14日|<再興>美作津山藩10万石「松平長矩(宣富)」(⇒享保6(1721)年2月7日、死去)
1698年3月6日 00:00|イギリス| ||<死去>18代「フオード」伯・2代「リンジー」伯「ウィリアム・リンジー」
1698年3月6日 00:00|イギリス| ||<死去>「レスター」伯「フィリップ・シドニー」
1698年3月6日 00:00|イギリス| ||<就任>19代「フオード」伯・3代「リンジー」伯「ジョン・リンジー」(~17140104死去)
1698年3月6日 00:00|イギリス| ||<就任>「レスター」伯「ロバート・シドニー」(~17021101死去)
1698年3月12日-09:00|日本| ||元禄11年2月|幕府が小歌・流言・変事の出版を禁じる
1698年3月26日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄11年2月15日|<解任>老中「大久保忠朝」
1698年3月26日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄11年2月15日|幕府が大留守居職を創置
1698年3月31日 04:00|サン・バルテルミー/フランス| ||<就任>フランス領サン・バルテルミー島司令官「de la Hogue」(1日のみ)
1698年4月 04:00|「グレタ」/フランス| ||<就任>「グレタ」総督「デ・ラ・ホグ」(~17001219没)
1698年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「イノセント・ボネリ」「ロレンツォ・ジャンギ」
1698年4月7日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領東西ニュージャージー総督「ジェームズ・バース」(~1699. 11)
1698年4月13日 01:00|「カーホベルデ」/ホルトガル| ||<就任>「カーホベルデ」総督「アントニオ・サルガド」(~17020524)
1698年4月16日-09:00|日本|京都府宇治市|元禄11年3月6日|宇治大火。宇治郷町西端の茶師・酒田宗有家より出火、西風に煽られ16町(茶園10町)、600余/550戸焼亡。平等院楼門焼失
1698年4月17日 04:00|「バミューダ」/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地「バミューダ」総督代理「サミュエル・デイ」(~17010429)
1698年4月17日-09:00|日本|滋賀県大津市|元禄11年3月7日|<移封>下野佐野藩1万石「堀田正高」⇒近江堅田藩1万石(⇒享保7(1722)年5月9日、隠居)
1698年4月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元禄11年3月7日|<移封>上野吉井藩1万石「堀田正休」天領になる⇒近江宮川藩1万石(⇒正徳5(1715)年6月29日、隠居)
1698年4月17日-09:00|日本|滋賀県東近江市|元禄11年3月7日|<移封>常陸国内13000石「稲垣重定」⇒近江山上藩13000石(⇒宝永4(1707)年11月10日、死去)
1698年4月17日-09:00|日本|滋賀県野洲市|元禄11年3月7日|<移封>常陸・下野国内1万石「遠藤胤親」⇒近江三上藩1万石(⇒享保18(1733)年9月25日、隠居)
1698年4月27日 00:00|「ホルトガル」| ||<就任>「マテウス」総督「Antonio Jorge de Melo」(~17010612)
1698年5月 00:00|「ガーナ/デนมาร์ク」| ||<就任>「デนมาร์ク」領「ゴールト」=コースト長官「エリック・ティルマン」(~同年)
1698年5月4日-06:30|「ミャンマー」| ||<死去>「ビルマ王」「ミニエ・キウテン」
1698年5月4日-06:30|「ミャンマー」| ||<即位>「ビルマ王」「サイ・ミン」(~17140822没)
1698年5月8日 06:00|「コスタリカ/スペイン」| ||<就任>「コスタリカ」総督「フランシスコ・セラノ・デ・レイ・イ・セバデス」(~1704年6月)
1698年5月10日-09:00|日本|京都府綾部市|元禄11年4月1日|<死去>丹波綾部藩19500石「九鬼隆常」⇒養子「九鬼隆直」が継ぐ(⇒正徳3(1713)年1月30日、隠居)
1698年5月13日-09:00|日本|茨城県牛久市|元禄11年4月4日|<死去>常陸牛久藩1万石「山口重貞」59歳⇒養子「山口弘豊」が継ぐ(⇒享保16(1731)年8月27日、隠居)
1698年5月14日-09:00|日本| ||元禄11年4月5日|江戸麻布薬園できる
1698年5月16日 04:00|「プエルトリコ/スペイン」| ||<就任>「プエルトリコ」知事兼提督代理「Antonio de Robles Silva」(~1699年)
1698年5月19日 00:00|イギリス| ||<死去>「ウェストモランド」伯「グアイア・フェイン」
1698年5月19日 00:00|イギリス| ||<就任>「ウェストモランド」伯「トマス・フェイン」先代の弟(~17360604死去)
1698年5月27日-09:00|日本|長崎県島原市|元禄11年4月18日|<交替>肥前島原藩65900石「松平忠房」隠居⇒養子「松平忠雄」が継ぐ(⇒享保20(1735)年12月2日、隠居)
1698年5月31日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|元禄11年4月22日|<交替>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川光貞」隠居⇒長男「徳川綱教」が継ぐ(⇒宝永2(1705)年5月18日、死去)
1698年6月1日-09:00|日本|長崎県長崎市|元禄11年4月23日|<長崎元禄11年の大火>寅の刻(午前4時ごろ)、後興善町の乙名(町役人)末次七郎兵衛宅より出火/翌日申刻(16時ごろ)鎮火したが、22か町、2044戸が焼失、8人が死亡/寺2か所も焼失/消火のために107戸も取り壊した/そのほか土蔵33棟の内18棟も焼けた
1698年6月5日-06:30|「ミャンマー」| ||<即位>「ムラウカウ」国王「ナラ・デ・ハ・ティ1世」(~17000617)
1698年6月8日-09:00|日本| ||元禄11年5月|<刊行>松尾芭蕉の句集「続猿蓑」
1698年6月10日 00:00|「ガーナ/デนมาร์ク」| ||<就任>「デนมาร์ク」領「ゴールト」=コースト長官代行「エリック・オルセン・ライガート」(1回目~12. 23)
1698年6月12日-09:00|日本|広島県福山市|元禄11年5月5日|<死去改易>備後福山藩10万1千石「水野勝岑」無嗣
1698年6月19日-05:30|「インド」| ||<即位>「ヒンダール」国「ハラッパ・シン」(~17001215没)
1698年7月2日 00:00|イギリス| ||イギリスの発明家トマス・セイヴァリが鉱山から排水する特許を取得。欠点有り
1698年7月7日-09:00|日本|石川県七尾市|元禄11年5月30日|<立藩>能登西谷藩1万石「水野勝長」水野家の家名継

1700迄 (2651件)

続(⇒元禄13(1700)年10月28日、下総結城藩1万石に移封)

- 1698年7月9日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ハミルトン女公・クライステール侯・ラク伯・アラン・ケンブリッジ伯「アン・ハミルトン」
- 1698年7月9日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ハミルトン公・4代クライステール侯・3代ラク伯・4代アラン・ケンブリッジ伯「ジェームズ・ハミルトン」先代の息子(⇒17110910兼初代ブランドン公~17121115死去)
- 1698年7月10日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|元禄11年6月3日|<死去>儒学者・佐々宗淳(58)
- 1698年7月19日 05:00|エカトル| |||エカトル・アンバト、地震、死者千
- 1698年7月20日 04:00|アンティグア・バプーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリブー諸島総司令官・総督代行「ウィリアム・バート」(~30日)
- 1698年7月30日 04:00|アンティグア・バプーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリブー諸島総司令官・総督代行「エドワード・フォックス」(~1700年末)
- 1698年8月2日-09:00|日本|福島県二本松市|元禄11年6月26日|<死去>陸奥二本松藩100700石「丹羽長次」⇒8月23日、弟「丹羽長之」が継ぐ(⇒元禄13年12月7日(17010115)死去)
- 1698年8月16日-09:00|日本|岡山県井原市|元禄11年6月26日|<死去>備中西江原藩2万石「森長継」⇒八男「森長直」が嗣ぐ(⇒宝永3(1706)年1月28日、播磨赤穂藩2万石へ移封)
- 1698年9月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ヴァリス「アリ・パシャ」(~17001021)
- 1698年9月2日-09:00|日本|大分県中津市|元禄11年7月28日|<改易>豊前中津藩8万石「小笠原長胤」不敬、豊前小倉に幽閉⇒弟「小笠原長円」が名跡を継ぎ豊前中津藩4万石再興(⇒正徳3(1713)年10月22日、死去)
- 1698年9月2日-09:00|日本|東京都|元禄11年7月28日|隅田川に永代橋がかかる
- 1698年9月3日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ラルフ・Grey」(~17011120)
- 1698年9月4日-09:00|日本| ||元禄11年8月|<刊行>西澤一風「新色五巻書」
- 1698年9月5日-09:00|日本|東京都台東区|元禄11年8月2日|江戸寛永寺根本中堂できる
- 1698年9月12日-09:00|日本|岡山県高梁市|元禄11年8月9日|<死去>備中松山藩65000石「安藤重博」59歳⇒長男「安藤信友」が嗣ぐ(⇒宝永8(1711)年2月15日、美濃加納藩65000石へ移封)
- 1698年9月20日-05:30|イント・ホルガル| |||<就任>ホルガル領イント・総督「アントニオ・ルイス・ゴンサレス・ダ・カマラ・コウチニョ」(~17010917)
- 1698年9月21日-01:00|イタリヤ| |||ベネチア、メリーノ運河の海戦
- 1698年9月23日-05:30|イント| |||<就任>ウァイフ・ル国統治者(マハラ)「アマル・シン2世」(~17101210没)
- 1698年9月29日-09:00|日本|長崎県長崎市|元禄11年8月26日|長崎唐人屋敷番人吉浦宅助を首領とする大規模抜荷団を摘発/船番や奉行所下役もいて、唐船から多量の荷を盗んでいた/5人磔刑、5人獄門、3人斬
- 1698年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「オフロ・オフロ」「ジャンバ・ツェイスタ・チェッリ」
- 1698年10月4日-09:00|日本| ||元禄11年9月|<刊行>儒学者・貝原益軒「花譜」
- 1698年10月9日 01:00|日本|東京都中央区|元禄11年9月6日|<江戸元禄11年の大火「勅額火事」>巳の上刻(午前10時ごろ)数寄屋橋あたりの商家・生薬屋九兵衛から出火、大名小路の諸大名の邸宅を焼き尽くし、日本橋の中心街の通町筋、神田から上野へと延び、戌の刻(20時ごろ)には東叡山寛永寺へ延焼、4代将軍家綱の墓所・厳有院廟から同寺の本坊、僧院すべてを焼き、新築の根本中堂(本堂)は辛くも防火/子の刻(午前0時ごろ)になり、豪雨が降り鎮火/幕府はこれに懲り、復興事業として、寛永寺門前の町家を立ち退かせ「火除け地」として今に続く上野広小路を設けた
- 1698年10月11日 00:00|ヨーロッパ/スペイン| |||スペイン王カルロス2世(37)の王位継承をめぐる、ヨーロッパ列強がスペイン領土第1回分割条約に調印
- 1698年10月13日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄11年9月10日|<解任>老中「戸田忠政」
- 1698年10月17日-01:00|オランダ| |||<就任>ベルゲン・オブ・ズーム辺境伯「トールト・ヴァルニユ公フランソワ・エゴン」(~17100727没)
- 1698年10月18日-09:00|日本|山梨県甲州市|元禄11年9月15日|<死去改易>甲斐徳美藩1万石「伊丹勝守」発狂自殺/所領収公
- 1698年10月21日-09:00|日本|東京都|元禄11年9月18日|幕府、火事場目付を任命、定火消などの消火活動を監察
- 1698年10月28日-09:00|日本| ||元禄11年9月25日|幕府が獵師以外の獣類屠殺を禁じる
- 1698年11月3日 05:00|パナマ/イギリス| |||<設立>スコットランドがパナマ地峡ダリエン(ニュー・エンバラに改名)にニューカドニア植民地
- 1698年11月8日-09:00|日本|高知県高知市|元禄11年10月6日|<高知元禄11年の大火>午の刻(午後0時ごろ)、高知城下西北にある奉公人町一丁目から出火、火元の奉公人町から東方、城の郭内では大手門から中島町まで、町方は大鋸屋橋に至るまでの南北両町が全焼/炎は東農人町から新町に延びたが、日暮れになってようやく鎮火/被災数は町家1948戸、侍屋敷198戸、寺院15か所
- 1698年11月8日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄11年10月6日|<就任>老中「秋元喬朝」
- 1698年11月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン・アイゼナハ侯「John George2世」
- 1698年11月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン・アイゼナハ侯「John William」(~17290114死去)
- 1698年11月17日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「アタウッラー・ムハンマド・シャー2世」
- 1698年11月17日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「アブドゥッラー・アルムアッザム・シャー2世」(イブン・アルマルフム・スルタン・アタ・アッラー・ムハンマド・シャー) (~17060922死去)
- 1698年11月18日-09:00|日本|神奈川県小田原市|元禄11年10月16日|<交替>相模小田原藩11万3000石「大久保忠朝」隠居⇒「大久保忠増」が継ぐ(⇒正徳3(1713)年9月25日、死去)
- 1698年11月28日 06:00|カタ/フランス/アメリカ| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「ルイ・エクトール・カリエル」(~17030526死去)

1700迄 (2651件)

1698年12月-03:00|タンザニア/オマーン| |||オマーン(1784年から、マスカット・オマーン)がザンジバル(ザンジバル)併合
1698年12月-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「ハッサン2世チャウシュ」(~1700年)
1698年12月12日-09:00|日本|埼玉県久喜市|元禄11年11月11日|<交替>武蔵久喜藩12000石「米津政武」隠居⇒長男「米津政矩」が継ぐ(⇒元禄16(1703)年1月15日、死去)
1698年12月13日-03:00|ケニア/ポルトガル/オマーン| |||オマーン軍がモンパサのポルトガル要塞フォート・ジーズを陥落
1698年12月13日-09:00|日本| |||元禄11年11月12日|幕府が日蓮宗悲田派の僧8名を流罪にする
1698年12月14日-09:00|日本|京都府京都市東山区|元禄11年11月13日|円教坊日神、京九条良円寺を改め住本寺と号す
1698年12月16日-09:00|日本|大阪府堺市|元禄11年11月15日|幕府、再び堺奉行を設置
1698年12月16日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|元禄11年11月15日|幕府、再び伏見奉行を設置
1698年12月23日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官「ヨハン・トローン」(~17030831)
1699年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンケレン副総督(マダガスカル総督に従属)「ロバート・Broughton」(~1700年)
1699年-08:00|マレーシア| |||<即位>バンダハラ・セリ・マハラジャ「トゥン・マス・アム・ビン・トゥン・ハビブ・アブドゥル・マジド」(~17080128没)
1699年-08:00|フィリピン| |||<即位>マギンダナオ・スルタン「Maulana Kaharuddin Kudai」(~17020810死去)
1699年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「アン・エム」(~1701年)
1699年-07:00|タイ| |||タイのコーラートで農民反乱がおこる
1699年-05:30|インド| |||<就任>アウンド 国統治者(パンツ・プ・ラティニティ)「ハルシャム・トリムバク」建国(~17180527没)
1699年-05:30|インド| |||<就任>カチャリ国ラジャ「タムラト・ワジ・ナヤン」(~1708年)
1699年-05:30|インド| |||<就任>コッタ・サンガニ国統治者(タコル)「テジョ」(~1727年)
1699年-05:30|インド| |||<就任>ゴハド 国支配者(ラ)「ガイ・シン」(~1713年没)
1699年-05:30|インド| |||<就任>ジュバル 国統治者(ラ)「ゴハル・チャンド」(~1720年没)
1699年-05:30|インド| |||<就任>チャヤ 国統治者(ラ)「ハンジ・サルタンジ」(~1709年没)
1699年-04:00|シヨージア| |||<即位>イメレティ王「シモニ」(~1701年没)
1699年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ムハンマド・モミン・カーン・シャムル」(~1707年)
1699年-03:00|イラク/イラン| |||<就任>ハスラのペルシャ総督「イブラヒム・カーン」(~1700年)
1699年-03:00|カンタラ| |||<即位>ンコレ王国国王「Natare4世 Kitabanyoro」(~1727年死去)
1699年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Beyzade Ali Pasha」(~同年)
1699年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「ダニエル・モロシニ」「ロレンツォ・ドナ」
1699年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silihdar Husein Pasha」(~1700年)
1699年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モモタハ 総司令官「ジャコメ・デ・モライス・サルメント」(~1701年)
1699年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「デヴレト2世ギレイ」(1期目~1702年)
1699年-02:00|トルコ| |||イスタンブールに東洋語の通訳官学校が設置
1699年-01:00|リベントウタイン| |||<就任>ファトマツ執行官「ヨハン・ドルフ・ガッサー・フォン・シュトラスベルク」(~1706年)
1699年-01:00|フランス| |||<即位>ヴェルデンベルク・メンスベルグ・ルト(モバリアル)公レオホルト・エーバーハルト[ゲオルク2世の息子](~1723年)
1699年-01:00|フランス/カタラ| |||フランスの北米植民地はミシシッピ川流域にルイジアナ植民地樹立
1699年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「ロドリゴ・オリベira・ダ・フォンセカ」(~1707年12月放棄)
1699年 00:00|ガーナ/ドイツ| |||<就任>プランテンブルグ・ゴールドコースト司令官「ヤン・デ・ウイッサー」(~1701年)
1699年 00:00|セカール| |||<就任>ブントウ支配者(エリマン)「アブ・マリック・シ」(~1715年)
1699年 00:00|イギリス| |||イギリスでウル条令が制定
1699年 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「Sebastiao da Veiga Cabral」(~1705.3)
1699年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「セウエリノ・デ・マンザネラ・サリナス・イ・ロハス」(~17020806)
1699年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>ネイビス副総督「ロジャー・エリントン」(~1702年)
1699年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王「Jean Baptiste Dye」(~1701年)
1699年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Jan Burggraeff」(2期目~1705年)
1699年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャカス聴問庁長官「フランシスコ・トミンゲス」(~1700年)
1699年 04:00|セント・マルテン/サン・マルタン/フランス| |||フランスがセント・マルテン(サン・マルタン)島全体を支配(~1702年)
1699年 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「リート・エルディング」(~1701年5月)
1699年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ホセ・アントニオ・デ・ラ・ロジャ・カランサ」(1回目)⇒「カニージヤ伯爵ペドロ・ロイス・エンリケス・デ・ゲスマン」(2回目~1702年)
1699年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド 植民地総督「サニエル・ブラキストン」(~1701年)
1699年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州市長兼副司令官「バルトロメ・ガルヴェスコラル」(~1703年)
1699年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「ホセ・デ・スニガ・イ・ラ・セルタ」(~17060406)
1699年 06:00|アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「サヴォワール・ラウ・ヴァントリー」(~17010822死去)
1699年 06:00|グアテマラ| |||グアテマラとユカタンの合同部隊が、ラントーネスを攻撃、失敗に終わる
1699年1月1日-09:00|日本|愛媛県大洲市|元禄11年12月|大洲藩主加藤泰恒、大洲八幡宮を再興
1699年1月6日-09:00|日本| |||元禄11年12月6日|日本橋瀬戸物町に、鯉節専門の「にんべん」が開業

1700迄 (2651件)

1699年1月10日-09:00|日本|東京都中央区|元禄11年12月10日|<江戸日本橋元禄11年石町の大火>未の上刻(14時ごろ)、日本橋石町二丁目から出火、八丁堀から靈巖島、鉄砲州、佃島までを灰とした/中村座、市村座も焼け、日本橋も焼け落ちた/本橋の下から犠牲者がおおよそ1200~300人上がったという

1699年1月18日-01:00|リテンシュタイン| |||シェンペルク男爵領はリテンシュタイン侯「ヨハン・アダム・アント・レアス」に売却された(3月16日発効)

1699年1月20日-09:00|日本| ||元禄11年12月20日|農民の永小作は20年以上、質田畑・預かり金銀・売掛金銀の時効を20年とし、奉公人の年季は10年の制限を廃止して永年季、譜代とすることを示達

1699年1月26日-02:00|ルーマニア| |||トランシルヴァニア公国は名目上独立したままでオスマン帝国の宗主権を終わらせオーストリア総督の直接統治下に置かれる

1699年1月26日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||モリアはヴェネツィア共和国の統治をカルロ・イツ条約で確認

1699年1月26日-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| |||オスマン帝国がオーストリアなどと和平条約(カルロ・イツ条約)を結び、ハンガリーなどを割譲

1699年1月26日-01:00|クロアチア/トルコ| |||ラゲザはヴェネツィア共和国が陸路で攻撃できないように、海岸の2つの区画をオスマン帝国に譲渡

1699年1月30日-09:00|日本|香川県丸亀市|元禄11年12月30日|丸亀城下玄要寺、焼失

1699年1月31日-08:00|中国| ||清・康熙38年|中国の孔尚任が戯曲「桃花扇」を完成

1699年1月31日-09:00|日本|栃木県栃木市|元禄12年1月|<加増移封>武蔵国金沢藩1万石「米倉昌尹」⇒下野皆川藩15000石(⇒同年7月12日、死去)

1699年2月7日-09:00|日本|福岡県大牟田市|元禄12年1月8日|<死去>筑後三池藩1万石「立花種明」⇒長男「立花貫長」が継ぐ(⇒延享4(1747)年5月19日、死去)

1699年2月11日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地司令官(オランダ東インド会社)「ウィルム・アドリアン・ファン・デル・ステル」(~17070603)

1699年2月21日-01:00|イタリア/トルコ| |||ベネチア共和国、トルコとの平和条約受け入れ。その後大使ロレンツォ・ソランツォにより平和条約を改正される

1699年2月23日-09:00|日本|京都府京都市|元禄12年1月24日|坂田藤十郎が都万太夫座で近松門左衛門作「傾城仏の原」を演じて大当たりをとる

1699年2月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元禄12年1月26日|<大和郡山元禄12年の大火>(~27日)子の刻(午前0時ごろ)郡山城下本町東より出火、本町、魚町、塩町から堺町、新町、中町、藺町、錦町、今井町と延焼、ついで雑穀町、鍛冶町、奈良町から柳一、二丁目、豆腐町などを焼き、家中五軒屋敷を焼失させて、翌日巳の刻(午前10時ごろ)鎮火/持家490軒、借家434軒、寺4カ寺焼失、消火のための崩家6軒

1699年2月27日 00:00|イギリス| |||<死去>ボルトン公・ウィンチェスター侯「チャールズ・ボートレット」

1699年2月27日 00:00|イギリス| |||<就任>ボルトン公・ウィンチェスター侯「チャールズ・ボートレット」(~17220121死去)

1699年3月-05:30|インド/オランダ/フランス| |||オランダがフランス領シヤンデルゴールを占領(~9.17)

1699年3月-01:00|チュニジア| |||<死去>ムラト朝「バヤズィット2世」

1699年3月2日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|元禄12年2月|<移封>上総高滝藩2万石「板倉重高」廃藩⇒備中庭瀬藩2万石(⇒正徳3年2月10日(17130306)、死去)

1699年3月2日-08:00|中国| ||清・康熙38年2月|清の康熙帝が第3次南巡を開始

1699年3月5日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|元禄12年2月4日|<死去>下野鹿沼藩15000石「内田正衆」⇒嫡孫「内田正偏」が継ぐ(父「内田正長」に1500石、叔父「久世正広」に500石分与し13000石⇒享保9(1724)年10月29日、狂気により妻女を傷つけてしまった罪を問われ蟄居処分)

1699年3月7日-09:00|日本|東京都|元禄12年2月6日|江戸大火/黒桑町から浅草まで焼ける

1699年3月14日-09:00|日本|東京都台東区|元禄12年2月13日|江戸寛永寺本坊再建

1699年3月16日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「フランソワ・マルタン」(~17061230)

1699年3月16日-05:30|インド/フランス| |||ポンデ・イシェリ砦をフランスが復元

1699年3月16日-01:00|リテンシュタイン| |||<就任>シェンペルク王室廷吏「ヨハン・フランツ・パウアー」(⇒17120409、リテンシュタイン王室廷吏~1715年没)

1699年3月16日-01:00|リテンシュタイン| |||<就任>リテンシュタイン公「ヨハン・アダム・アント・レアス」(~17120616没)

1699年3月16日-01:00|チュニジア| |||<即位>ムラト朝「バヤズィット3世」(~17020609死去)

1699年3月25日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「Devlet 2世 Geray」(1期目~17021226)

1699年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ベルナルディーノ・レオナルディ」(「ピエトロ・アランチーニ」)

1699年4月9日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Nicolas Eugenio de Ponte y Hoyo」(~17041117)

1699年4月15日-09:00|日本|青森県八戸市|元禄12年3月16日|<死去>陸奥八戸藩2万石「南部直政」⇒養子「南部通信」が継ぐ(⇒享保元(1716)年8月24日、44歳で死去)

1699年4月21日-01:00|フランス| |||<死去>フランス「古典主義」文学者ジャン・バティスト・ラシヌ(60歳、生年1639年)フランス王ルイ14世に仕え(のち王の不興を買う)、古典悲劇を大成した/「アント・ロク」など、情念におぼれる人間の悲劇を描く

1699年4月30日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル知事兼提督「Gaspar de Arredondo y Valle」(2期目~同年)

1699年5月3日-09:00|日本|東京都中央区|元禄12年4月4日|江戸日本橋へんから出火/筋違橋御門まで焼ける

1699年5月6日-09:00|日本|広島県福山市|元禄12年4月7日|備後福山、大火/秋月城火災

1699年5月9日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミッシェル総督「ラ・モット・メゼリエール」(~1700年)

1699年5月18日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ジェームズ・バート・ウィリアムズ」(~8.23)、「

1700迄 (2651件)

ダブリン大司教カキッス・マッシュ (~8. 23)

- 1699年5月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アビンドン伯「ジェームズ・バーティ」
1699年5月22日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代アビンドン伯「モンタギュー・ウエナブルス＝バーティ」(~17430616死去)
1699年5月26日-01:00|イタリア| |||<死去>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランセスコ・マリア・サリ」
1699年5月26日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督「リチャード・カート」(~17000717)
1699年5月28日-09:00|日本|京都府京丹後市|元禄12年4月29日|<交替>丹後峰山藩11600石「京極高明」隠居⇒長男「京極高之」が継ぐ(弟「高重」に500石分知し11100石⇒享保8(1723)年2月2日、46歳で死去)
1699年6月-02:00|ウクライナ| |||右岸ヘチマン国家はポーランドによって廃止
1699年6月1日-01:00|フランス| |||<死去>ヴュルテンベルク＝メンヘル公「ゲオルク2世」
1699年6月1日-01:00|フランス| |||<即位>ヴュルテンベルク＝メンヘル公「レオポルト・エーバーハルト」ゲオルク2世の息子(~17230325死去)
1699年6月3日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「シロ・ラモ・デ・マリ」(~17010603)
1699年6月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|元禄12年5月9日|<死去>初代岩井半四郎/48才(4月3日説も)
1699年6月10日-09:00|日本|大分県佐伯市|元禄12年5月13日|<交替>豊後佐伯藩2万石「毛利高久」隠居⇒弟「毛利高慶」が継ぐ(⇒寛保2(1742)年8月7日、隠居)
1699年6月11日-01:00|フランス/オランダ/スペイン/イギリス| |||フランス、イギリス、オランダが第1次スペイン分割条約の修正に合意し、第2次スペイン分割条約が成立となる
1699年6月20日 05:00|パナマ/イギリス| |||<放棄>スコットランドのニューカドニア植民地(~11. 30)
1699年6月20日-09:00|日本|栃木県大田原市|元禄12年5月23日|<死去>下野大田原藩11400石「大田原純清」⇒養子「大田原清信」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年11月24日、死去)
1699年6月22日-09:00|日本|東京都江東区|元禄12年5月25日|江戸での33間堂の通矢が浅草から深川へと移される
1699年6月27日-09:00|日本|福井県福井市|元禄12年6月1日|福井藩主松平家別邸庭園「御泉小屋敷」完成(⇒養浩館庭園)
1699年7月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|元禄12年6月5日|<死去>尾張名古屋藩61万9500石「徳川綱誠」急死(生年1652年)⇒7月11日、十男「徳川吉通」が継ぐ(⇒正徳3(1713)年7月26日、死去)
1699年7月2日-01:00|フランス| |||<就任>ルル伯「ポール＝ジュール・ド・ラ・ポルト」メイユレ公(~1731年)
1699年7月6日-08:00|フィリピン| |||<死去>マニラ太守王国スルタン「Sultan Barahaman」
1699年7月6日-08:00|フィリピン| |||<即位>マニラ太守王国スルタン「Sultan Kahar Ud-din Kuda」(~17020810)
1699年7月9日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|元禄12年6月13日|<移封>羽羽村山藩1万石「本多助芳」⇒越後糸魚川藩1万石(⇒享保2(1717)年2月11日、信濃飯山藩2万石に加増移封)
1699年7月12日-09:00|日本|東京都|元禄12年6月16日|<死去>江戸の豪商で旗本・河村瑞賢(82)
1699年7月15日 00:00|イギリス| |||<死去>コグエンリー伯「トマス・コグエンリー」
1699年7月15日 00:00|イギリス| |||<就任>コグエンリー伯「トマス・コグエンリー」(~1710. 8死去)
1699年7月31日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督「リチャード・カート」(~16990815)
1699年8月4日 03:00|ブラジル| |||モライス、マドレ・デウスで先住民400人を捕らえ虐殺
1699年8月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝コーブルク公「アルフレート」
1699年8月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝コーブルク＝ザールフェルト公「ヨハン・エルスト4世」ザクセン＝コーター＝アルテンブルク公エルスト1世の息子(~17290217死去)
1699年8月7日-09:00|日本|栃木県栃木市|元禄12年7月12日|<死去>下野皆川藩15000石「米倉昌尹」⇒長男「米倉昌明」が継ぐ(弟「昌仲(忠直)」に3000石を分与し12000石⇒元禄15(1702)年4月25日、死去)
1699年8月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領東西ニュージャージー総督「アンドルー・ハミルトン」(~17030420死去)
1699年8月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「バークレー伯爵チャールズ・バークレー」(~17010404)
1699年8月24日-01:00|イタリア| |||<死去>ピオンビノ公「Giovann Battista」
1699年8月24日-01:00|イタリア| |||<即位>ピオンビノ公「Niccolo2世」(~1700年)母Anna Maria Arduinoが摂政
1699年8月25日-01:00|ノルウェー/デンマーク/ドイツ| |||<死去>ノルウェー・デンマーク王・シュレースヴィヒ公「クリスチャン5世」兼オデンブルク伯「クリスチャン8世」53歳
1699年8月25日-01:00|ノルウェー/デンマーク/ドイツ| |||<即位>ノルウェー・デンマーク王・シュレースヴィヒ公「フレデリク4世」兼オデンブルク伯「フレデリク2世」クリスチャン5世とシャルロッテ・アマリエ・フォン・ヘッセン＝カッセルの長男(1713年にフレデリク4世はシュレースヴィヒ全域を自領に統合~17301012死去59歳)
1699年8月26日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国大首相「レグエンロー・ティル・クラウスホルム伯爵コンラッド」(~17080721没)
1699年8月28日-09:00|日本|愛知県岡崎市|元禄12年8月4日|<死去>三河岡崎藩4万石「水野忠盈」⇒9月27日、弟「水野忠之」が継ぐ(⇒享保15(1730)年7月6日、隠居)
1699年9月3日-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール＝パハン・リアウ・リナガ(ジョホール帝国)スルタン「スルタン・マフムド・シャー2世」暗殺されマラッカ王朝の血統が途絶
1699年9月3日-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール＝パハン・リアウ・リナガ(ジョホール帝国)スルタン「アフドゥル・ジャリル・シャー4世」(~1721年11月没)
1699年9月4日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「フレデリク4世」(~17301012没)
1699年9月8日-09:00|日本| ||元禄12年8月15日|<元禄12年8月台風>東日本各地が暴風雨に見舞われ、特に関東では、常陸水戸藩領で表高の31%11万石余相当の田畑に損害/上野前橋藩領で8人死亡、侍屋敷38軒、町家、百姓家5276軒が倒潰するなど、東海から東北地方にかけての被害が大きく、加賀地方でも津波、大風にて人家潰、牛馬

1700迄 (2651件)

の死数を数え切れないほど、男女の死人おびただしく多いと伝えられる

1699年9月9日-09:00|日本|茨城県笠間市|元禄12年8月16日|<死去>常陸笠間藩5万石「本庄宗資」⇒次男「本庄資俊」が継ぐ(⇒元禄15(1702)年9月12日、遠江浜松藩7万石へ加増移封)

1699年9月13日-05:30|インド/フランス| |||ホンデ・イシェリー市がフランスに復元

1699年9月20日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Gabriel Gutierrez de Rivas」(~17030723死去)

1699年10月-08:00|インド・ネシア| |||<即位>アチ王国スルタン「Badrul Alam Syarif Hashim Jamaluddin」(~1702年死去)

1699年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ(9回目)」|「ジョヴァンニ・アントニオ・ファットーリ(3回目)」

1699年10月2日-09:00|日本|千葉県佐倉市|元禄12年9月10日|<死去>下総佐倉藩71000石(老中)「戸田忠昌」(生年1632年)⇒閏9月、家督を次男「戸田忠真」が嗣ぐ(自領1万石を合わせ弟に3150石を分地し67850石⇒元禄14(1701)年6月、越後高田藩へ移封)

1699年10月9日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カラ・マフメド・パシャ」(1回目~17040506)

1699年10月21日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島司令官「Jacques de La Cour de La Saulais」(~17010513)

1699年10月23日-09:00|日本|京都府福知山市|元禄12年閏9月|<丹波福知山元禄12年の大火>菱屋町から出火した火は、城下の町家をとことく灰にし、更に武家屋敷地区まで広がった/丸の内にある家老屋敷も寺社奉行の屋敷も類焼して廃墟となった

1699年10月28日-09:00|日本|東京都|元禄12年閏9月6日|幕府が市中での鳥類の売買を禁じる

1699年11月1日-09:00|日本| ||元禄12年閏9月10日|幕府旗本7690人を賑救し大名旗本従者の制を定む

1699年11月2日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代ジャッパリ伯「アントニー・アシュリー＝クーパー」

1699年11月2日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代ジャッパリ伯「アントニー・アシュリー＝クーパー」(~17130216死去)

1699年11月3日-09:00|日本|高知県高知市|元禄12年閏9月12日|土佐高知朝倉町から出火、500余軒焼ける

1699年11月19日-09:00|日本|埼玉県|元禄12年閏9月28日|<拝領>武蔵国内1万石「阿部正喬」(⇒宝永元(1704)年10月29日、武蔵忍藩相続により幕府に収公)

1699年11月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国国庫財務実行主席弁務官「ワークのグレイ男爵・タンカーヴァー・イルバフォード・グレイ」(~17001212死去) Whg

1699年11月26日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄12年10月6日|<就任>老中「秋元喬朝」(~正徳4年8月14日)

1699年12月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ベネチア植民地総督「ウィリアム・ペン」(~1701年)

1699年12月10日 00:00|イギリス| |||<死去>第3代アントリム伯「アレクサンダー・マクトネル」

1699年12月10日 00:00|イギリス| |||<就任>第4代アントリム伯「ランダル・マクトネル」(~17211019死去)

1699年12月13日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄12年10月23日|幕府が江戸城大奥に儉約令を出す

1699年12月18日-09:00|日本|宮城県石巻市|元禄12年10月28日|<改易>陸奥中津山藩3万石「伊達村和」旗本との喧嘩による処罰、宗家仙台藩に吸収

1699年12月31日-05:30|インド | |||<即位>アンバー国マハラジャ「サイ・ジャイ・シン1世」(~17430921没)

1700年-12:00|ウリス・フツナ| |||<即位>トゥア(70)王「Fakavelikele」(~1728年)

1700年-08:00|インド・ネシア/オランダ | |||<死去>モルッカ諸島オランダ 総督「Salomon Le Sage」

1700年-08:00|インド・ネシア/イギリス | |||<就任>ベンクーレン副総督(マドラス総督に従属)「Richard Watts」(~17051217死去)

1700年-05:45|ネパール | |||<即位>カンティパウ王「ジャヤバスカラマ」(~1722年)

1700年-05:30|インド | |||<死去>シッキム王「テンゾン・ナムギヤル」

1700年-05:30|インド | |||<就任>カンガラ国ラジャ「ハミル・チャントラ」(~1747年没)

1700年-05:30|インド | |||<就任>ケオンシヤル国ラジャ「ラグナート・パニ」(~1719年)

1700年-05:30|インド | |||<就任>ソネプール国ラジャ「ラージ・シン・デオ」(~1725年没)

1700年-05:30|インド | |||<就任>タンガール国統治者(マハラワル)「ラム・シン」(~1728年没)

1700年-05:30|インド | |||<就任>スルプール国ラジャ「タヤダタ」(~1735年没)

1700年-05:30|インド | |||<就任>ハルワニ国統治者(ラ)「ハルバット・シン」(~1708年没)、「モハン・シン1世」(1回目~1731年没)

1700年-05:30|インド | |||<就任>ムトナ国統治者(ラジエ・ゴルパデ・パハドウル)「サルタール・アカヤジ・ラジエ・ゴルパデ」(~1734年没)

1700年-05:30|インド | |||<就任>レウ国ラジャ「アグト・ウット・シン」(~1755年没)

1700年-05:30|インド | |||<即位>シッキム王「チャグドル・ナムギヤル」(~1717年死去)

1700年-05:00|パキスタン | |||<就任>チラル国統治者(ミフタル)「シャー・アラム」

1700年-03:00|イラク/トルコ | |||<就任>バグダット・ワリス「アリ・パシャ」(2回目~1702年)

1700年-03:00|イラク/イラン | |||<就任>バスラのペルシャ総督「ダウト・カーン」(~1701年3月)

1700年-03:00|マヨット | |||<就任>マロ・スルタン国摂政「アイサ」(~1714年頃)

1700年-03:00|イエメン | |||<即位>下ヤファ・サルタン「Qahtan ibn Afif」(~1720年)

1700年-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Cerkes Mehmed Pasha」(1期目~1701年)

1700年-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silihdar Hasan Pasha」(~1701年)

1700年-02:00|ジンバブエ | |||<就任>チャンガミール帝国統治者(マンボ)「チャンガミレ・カモ」(~1710年)

1700年-02:00|ザンビア | |||<就任>ムトント 統治者(ムウェネ)「リブ・ヘ」

1700年-02:00|トルコ | |||トルコがグレゴリオ暦の採用

1700年-01:00|アルジェリア | |||<就任>アルジェのデイ「ハジ・ムスタファ1世」(~1705年10月)

1700年-01:00|ベナン | |||<就任>サハルのマリ国摂政「ホキ」(~1722年)

1700迄 (2651件)

1700年-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督「フレデリック・ガベル・ティル・ギンゼー」(~17080621没)
1700年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝ウァンフリート方伯「カール・エルスト1世」の息子(~17110303死去)
1700年-01:00|ベナン| |||<設立>カンデのバリア国
1700年-01:00|ベナン| |||<設立>ハラのバリア国
1700年-01:00|ベナン| |||<設立>フィタのマ国
1700年-01:00|ガボン| |||<即位>オロンゴ王国国王「レンドンゴ」建国(~1730年頃死去)
1700年-01:00|イタリア| |||<即位>ピオンビノ公「Olimpia」(~11.27死去)
1700年-01:00|ベナン| |||アゴボムのフォン王国はダホと改名
1700年-01:00|ドイツ| |||プロイセン科学アカデミーが創立
1700年 00:00|トゴ| |||<就任>アグバナンギン統治者(メト)「メジエ」(~1735年)
1700年 00:00|トゴ| |||<就任>ハフィロ統治者(ラジヨ)「アガラ」建国
1700年 00:00|モリタニア/ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク領アルギン総督代行「クリスチャン・デューリング」(~1702年)
1700年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<死去>フランス領アンティル総督「Thomas-Claude Renard de Fuchsamberg」
1700年 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス・トミニカ司令官「トマス・フレール」
1700年 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>サハ島副司令官「Lucas Schorer」(2期目~1701年)
1700年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「ミゲル・アントニオ・デ・オルサ・イ・ボンス・デ・レオン」(~1708年)
1700年1月 00:00|イギリス/インド| |||イギリス東インド会社が加カッタの3カ村を正式に購入
1700年1月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Remy Guillouet」(1期目~1701年)
1700年1月6日-09:00|日本| ||元禄12年11月17日|幕府が太い元結で髪を結ったり、長刀を帯びるなど異様な風俗を禁じる
1700年1月14日-09:00|日本|東京都|元禄12年11月25日|幕府が盗賊改・火付改役を廃止
1700年1月20日-09:00|日本|和歌山県田辺市|元禄12年12月|<交替>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直名」隠居⇒弟「安藤陳武」が継ぐ(⇒享保2(1717)年10月7日、死去)
1700年1月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ホーフォート公・ウスター侯「ヘンリー・サマセット」
1700年1月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ホーフォート公「ヘンリー・サマセット」先代の孫(~17140524死去)
1700年2月5日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「マヌエル・デ・ブラド・イ・マルドナド」(~17020703)
1700年2月9日-09:00|日本|東京都|元禄12年12月21日|幕府が勘定吟味役を廃止
1700年2月10日-03:00|イタチア| |||<死去>ハラル首長国エミール「アブド・アッラー1世イブン・アリ」
1700年2月10日-03:00|イタチア| |||<就任>ハラル首長国エミール「タハ・イブン・アブド・アッラー」(~17211105没)
1700年2月16日-09:00|日本| ||元禄12年12月28日|幕府が旗本に住居・武具・衣服・調度・贈り物・宴会などについて儉約令を出す
1700年2月19日-08:00|中国| ||清・康熙39年|<死去>(チベット)ゲシ・ハン王「ゴンチュク・ダライ・ハン」
1700年2月19日-08:00|中国| ||清・康熙39年|<即位>ヤルカント・ハン「スルタン・アフマド」アケバ・シュ・ハンの子(~1700年以降)
1700年2月20日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「ケレコ・リオ・カージョ・イ・エスケデロ」(1回目~17000312)
1700年2月27日-10:00|パプアニューギニア/イギリス| |||英国人ウィリアム・ダンビーがヨーロッパ人で初めてニュー・ブリティン島に到達(後に3回世界周航)
1700年3月1日-09:00|日本|広島県福山市|元禄13年1月11日|<移封>出羽山形藩10万石「松平忠雅」⇒備後福山藩10万石(⇒宝永7(1710)年間8月15日、伊勢桑名藩へ移封)
1700年3月1日-09:00|日本|福島県伊達郡桑折町|元禄13年1月11日|<移封>陸奥白河新田藩2万石「松平忠尚」⇒陸奥桑折藩2万石(⇒享保4(1719)年11月2日、隠居)
1700年3月1日-09:00|日本|山形県山形市|元禄13年1月11日|<移封>陸奥福島藩10万石「堀田正虎」⇒出羽山形藩10万石(⇒享保14年1月22日(17290219)、死去)
1700年3月1日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||ユリウス暦2月19日|ドイツの新教地域、デンマークがグレゴリオ暦の採用を始める
1700年3月3日-05:30|インド| |||<就任>マフラツク国最高統治者(ラジャ・チャトラパティ)「シヴァージー-2世」(~17071012廃位)、摂政「タラバイ・アイ・サーヒブ・ボンスレ」(~17071012)
1700年3月3日-09:00|日本|東京都|元禄13年1月14日|幕府が盗賊改・火付改役を廃止
1700年3月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「徐文重」(~17010504)
1700年3月12日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「フアン・ジエロム・ド・ウアルト」(1回目~22日)
1700年3月22日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領代行「バーソロミュー・デ・アムスキート」(~4.5)
1700年3月25日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|元禄13年2月7日|<名古屋元禄13年の大火>巳の上刻(午前10時ごろ)、名古屋城の西を流れる堀川に架かる中橋の裏、出来町の半左衛門の借家に住む日雇い人長蔵の住まいから出火、1日中風向きが4回も変わったため、消火に困難を極め被災地を広げた/延焼区域は、火元の中橋裏から納屋橋裏まで、横3丁(約330m)長さ27丁(約3km)と城下の西半分を焼き尽くし、翌朝の丑の中刻(午前2時半ごろ)鎮火/主な被害は、長久山円頓寺をはじめ白山長円寺、万福寺、金剛寺、至誠院、正覚寺など14寺院、広井八幡宮、白山権現社など3社/寺西図書、長野権右衛門、高木志摩など諸士(侍)屋敷21軒、町家は、町奉行に属するもの町数で53丁726軒、国奉行(領国支配担当)に属するもの町数で131丁923軒と、合計184丁1649軒に達した、町人が借りている小借家(1、2室程度の小さな借家)に至っては、鍵数にして1万8983軒が灰となった
1700年3月25日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| ||ユリウス暦3月14日|イギリス、フランスなどが第2次スペイン分割条約に正式に調

1700迄 (2651件)

印

1700年3月31日-09:00|日本|佐賀県|元禄13年2月12日|肥前いざないで大波/山崩れなどで600戸損壊/千余人が死亡

1700年4月-05:30|インド| ||ムガル軍によりマフラツク国首都サターラ陥落

1700年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ロリ(7回目)」 「ハルタ・ツァーレ・ティニ(2回目)」 (~10.1)

1700年4月1日-09:00|日本|京都府京都市|元禄13年2月13日|京都、糸割符仲間が前年許可された新銭(寛永通宝) 鑄造を始める

1700年4月5日 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「ゲレゴリオ・カリジョ・イ・エスケーロ」(2回目~6日)

1700年4月6日 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ガブリエル・サンチェス・デ・ベロスヘ」(2回目~1702年2月)

1700年4月11日 05:00|パナマ/イギリス| ||<放棄>スコットランドのニューカドニア植民地

1700年4月14日-09:00|日本|長崎県|元禄13年2月26日|壱岐・対馬で地震/壱岐の村里の石垣・墓所ことごとく崩れる

1700年4月19日-09:00|日本| ||元禄13年3月|<刊行>西澤一風「風流御前義経記」

1700年4月20日-09:00|日本|東京都千代田区|元禄13年3月2日|<辞職>大老「井伊直該」

1700年4月24日-09:00|日本|山梨県都留市|元禄13年3月7日|<加増>甲斐谷村藩3万石「秋元喬朝」+下野足利郡都賀郡内・河内丹南丹北郡四郡内1万石⇒4万石(⇒宝永元(1704)年12月1日、河内丹南丹北八上三郡1万石加増し5万石)

1700年5月1日-01:00|フランス| ||<施行>フランス国王ルイ14世、「勅命」で、「カタルニャ語」を公的に使用することを禁じ、以後「フランス語」を唯一の「公用語」とする

1700年5月12日 00:00|イギリス| ||<死去>ジョン・ド・ラ・ヴィン、イングランドの詩人、文芸評論家、劇作家(68歳、16310809生)

1700年5月13日-09:00|日本|岐阜県海津市|元禄13年3月25日|<移封>信濃国高井藩30537石「松平義行」⇒美濃高須藩3万石(⇒正徳5年8月3日(17150831)、死去)

1700年5月28日-09:00|日本|東京都中央区|元禄13年4月10日|<死去>初代坂東又九郎(森田座座主、二代目守田勘弥の実父)

1700年5月29日-09:00|日本| ||元禄13年4月12日|<死去>一如、東本願寺第16世法主(生年1649年)

1700年6月17日 06:00|アメリカ| ||マサチューセッツ植民地がカトリック神父の追放令を制定

1700年6月18日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムソウクウー国王「サンガ・ウイマ1世」(~17070330)

1700年6月23日-09:00|日本|愛知県豊田市|元禄13年5月8日|<死去>三河拳母藩1万石「本多忠利」⇒7月、養子「本多忠次」が継ぐ(⇒正徳元(1711)年11月20日、死去)

1700年6月23日-04:00|ロシア| ||ロシア暦6月12日|ロシアがオスマン帝国との戦争を休止し、アゾフを除く黒海艦隊を引き揚げる

1700年7月 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミング 総督代行「ジョセフ・ド・ノント・ガリフェ」(~17031216)

1700年7月1日-09:00|日本|佐賀県|元禄13年5月16日|<死去>鍋島光茂、前佐賀藩主(生年1632年)

1700年7月7日-01:00|イタリア| ||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「シルヴェストロ・ガッリエリ」、国庫に5万ドゥカーティを残し

1700年7月10日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|元禄13年5月25日|<交替>因幡鳥取藩32万石「池田綱清」隠居、弟「清定」に鳥取西館新田藩15000石分与⇒養子「池田吉泰」が継ぐ(⇒元文4(1739)年7月23日、死去)

1700年7月11日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|元禄13年5月25日|<立藩>鳥取西館新田藩15000石「池田清定」鳥取藩から分与(⇒享保3(1718)年9月9日、死去)

1700年7月14日-01:00|クロアチア| ||スラヴォニアはクロアチアと連合(1777年からクロアチア王室領の一部~19181029)

1700年7月17日-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「アルヴィゼ・モチーニゴ2世」(~17090306死去)

1700年7月22日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督代理「ウィリアム・ストーン」(~17010707)

1700年8月1日-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリ・リビア・ベイルベ・イレリ「トゥルク・トゥルル・カフ・エチ・オスマン」(~17001120)

1700年8月4日-01:00|デンマーク/スウェーデン| ||カール12世のスウェーデン軍がシェラン島へ上陸し、デンマークを破る/大北方戦争(~1720)

1700年8月8日-01:00|デンマーク/スウェーデン| ||スウェーデンとデンマークの間でトラウエンタル条約締結(大北方戦争における平和条約)/デンマークの北方同盟からの離脱と、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン公国における安全が保障された/デンマークはホルシュタイン=ゴットルプ公領の主権を承認

1700年8月10日 04:00|BES諸島/イギリス| ||<就任>セント・ユースティウス島暫定司令官「Jan Simonsen Donker」(1期目~17010718)

1700年8月14日-09:00|日本| ||元禄13年6月30日|土佐暴風雨/通行人吹っ飛び、潰家数百件、町家29余町将棋倒し、死者13人、傷者94人

1700年8月20日 00:00|イギリス| ||<死去>8代ロズ女伯「マーガレット・レスリー」

1700年8月20日 00:00|イギリス| ||<就任>9代ロズ伯「ジョン・ハミルトン=レスリー」先代の息子(~17220509死去)

1700年8月20日-09:00|日本| ||元禄13年7月6日|幕府が、旅人・老人・幼児・病人・女子以外の駕籠利用、および町人の長脇差し帯刀を禁じる

1700年8月29日 00:00|イギリス| ||<死去>エセター伯「ジョン・セシル」

1700年8月29日 00:00|イギリス| ||<就任>エセター伯「ジョン・セシル」(~17211224死去)

1700迄 (2651件)

1700年8月31日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ハリファックス侯「ウィリアム・サギル」
1700年9月7日 00:00|イギリス| |||<死去>ヘットフォード公・タウ・イストック侯「ウィリアム・ラッセル」
1700年9月7日 00:00|イギリス| |||<就任>ヘットフォード公「ライオネル・ラッセル」先代の孫(〜17110526死去)
1700年9月7日-09:00|日本| ||元禄13年7月24日|幕府がうなぎ・どじょうなど生魚の売買を禁じる
1700年9月11日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ジェームズ・ムーア」(〜1703.3)
1700年9月14日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン・ゲオルゲ・トウカ」(〜17030615)
1700年9月14日-09:00|日本|千葉県香取郡東庄町|元禄13年8月2日|<死去>黄檗宗の禅僧・鉄牛道機(72)
1700年9月15日-10:00|ケニア/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島暫定知事「Francisco Medrano y Asiain」(〜17040901)
1700年9月27日-01:00|バチカン| |||<死去>第242代ローマ教皇「インノケンティウス12世」85歳(誕生16150313) 副音宣教に献身した
1700年9月30日-09:00|日本|岡山県浅口市|元禄13年8月19日|<死去>岡山新田藩25000石「池田政言」56歳⇒長男「池田政倚」が継ぐ(⇒元文3(1738)年2月16日、隠居)
1700年10月-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 最高司令官「アブラハム・クロンホルム」(〜17031112没)
1700年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オットー・イオ・レオナルド・ツリ(4回目)」 「マリノ・ベニ(3回目)」(〜17010401)
1700年10月10日-09:00|日本|栃木県日光市|元禄13年8月28日|幕府日光奉行を置き、日光目付は廃止
1700年10月16日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Charles de Pechpeyrou-Comminges de Guittaut」(2期目〜1701年)
1700年10月21日-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ヴァリス「ユルカ・ハサン・パシャ」(1回目〜1701年1月)
1700年10月22日-09:00|日本|栃木県日光市|元禄13年9月11日|徳川綱吉が日光山法度を下す
1700年10月24日-09:00|日本|高知県高知市|元禄13年9月14日|<死去>土佐高知藩20万2600石「山内豊昌」(生年1641年)⇒養子の「山内豊房」が継ぐ(⇒宝永3年6月7日(17060716)死去)
1700年11月1日-01:00|イタリア/スペイン/フランス/オランダ/ベルギー/デンマーク/ルクセンブルグ| |||<死去>ナポリ王・シチリア王・サルデーニャ国王・アラゴン国王・パルメーザ伯「カルロス2世」兼ブラバント公・エノー伯「シャルル3世」兼ルクセンブルク公・フランドル伯「シャルル4世」38歳(誕生16611106)
1700年11月1日-01:00|イタリア/スペイン/ルクセンブルグ/フランス/オランダ/ベルギー| |||<即位>ナポリ王・シチリア王「フィリップ4世」(〜1714年)兼アラゴン国王・パルメーザ伯「フェリペ4世」(〜1705年退位)兼スペイン王「フェリペ5世」(〜1705年)兼兼エノー伯「フィリップ5世」(〜1714年)兼ブラバント公「フィリップ6世」(〜1710年)兼フランドル伯「フィリップ7世」(〜1714年)兼ブルゴニエ公「フィリップ8世」(〜1706年)兼アムステルダム伯「フェリペ9世」(〜1713年)
1700年11月5日-09:00|日本|茨城県石岡市|元禄13年9月25日|<移封>常陸保内藩2万石「松平頼隆」⇒常陸府中藩2万石(⇒宝永2(1705)年9月28日、隠居)
1700年11月5日-09:00|日本|福島県郡山市|元禄13年9月25日|<移封>常陸額田藩2万石「松平頼貞」⇒陸奥守山藩2万石(⇒寛保3(1743)年10月28日、隠居)
1700年11月8日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|元禄13年9月29日|<死去>豊後森藩12500石「久留島通清」⇒長男「久留島通政」が継ぐ(⇒享保4年11月13日(17191223)死去)
1700年11月16日-01:00|ベルギー/スペイン| |||<即位>ベルギー公「フィリップ」スペインのフェリペ5世(ハイノーとナミュール〜17120102)、(ブラバント〜17060605)、(フランドル〜17060606)、(リンブルグ〜17031206)
1700年11月16日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<即位>ルクセンブルク公「フィリップ6世」(スペインのフィリップ5世〜17110525)
1700年11月20日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リビア・ベイルベ・イリ「ケリム・ルル・ハム・ムスタファ」(〜1702年12月)
1700年11月23日-01:00|バチカン| |||<就任>第243代ローマ教皇「クレメンス11世」(〜17210319死去)
1700年11月25日-09:00|日本|愛知県名古屋市|元禄13年10月16日|<死去>徳川光友、前尾張藩第2代藩主(生年1625年)
1700年11月27日-01:00|イタリア| |||<死去>ピオンビノ公「Olimpia」
1700年12月 04:00|アンティグア・バプーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリブ諸島総司令官・総督「クリストファー・コド・リントン3世」(〜1704年2月)
1700年12月1日-02:00|フィンランド/スウェーデン/ロシア| ||ロシア暦11月19日|スウェーデン王カル12世が、ナルヴァの戦いでピョートル1世のロシア軍を破る/北方戦争が勃発
1700年12月3日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿・國務長官「ファブ・リツィオ・パ・オルッチ」(〜17210319)
1700年12月8日-09:00|日本|茨城県結城市|元禄13年10月28日|<移封>能登西谷藩1万石「水野勝長」⇒下総結城藩1万石(⇒翌年、3000石加増され13000石)
1700年12月10日-09:00|日本|京都府京都市|元禄13年11月|「一大萬大吉」、大和屋甚兵衛、京早雲座/<拍子事>の始まり
1700年12月12日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王国国庫財務実行主席・弁務官「ワークのグレイ男爵・タンカー・グレイ伯「ルデ・グレイ」
1700年12月14日 04:00|リ/スペイン| |||<就任>リ総督「フランシスコ・イバ・ニエス・デ・セゴビヤ・イ・ペ・ルタ」(〜1709年1月)
1700年12月15日-05:30|インド| |||<即位>ビカンネル国マハラジャ「スジャン・シン」(〜17351216没)
1700年12月17日-09:00|日本| ||元禄13年11月8日|幕府が金・銀・銭の公定相場を決定/金1両=銀60匁=銭4貫文
1700年12月30日-09:00|日本|島根県大田市|元禄13年11月21日|石見邇摩郡石見代官所管内で、暴動